

令和6年度

京都成安学園事業報告書



学校法人京都成安学園

# 目 次

## I 法人の概要

|    |                              |    |
|----|------------------------------|----|
| 1  | 京都成安学園 建学の精神 「成安・誠と熱・実践教育」 … | 1  |
| 2  | 京都成安学園 校訓 「誠と熱」 ……………        | 1  |
| 3  | 京都成安学園の沿革と歴代理事長 ……………        | 2  |
| 4  | 学校法人の名称等 ……………               | 4  |
| 5  | 設置する学校 ……………                 | 4  |
| 6  | 役員の概要 ……………                  | 6  |
| 7  | 評議員の概要 ……………                 | 7  |
| 8  | 特別顧問の概要 ……………                | 8  |
| 9  | 職員の概要 ……………                  | 9  |
| 10 | 理事会、評議員会の開催状況 ……………          | 9  |
| 11 | 監事による監査の実施状況 ……………           | 10 |
| 12 | 内部監査の実施状況 ……………              | 11 |

## II 事業の概要

|   |                 |    |
|---|-----------------|----|
| 1 | 大学の事業の概要 ……………  | 13 |
| 2 | 幼稚園の事業の概要 …………… | 60 |
| 3 | 法人の事業の概要 ……………  | 66 |
| 4 | 学納金等……………       | 68 |

## III 財務の概要

|   |                  |    |
|---|------------------|----|
| 1 | 令和5年度決算の概要 …………… | 69 |
| 2 | 経年比較 ……………       | 75 |
| 3 | 借入金等の状況 ……………    | 80 |

## IV 学校法人の業務の適正を確保するための体制（内部統制システム）の整備及び運用状況の概要

|   |                     |    |
|---|---------------------|----|
| 1 | 関係する決議の概要 ……………     | 84 |
| 2 | 体制整備及び運用状況の概要 …………… | 85 |

# I 法人の概要

## 1 京都成安学園 建学の精神 「成安・誠と熱・実践教育」

京都成安学園の歴史は、大正 9(1920)年 7 月 17 日、学祖 瀬尾チカが成安裁縫学校の設立を京都府知事から認可されたときから始まります。

京都成安学園では、学園名だけでなく成安裁縫学校以来これまで設置してきたすべての学校名に成安という言葉が冠してきました。設立当時は「心身ノ鍛錬、誠実勤勉ノ美德、経済的ニ独立シ得ル実力ノ養成ニ努メ、内ニ在リテハ則チ家庭ノ主婦トシテ、良妻トナリ賢母トナリテ、家ヲ治メテソノ繁栄ヲ計リ、出デテハ則チ国家ノ良民トシテ、国運ノ進展ニ寄与シ得ル新時代ノ婦人ヲ養成スル」ことを目的としていたことから、それらを要約し「成安」と名付けました。時代の変遷に伴い、現在では「成安」について「成とは成し遂げること。安とは安寧であること。つまり成安とは人の和を大切に、一人ひとりが自己の使命を追求し、全うし続けることを通じて、心安らぐ平和な社会をつくることに貢献するという意味である。」と解釈しています。

学祖は、学習と実行の上には、事の大小にかかわらず、誠と熱とをもって終始するよう毎日の生活を鞭撻しており、これが学園の指導精神であること、そして、正しい信念からほとぼしり出る純真な誠とすべてのものを生かし得る熱をもって生徒に対して範を示さなければ、学校教育において「成安」という言葉が意味するところの目的を達することはできないと説いています。学祖の人生訓でもある「誠と熱」、誠実さと熱意と置き換えても良いこの言葉は、学園の建学の精神であるとともに校訓として、学園に関わる全ての者の歩むべき道筋を照らしています。

設立当時の成安裁縫学校の校則第 1 条には「本校ハ時代ノ進歩ニ伴ヒ最モ新ラシキ和洋裁縫及ビ実用的手芸ノ一般ヲ教授シ併テ自活学習ノ便ヲ与エ兼テ婦徳涵養ニ資スルヲ以テ目的トス」と謳われており、女性に自活できる能力を修得させることが学校設立の趣旨でありました。こうした女性の社会的・経済的地位を向上しようとする先進的な取り組みは、瀬尾チカの体験に裏付けられた確固たる信念に基づくものでした。以来、社会で役立つ知識や技能を修得させる教育、すなわち「実践教育」は本学園における学校づくりの基本的な考え方となっています。

## 2 京都成安学園 校訓 「誠と熱」

### 3 京都成安学園の沿革と歴代理事長

#### 大 正

- 大正 9年 創立者瀬尾チカ 京都市上京区（現左京区）  
聖護院西町に成安裁縫学校創立。
- 大正 10年 校名を京都成安技芸女学校と改称し上京  
区  
（現左京区）北白川追分町に移転。
- 大正 12年 京都成安女子学院と改称。普通部と専攻部  
を併設。
- 大正 14年 普通部を高等女学部と改称。

#### 昭 和

- 昭和 2年 京都市上京区相国寺北門前町に移転。
- 昭和 3年 成安高等継日女学校を併設。
- 昭和 5年 成安幼稚園開設。
- 昭和 7年 専攻部に保育科併設。財団法人京都成安女  
子学園設立。
- 昭和 15年 京都成安高等女学校(本科、補習科)を設立。
- 昭和 18年 高等女学部本科・高等女学校補習科廃止。
- 昭和 19年 京都成安高等女学校専攻部に経済科を併設。
- 昭和 20年 京都成安女子学院裁縫部廃止。附設課程専  
攻科設置。
- 昭和 21年 京都成安女子専門学校（被服科・経済科）  
設立。成安高等女学校に夜間部開設、生  
産科を開設。
- 昭和 22年 成安女子中学校開設。京都成安女子学院専  
攻部の家庭科、保育科を廃止。
- 昭和 23年 京都成安高等女学校を廃止。成安高等継日  
女学校廃止。京都成安高等学校（通常及び  
夜  
間）開設。
- 昭和 25年 京都成安女子専門学校廃止。成安女子短期  
大学（被服科）設置、開校。高等学校(普  
通・  
京  
京都  
京都  
京都  
成  
安  
中  
学  
校  
を  
成  
安  
女  
子  
中  
学  
校  
に  
改  
称  
。
- 昭和 26年 財団法人京都成安女子学園を学校法人京  
都  
成  
安  
女  
子  
学  
園  
に  
改  
組  
。成  
安  
女  
子  
短  
期  
大  
学  
別  
科  
被  
服  
専  
修  
第  
一  
部  
・  
第  
二  
部  
増  
設  
。

- 昭和 32年 高等学校家政科を廃止。高等学校に商業  
科を  
設置。普通科・被服科の三科を併設。
- 昭和 33年 成安女子短期大学に意匠科増設。
- 昭和 50年 成安向日幼稚園設立。
- 昭和 51年 成安幼稚園を開園。成安向日幼稚園を成  
安幼  
稚  
園  
と  
改  
称  
。
- 昭和 56年 成安女子短期大学意匠科を造形芸術科に  
改  
称。短期大学附属画廊完成。
- 昭和 62年 成安女子短期大学長岡京新キャンパス完成、  
移  
転  
開  
学  
。

#### 平 成

- 平成 2年 成安女子短期大学被服科を服飾文化学科と  
改  
称  
。
- 平成 3年 成安造形大学設置認可申請。昭和 31年度  
よ  
り  
募  
集  
停  
止  
中  
の  
成  
安  
女  
子  
中  
学  
校  
の  
募  
集  
を  
再  
開  
。
- 平成 4年 成安造形大学設置認可。学位授与機構によ  
る  
成  
安  
女  
子  
短  
期  
大  
学  
専  
攻  
科  
造  
形  
芸  
術  
専  
攻  
2  
年  
制  
課  
程  
の  
認  
定  
。
- 平成 5年 学校法人名を京都成安学園に改称。成安造  
形  
大  
学  
開  
学  
。短  
期  
大  
学  
校  
名  
を  
成  
安  
造  
形  
短  
期  
大  
学  
に  
改  
称  
。
- 平成 8年 学位授与機構による成安造形短期大学専攻  
科  
服  
飾  
文  
化  
専  
攻  
2  
年  
制  
課  
程  
の  
認  
定  
。
- 平成 12年 中学校・高等学校名を京都成安中学校・京  
都  
成  
安  
高  
等  
学  
校  
に  
改  
称  
。
- 平成 14年 成安造形短期大学の設置者を学校法人大阪  
成  
蹊  
学  
園  
に  
変  
更  
。
- 平成 19年 京都成安中学校、京都成安高等学校の設置  
者  
を  
学  
校  
法  
人  
京  
都  
産  
業  
大  
学  
に  
変  
更  
。
- 平成 20年 成安造形大学附属近江学研究所を開設。
- 平成 21年 成安造形大学造形学部デザイン科・造形美  
術  
科  
を  
芸  
術  
学  
部  
芸  
術  
学  
科  
に  
改  
組  
す  
る  
こ  
と  
、  
募  
集  
定  
員  
を  
2  
8  
5  
名  
か  
ら  
2  
0  
0  
名  
に  
変  
更  
す  
る  
こ  
と  
を  
文  
部  
科  
学  
省  
に  
届  
出  
し  
、  
受  
理  
。
- 平成 22年 成造形大学造形学部デザイン科・造形美術  
科  
を  
募  
集  
停  
止  
し  
、  
芸  
術  
学  
部  
を  
設  
置  
（  
届  
出  
）  
。学  
校  
法  
人  
京  
都  
成  
安  
学  
園  
創  
立  
9  
0  
周  
年  
記  
念  
式  
典  
挙  
行  
。

- 平成 25 年 成安造形大学開学 20 周年記念事業実施。  
平成 29 年 成安造形大学造形学部デザイン科、造形美術科を廃止。  
平成 30 年 成安造形大学学生専用アパートメント YOHAKU 竣工

## 令和

- 令和 2 年 学校法人京都成安学園創立 100 周年を迎える。  
成安幼稚園開園 90 周年を迎える。  
学園創立 100 周年記念事業として、成安幼稚園遊戯棟、第二保育棟、第三保育棟を解体し、新棟を建設。  
令和 3 年 学園創立 100 周年記念事業として、成安造形大学のエントランス部の改修と構内に作品を設置。  
令和 4 年 成安造形大学学生専用アパートメント YOHA KU II 竣工。  
令和 5 年 成安造形大学開学 30 周年。

### 歴代理事長（学校法人設立以降）

- 初代理事長 瀬尾 チカ （昭和 26 年）  
第二代理事長 後藤 龍太郎 （昭和 32 年）  
第三代理事長 瀬尾 登美子 （昭和 40 年）  
第四代理事長 井筒 與兵衛 （昭和 50 年）  
第五代理事長 井筒 邦雄 （平成 8 年）  
第六代理事長 中 明夫 （平成 11 年）  
第七代理事長 木村 至宏 （平成 19 年）  
第八代理事長 近藤 功 （平成 21 年）  
第九代理事長 小林 徹 （平成 25 年）  
第十代理事長 山田 崇 （令和 6 年）

※（ ）は就任年

#### 4 学校法人の名称等

- (a) 法人の名称  
学校法人京都成安学園
- (b) 主たる事務所の所在地  
滋賀県大津市仰木の里東四丁目3番1号 (〒520-0248)  
電話番号 077-571-0850  
ファックス 077-574-2120  
HP.アドレス <https://www.seian.ac.jp/about/seiangakuen/>

#### 5 設置する学校

##### (1) 成安造形大学

- (a) 学長  
小寄 善通
- (b) 開設  
平成5年
- (c) 所在地  
滋賀県大津市仰木の里東四丁目3番1号 (〒520-0248)
- (d) 校地面積及び建物面積  
校地面積 55,354.26㎡ (設置基準面積 8,200.00㎡)  
建物面積 20,668.10㎡ (設置基準面積 8,090.00㎡)
- (e) 設置学部・学科  
芸術学部芸術学科
- (f) 定員及び現員

令和6年5月1日現在 単位：人

| 学部・学科 |      |    | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 | 合計  |
|-------|------|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 芸術学部  | 芸術学科 | 定員 | 220 | 224 | 208 | 204 | 856 |
|       |      | 現員 | 266 | 238 | 231 | 238 | 973 |
| 合計    |      | 定員 | 220 | 224 | 208 | 204 | 856 |
|       |      | 現員 | 266 | 238 | 231 | 238 | 973 |

注. 芸術学部3年次編入学定員は10名。

[男女別現員]

令和6年5月1日現在 単位：人

| 学部・学科 |      | 1年次 |     | 2年次 |     | 3年次 |     | 4年次 |     | 合計  |     |
|-------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
|       |      | 男   | 女   | 男   | 女   | 男   | 女   | 男   | 女   | 男   | 女   |
| 芸術学部  | 芸術学科 | 92  | 174 | 74  | 164 | 73  | 158 | 87  | 151 | 326 | 647 |
| 合計    |      | 266 |     | 238 |     | 231 |     | 238 |     | 973 |     |

[領域別現員]

令和6年5月1日現在 単位：人

| 領域          | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 | 合計  |
|-------------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 総合領域        | 23  | 18  | 10  | 17  | 68  |
| イラストレーション領域 | 103 | 104 | 105 | 101 | 413 |
| 美術領域        | 42  | 44  | 37  | 37  | 160 |
| 情報デザイン領域    | 52  | 42  | 44  | 45  | 183 |
| 空間デザイン領域    | 34  | 26  | 29  | 28  | 117 |
| 地域実践領域      | 12  | 4   | 6   | 10  | 32  |
| 合計          | 266 | 238 | 231 | 238 | 973 |

(g) 入学定員及び充足率（5年間）の推移

令和6年5月1日現在 単位：人

| 学部・学科    |      |            | 令和<br>2年度 | 令和<br>3年度 | 令和<br>4年度 | 令和<br>5年度 | 令和<br>6年度 |
|----------|------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 芸術<br>学部 | 芸術学科 | 入学定員       | 200       | 200       | 200       | 220       | 220       |
|          |      | 現員         | 234       | 230       | 221       | 243       | 255       |
| 合計       |      | 充足率<br>(%) | 117.0     | 115.0     | 110.5     | 110.5     | 115.9     |

(h) 収容定員及び充足率（5年間）の推移

令和6年5月1日現在 単位：人

| 学部・学科    |      |            | 令和<br>2年度 | 令和<br>3年度 | 令和<br>4年度 | 令和<br>5年度 | 令和<br>6年度 |
|----------|------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 芸術<br>学部 | 芸術学科 | 収容定員       | 820       | 820       | 820       | 838       | 856       |
|          |      | 現員         | 949       | 921       | 920       | 929       | 973       |
| 合計       |      | 充足率<br>(%) | 115.7     | 112.3     | 112.2     | 110.9     | 113.7     |

**(2) 成安幼稚園**

(a) 園長

藤田 朋美

(b) 開設

昭和50年

(c) 所在地

京都府向日市寺戸町八反田3番1号（〒617-0002）

(d) 校地面積及び建物面積

校地面積 2,691.00㎡、建物面積 1,155.59㎡（設置基準面積 920.00㎡）

(e) 定員及び現員

令和6年5月1日現在 単位：人

|    | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計  |
|----|-----|-----|-----|-----|
| 定員 | 134 | 90  | 90  | 314 |
| 現員 | 40  | 43  | 46  | 129 |

[男女別現員] 令和6年5月1日現在 単位：人

|    | 3歳児 |    | 4歳児 |    | 5歳児 |    | 合計  |    |
|----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|----|
|    | 男   | 女  | 男   | 女  | 男   | 女  | 男   | 女  |
| 現員 | 17  | 23 | 24  | 19 | 16  | 30 | 57  | 72 |
| 合計 | 40  |    | 43  |    | 46  |    | 129 |    |

## 6 役員の概要

(1) 理事 理事定数：6人以上12人以内（現員：10人）

令和7年3月31日現在

| 役職名  | 氏名    | 寄附行為上の選任条項      | 摘要  |
|------|-------|-----------------|---|
| 理事長  | 山田 崇  | 第6条第1項          | 常勤<br>令和6年4月1日 理事長就任                          |
| 専務理事 | 山下 英利 | 第6条第2項          | 非常勤<br>令和2年4月1日 専務理事就任                        |
| 理事   | 小嵯 善通 | 第7条第1項第1号 大学長   | 常勤<br>令和3年4月1日 大学長就任<br>令和3年4月1日 理事（第1号）就任    |
|      | 岩本 洋子 | 第7条第1項第2号 評議員   | 非常勤<br>平成11年4月26日 理事就任<br>岩本法律事務所 代表          |
|      | 目片 信悟 | 第7条第1項第2号 評議員   | 非常勤<br>令和2年4月1日 理事就任<br>滋賀県議会議員               |
|      | 山田 崇  | 第7条第1項第3号 学識経験者 | 常勤<br>令和6年4月1日 理事（第3号） 選任条項変更<br>大津商工会議所 常務理事 |
|      | 小林 徹  | 第7条第1項第3号 学識経験者 | 非常勤<br>平成22年4月1日 理事就任<br>オブテックスグループ株式会社取締役相談役 |
|      | 山下 英利 | 第7条第1項第3号 学識経験者 | 非常勤<br>平成28年4月1日 理事就任<br>滋賀県農業共済組合 組合長        |
|      | 岡田 修二 | 第7号第1項第3号 学識経験者 | 常勤<br>令和3年4月1日 理事（第3号） 選任条項変更                 |
|      | 畠山 義隆 | 第7号第1項第3号 学識経験者 | 常勤<br>平成28年4月1日 理事就任<br>法人本部長                 |
|      | 人長 信昭 | 第7号第1項第3号 学識経験者 | 非常勤<br>令和2年4月1日 理事就任<br>成安造形大学 名誉教授           |
|      | 西久松吉雄 | 第7号第1項第3号 学識経験者 | 非常勤<br>令和2年4月1日 理事就任<br>成安造形大学 名誉教授           |

※第7条第1項第2号理事は評議員のうちから評議員会において、第3号理事は学識経験者のうちから理事会において選任。

**(2) 監事 監事定数：2人以上3人以内（現員：2人）**

令和7年3月31日現在

| 役職名 | 氏名    | 寄附行為上の選任条項 | 摘要                                   |
|-----|-------|------------|--------------------------------------|
| 監事  | 三浦 常治 | 第8条        | 非常勤<br>令和2年4月1日 監事就任<br>学校法人村上学園 評議員 |
|     | 藤野 一郎 | 第8条        | 非常勤<br>令和3年4月1日 監事就任                 |

**7 評議員の概要**

評議員定数：16人以上25人以内（現員：21人）

令和6年3月31日現在

| 氏名    | 寄附行為上の選任条項                    | 摘要   |
|-------|-------------------------------|--|
| 泊 博雅  | 第23条第1項第1号 法人職員(理事会推薦・評議員会選任) | 大学部門 (大学教授・副学長)<br>令和3年4月1日 評議員就任                          |
| 日比野文孝 | 第23条第1項第1号 法人職員(理事会推薦・評議員会選任) | 大学部門 (大学・総務部長)<br>令和5年4月1日 評議員就任                           |
| 藤田 朋美 | 第23条第1項第1号 法人職員(理事会推薦・評議員会選任) | 幼稚園部門 (園長)<br>平成27年4月1日 評議員就任                              |
| 川満 真也 | 第23条第1項第2号 卒業生(理事会選任)         | 成安造形大学卒業生 (同窓会長)<br>平成12年5月26日 評議員就任<br>株式会社ブレーンセンター       |
| 福井 千波 | 第23条第1項第2号 卒業生(理事会選任)         | 成安造形大学卒業生<br>令和5年4月1日 評議員就任<br>特定非営利活動法人komado 代表取締役       |
| 小林 徹  | 第23条第1項第4号 学識経験者(理事会選任)       | 保護者以外の学識経験者<br>平成25年5月1日 評議員就任<br>オペテックグループ株式会社<br>取締役相談役  |
| 小嵯 善通 | 第23条第1項第3号 理事(理事会選任)          | 京都成安学園 理事<br>令和3年4月1日 評議員就任<br>成安造形大学 学長・教授                |
| 坂井 昇  | 第23条第1項第4号 学識経験者(理事会選任)       | 卒業生の保護者<br>平成16年4月1日 評議員就任<br>洛陽総合高等学校 非常勤講師               |
| 山本 昌和 | 第23条第1項第4号 学識経験者(理事会選任)       | 卒業生の保護者<br>平成16年4月1日 評議員就任                                 |
| 岩本 洋子 | 第23条第1項第4号 学識経験者(理事会選任)       | 保護者以外の学識経験者<br>平成11年4月26日 評議員就任<br>京都成安学園 理事<br>岩本法律事務所 代表 |
| 目片 信悟 | 第23条第1項第4号 学識経験者(理事会選任)       | 保護者以外の学識経験者<br>平成17年4月1日 評議員就任<br>滋賀県議会議員                  |

|       |                         |   |
|-------|-------------------------|---|
| 石丸 正運 | 第23条第1項第4号 学識経験者(理事会選任) | 保護者以外の学識経験者<br>平成26年4月1日 評議員就任<br>(公財)秀明文化財団 専務理事<br>公益財団法人秀明文化財団専務理事 |
| 山田 崇  | 第23条第1項第3号 理事(理事会選任)    | 京都成安学園 理事長<br>平成30年7月1日 評議員就任<br>大津商工会議所 常務理事                         |
| 花山 智久 | 第23条第1項第4号 学識経験者(理事会選任) | 保護者以外の学識経験者<br>平成28年4月1日 評議員就任  |
| 木村 至宏 | 第23条第1項第4号 学識経験者(理事会選任) | 保護者以外の学識経験者<br>平成27年4月1日 評議員就任<br>成安造形大学 名誉教授<br>附属近江学研究所 顧問          |
| 岸野 洋  | 第23条第1項第4号 学識経験者(理事会選任) | 保護者以外の学識経験者<br>平成29年4月1日 評議員就任<br>NPO法人比良比叡自然学校常務理事                   |
| 松本 隆  | 第23条第1項第4号 学識経験者(理事会選任) | 保護者以外の学識経験者<br>令和2年4月1日 評議員就任<br>学校法人松風学園 理事長<br>松金工業株式会社 取締役会長       |
| 佐藤 祐子 | 第23条第1項第4号 学識経験者(理事会選任) | 保護者以外の学識経験者<br>令和2年4月1日 評議員就任<br>株式会社国華荘 代表取締役社長<br>おごと温泉観光協会 会長      |
| 小山 昌英 | 第23条第1項第4号 学識経験者(理事会選任) | 保護者以外の学識経験者<br>令和2年4月1日 評議員就任<br>宗教法人神慈秀明会事務局長                        |
| 辻 喜代治 | 第23条第1項第4号 学識経験者(理事会選任) | 保護者以外の学識経験者<br>令和3年5月29日 評議員就任<br>成安造形大学 名誉教授                         |
| 久保田繁雄 | 第23条第1項第4号 学識経験者(理事会選任) | 保護者以外の学識経験者<br>令和5年4月1日 評議員就任<br>大阪成蹊大学 名誉教授                          |
| 村岡 幸信 | 第23条第1項第4号 学識経験者(理事会選任) | 保護者以外の学識経験者<br>令和6年7月27日 評議員就任  |

※評議員の就任年月は、当該選任条項に係る評議員就任年月を表示。

## 8 特別顧問の概要

令和6年3月31日現在

| 氏名    | 摘要   |
|-------|--|
| 草木 輝子 | 平成12年4月1日－平成17年3月31日 成安幼稚園長、平成14年4月1日－平成17年3月31日 京都成安学園 理事<br>平成17年4月1日 特別顧問就任 |
| 大野 俊明 | 平成26年4月1日 成安造形大学 名誉教授<br>平成26年4月1日 特別顧問就任<br>令和2年4月1日 成安造形大学 客員教授              |

|       |   |
|-------|---|
| 牛尾 郁夫 | 平成21年4月1日－平成27年3月31日 成安造形大学長、京成安学園 理事<br>平成27年4月1日 特別顧問就任 |
|-------|---|

## 9 職員の概要

### (1) 教育職員

(a) 成安造形大学

令和6年5月1日現在 単位：人

| 学部            | 学科   | 設置基準上<br>必要専任教育職員数 |      | 専任教育職員数    |     |    |    |    | 非常勤<br>講師 |
|---------------|------|--------------------|------|------------|-----|----|----|----|-----------|
|               |      | 学科                 | 大学全体 | 教授         | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 |           |
| 芸術学部          | 芸術学科 | 14                 | 13   | 21         | 17  | 4  | 4  | 8  | 117       |
| 合計<br>(うち教授数) |      | 27<br>(14)         |      | 54<br>(21) |     |    |    |    |           |

注1. 専任教員には任期制教員を含む。

注2. 専任教員数の合計は、授業を担当しない助手8人を除く。

注3. 本表と別に、客員教員・招聘教員がいる。

(b) 成安幼稚園

令和6年5月1日現在 単位：人

| 専任教育職員 | 常勤講師 | 合計 | 非常勤講師 |
|--------|------|----|-------|
| 6      | 5    | 11 | 9     |

### (2) 事務職員

令和6年5月1日現在 単位：人

|      | 専任事務職員 | 技能職員 | 合計 | 臨時職員 |
|------|--------|------|----|------|
| 法人本部 | 5      | 0    | 5  | 0    |
| 大学   | 26     | 8    | 34 | 34   |
| 幼稚園  | 2      | 1    | 3  | 0    |
| 合計   | 33     | 9    | 42 | 34   |

注1. 臨時職員は、5月1日現在で契約している者のうち、契約期間が2ヶ月を超える者

注2. 専任事務職員には職務限定職員、契約事務職員を含む

## 10 理事会、評議員会の開催状況

令和6年度の理事会は計12回開催し、理事の平均出席率は100.0%（令和5年度開催回数10回・理事平均出席率99.3%）でした。また、評議員会は計4回開催し、評議員の平均出席率は100.0%（令和5年度開催回数3回・評議員平均出席率100.0%）でした。

※理事会、評議員会とも書面による意思表示を含む。

## 1.1 監事による監査の実施状況

### (1) 監査の基本方針

本法人の建学の精神のもと、設置校が掲げる教育理念に沿って教育目標を達成するための活動ができていくかという観点に立ち、法人・各部門及び理事の業務執行状況並びに財産管理の適切性について監査を行いました。

これは、本法人の教育・研究機能の向上と財政基盤の確立に寄与し、以て法人の健全な発展及び効率的な運営に資することを目的とするもので、さらに内部監査室及び会計監査人との密なる連携に努め、監査人会（監事・内部監査室・会計監査人）を通して十分に意思疎通を図り、実効性の高い監査の実現をめざすものです。

### (2) 監査体制

監事2人は概ね週2日出校し、うち1日は同一曜日として監事双方の情報共有・意見交換を行うなど、恒常的に監査業務に携わりました。

### (3) 監査実施内容と実施方法、監査項目

監査に当たり、理事会、評議員会に毎回出席し、理事会、評議員会の運営状況及び理事の業務執行状況を監査するとともに、各校運営状況については大学、幼稚園の運営協議会などの重要な会議の議事録、資料の提出を求めその適正性を監査しました。また、事業計画に掲げた重点項目や業務監査については、担当責任者及び担当者等からのヒアリングにより実施しました。その内容は下表のとおりです。

会計監査については、監査人会において公認会計士から会計監査状況や問題点の有無などを確認し、情報の共有や意見交換を行いました。

|   | 監査項目   | 監査対象                   |
|---|--|------------------------|
| 1 | ・大学の行う無料職業紹介事業業務取扱要領について   | 大学<br>キャリアサポートセンター事務課長 |
| 2 | ・令和6年度事業計画の進捗状況について<br>人事管理システム導入後の運営状況についてなど<br>・公印・公金管理について<br>・業務引継ぎ状況について<br>・SD研修について                               | 大学<br>総務課長             |
| 3 | ・令和6年度事業計画の進捗状況について<br>事業計画と事業報告の内容の相違について<br>・留学生支援センターの業務について<br>・学生会組織の在り方について  | 大学<br>教務課長             |
| 4 | ・不正防止に係る内部統制についての文部科学省による不正防止体制整備等自己評価チェックリストについて<br>コンプライアンス教育について<br>行動規範の作成について<br>不正告発窓口について<br>不正防止計画のモニタリングについて など | 大学<br>研究・連携支援課長        |
| 5 | ・令和6年度事業計画の執行状況と課題について<br>人事体制について<br>ラボの取りまとめについて<br>図書館の運営について<br>事業計画に係る予算の執行状況について<br>貸出し用学生ノートパソコンについて              | 大学<br>クリエイティブサポート事務課長  |

|   |  |              |
|---|--|--------------|
| 6 | <ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度事業計画の執行状況と課題について</li> <li>園支援システムの導入について</li> <li>預かり保育の現状について</li> <li>広報・募集体制について</li> <li>成安幼稚園教育体系について</li> <li>危機管理対応マニュアルについて</li> </ul>   | 幼稚園<br>幼稚園長  |
| 7 | <ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度事業計画の執行状況と課題について</li> <li>広報媒体の見直しについて</li> <li>入試制度の見直しについて</li> <li>インターネットによる出願システムについて</li> <li>オープンキャンパスの実施状況について</li> <li>留学生対策について</li> <li>地域実践領域の学生募集対策について</li> <li>アドミッションポリシー確立について</li> </ul> | 大学<br>入学広報課長 |

#### (4) 監査人会の実施

公認会計士による監査期日に合わせ、公認会計士、内部監査室長及び監事を構成とした監査人会を5回（令和6年4月2日、5月22日、9月11日、11月21日、令和7年2月12日）実施しました。

監事、内部監査室、公認会計士のそれぞれの監査状況や問題点を報告し、情報の共有・意見交換を行いました。

## 1.2 内部監査の実施状況

### (1) 内部監査の基本方針

本法人の経理及び一般業務について誤謬あるいは脱漏を防止し、かつ業務全般にわたる管理運営について、合法性と合理性の観点から検討及び評価し、もって経営の改善及び業務能率の向上を図り、本法人の健全な運営を確保し、発展に資することを目的に監査を実施しました。

### (2) 内部監査体制

内部監査室は令和4年4月に設置し体制を整えました。理事長に監査方針、監査計画を提案し業務をすすめました。また、監事と情報共有・意見交換を行うなどの連携を行いました。

監査人会では、会計監査、監事監査、内部監査それぞれの監査状況や問題点を報告し、情報の共有・意見交換を行いました。

### (3) 内部監査実施内容と実施方法、監査項目

監査の方法は、関連資料を確認するとともに、必要に応じて担当等からのヒアリングにより実施しました。令和6年度の監査項目は次のとおりです。

|   | 監 査 項 目                           | 監 査 対 象                          |
|---|-----------------------------------|----------------------------------|
| 1 | 令和6年度研究不正防止に関する取組みの実施状況について       | 大学 当該研究費受給研究者<br>研究・連携支援課<br>幼稚園 |
| 2 | 令和6年度科学研究費助成事業の適正な執行と事務処理の適切性について | 大学 当該研究費受給研究者<br>研究・連携支援課        |

|   |                                  |                                  |
|---|----------------------------------|----------------------------------|
| 3 | 令和5年度、令和6年度売買契約に係る諸手続きの適切性について   | 法人・大学・幼稚園 当該部署等                  |
| 4 | 令和5年度文書保存・管理状況（システムデータ管理含む）について  | 法人・大学・幼稚園 当該部署等                  |
| 5 | 令和5年度、令和6年度教職員の勤怠管理に関すること        | 大学・幼稚園 全部署等                      |
| 6 | 令和5年度備品の管理状況に関すること               | 大学・幼稚園 当該部署等                     |
| 7 | 令和5年度機関会議の議事録整備状況について            | 法人・大学・幼稚園 当該部署等                  |
| 8 | 令和6年度特別研究助成事業の適正な執行と事務処理の適切性について | 大学 当該研究費受給研究者<br>研究・連携支援課        |
| 9 | 令和6年度個人研究費の適正な執行と事務処理の適切性について    | 大学 当該研究費受給研究者<br>研究・連携支援課<br>幼稚園 |

#### （４）モニタリング

諸施策の業務執行に関する手続状況について、評議員会への陪席、機関会議の議事録の閲覧、学園諸規程との整合性のチェックなどにより、学園の方向性を常に把握しながら適正性を確認しました。

## II 事業の概要

### 1 成安造形大学の事業の概要

#### 成安造形大学の基本理念（教育理念） 「芸術による社会への貢献」

私たち成安造形大学は、芸術分野における真摯（しんし）な教育と研究を通して広く社会に貢献する。独自の実践的学士課程教育によって、発想力・提案力・技術力に優れた清廉（せいれん）な人材を輩出する。そして、誇るべき永い伝統を全員が胸に抱き、新しき人門を目指す。

私たちは今、自らの文化や精神性を改めて深く認識し、それらをしっかり引き継ぐことを真剣に考えねばならない時代にある。芸術の果たす役割もますます大きくなっていくに違いない。その中で私たちは、芸術大学の今日的意義を模索し、あるべき姿を追い求める。そして、新たな芸術観の確立に向けて研鑽（けんさん）を重ね、公正なまなざしで自らの社会性を高め、創造性豊かな提案を続けていく。

私たちは、学びのクオリティーにこだわる。総合性と専門性を両立しうる高度なカリキュラムを準備するとともに、和気藹々（あいあい）と心地よく学べるゆきとどいた教育環境を整える。学生一人ひとりの個性としっかり向き合い、持てる力を大きく引き出す少人数教育を行う。

私たちは、造形にもとづく叡知（えいち）を開く。ものをかたちづくるその過程において、多くを学び、心が生き生きする出会いの瞬間を見いだす。自然や素材と交わる経験を通して、学生たちが感性を大きく伸ばせる実践教育を行う。

私たちは、決して揺るがない。自らの芸術を実現し、高く成し遂げるための信念において揺るがない。なぜなら、本学には校訓「誠と熱」が脈々と息づいているからである。私たちは、私たちの起源であるその盤石（ばんじゃく）の精神を継承し、さらに発展させ、学生たちに伝えていく。

私たちは、この場所から始めていく。この場所から生み出していく。学生たちとともに、多くの人々との交流と連携を進め、芸術の力で地域を活性化させる。そして私たちは、美しい湖国 唯一の芸術大学であるという自負を携え、その熱き鼓動を世界に向けて響かせる。

#### 成安造形大学の目的と学部・学科の人材育成目的

##### 【大学の目的】

成安造形大学は、デザイン及び美術に関する学術の中心として、広く知識を授けると共に、深く専門の理論、技能及びその応用を教授研究し、人格の完成を図り、国際性に富み、個性豊かな教養の高い人材を育成し、もって文化の創造・発展、産業の発展、国家社会の福祉に寄与することを目的とする。（学則第1条）

##### 【学部・学科の人材育成目的】

建学の精神、校訓、及び基本理念（教育理念）の下、芸術分野の専門性と創造性（クリエイティビティ）に優れ、よりよき社会のあり方について主体的に考え行動することができる人材の育成を目的とする。

## 成安造形大学のポリシー

### 【アドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）】

成安造形大学は、建学の精神、校訓、及び基本理念（教育理念）に共感し、ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）を達成するために必要となる次のような学力や資質を備えた人を求める。

#### (1) 学力

高等学校等において「学力の3要素」（①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）が培われている。

#### (2) 実践力

専門分野をいかし、社会の中で実践する意欲がある。

#### (3) 創造力

自らの創造性（クリエイティビティ）を伸ばす意欲がある。

#### (4) 課題解決力

課題を解決する能力を伸ばす意欲がある。

#### (5) 協働力

課題をやり遂げるために、他の人々と協働する意欲がある。

### 【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）】

成安造形大学は、建学の精神、校訓、及び基本理念（教育理念）の下、芸術分野の専門性と創造性（クリエイティビティ）に優れ、よりよき社会のあり方について主体的に考え行動することができる人材の育成を目的を実現するために、本学では、所定の課程を修め、124単位の単位修得と必修等の条件を充たしたうえで、以下に示す資質・能力を修得した者に学位を授与する。

#### (1) 実践力

専門分野をいかし、社会の中で実践することができる。

#### (2) 創造力

専門分野における制作によって、獲得した知識・技能・態度等を総合的にいかし成果を提示できる。

#### (3) 課題解決力

課題を正しく理解し、解決策を立て実行することができる。

#### (4) 協働力

多様性の理解を深め、他者とともに行動し、集団や社会のために貢献することができる。

#### (5) 主体的行動力

自分の目標をもち、その実現のために、自らを律しつつ誠意と熱意をもって行動することができる。

### 【カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）】

ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）で示した目標を達成できるように、以下の方針にもとづき教育課程を編成する。

- 1 学修の順次性を明確にし、芸術分野における実践力、創造力、課題解決力、協働力、および主体的行動力を養成するカリキュラムを構築する。

- 2 1年前期・後期を《専門導入課程》、2年前期・後期 3年前期・後期を《専門基盤課程》、4年前期・後期を《専門研究課程》の3段階で編成する。各科目を「専門科目」と「学部共通科目」に分類する。
- 3 学習成果を、各科目において掲げる学修目標への到達度により厳正に評価する。《専門基盤課程》に進むにあたり基礎的な専門能力を、また《専門研究課程》に進むにあたっては、主体的に研究を行う能力の有無を見極める進級審査を実施する。
- 4 導入教育を充実させて以後の学びを進めるために必要な汎用的基礎力（協働力および主体的行動力）と課題解決力を養成し、またそれぞれが学ぶ専門分野と密接に結びついた創造力および実践力を確立できる科目を設置する。
  - a. 「専門科目」では、課程に応じて「専門導入科目群」、「専門基盤科目群」、「専門研究科目群」の3つの段階で履修する。「専門導入科目群」では専門分野を修めるために必要不可欠な最低限の知識や技能を養うための実習科目と演習科目が、「専門基盤科目群」では各自の専門領域の基盤となる知識や技術を修得することで専門性を深く究めるための実習科目と演習科目がある。「専門研究科目群」ではゼミ段階的な履修や選択的な履修をもとに、各自の専門領域にかかわる知識や技術を広く修得することを通して、より高度な表現力や思考力を獲得するとともに、各自が主体的に自律的研究を進め、専門性を深く究めるための科目、卒業研究を設置している。
  - b. 「学部共通科目」は専門分野の研究やその後の進路を支える広範な学びを提供する科目で、「基礎科目群」、「応用科目群」、「教養科目群」、「社会実践科目群」の4つを大きな柱としている。

「基礎科目群」では、4年間の大学生活を自主的かつ円滑に進めるために必要な基礎的学力を身につけるスタートプログラム科目や芸術に対する認識の基盤となる理論の初歩を幅広く学び、広範な造形活動を支える芸術基礎科目、基本的な造形力を幅広く身につけるファウンデーション科目で構成されている。

「応用科目群」では、広範な芸術活動の専門性を理論的、実践的に支え、各領域の専門基盤課程、専門研究課程において必要とされる専門的知識・技能を習得するための芸術応用科目を提供する。

「教養科目群」には幅広い視点から造形活動を捉えることができる資質を獲得するための教養科目、異文化コミュニケーション能力を身につけるための外国語科目がある。また、単位互換協定を締結した大学、短期大学の科目を受講することもできる。

「社会実践科目群」は、社会との関係のなかで自己を確認し、卒業後の自己実現のために寄与する科目群である。地域貢献・プロジェクト科目は、地域社会における実践的な学びで、課題解決力を養う科目である。また、キャリアデザイン科目は、段階的な学びにおいて各自の目標に合わせたキャリアデザインを構築するための科目である。

### 【アセスメント・ポリシー】

成安造形大学は、教育の成果を可視化し、教育改善を恒常的に実施する目的で、3つのポリシーに則した独自の評価指標に基づき、学生の学修成果を測定・評価するよう定めています。

測定・評価は学生の入学時から卒業時までを視野に入れ、機関レベル・教育課程レベル・科目レベルの3つのレベルにおいて多面的に行うこととし、各時点・各レベルに以下のような指標を配置します。

|             | 入学時  | 在学中   | 卒業時   |
|-------------|--|---|---|
| 機関<br>レベル   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・入学試験</li> <li>・入学前プログラム</li> <li>・調査書等の記載内容</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・休学率</li> <li>・退学率</li> <li>・満足度調査<br/>(隔年調査)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業率</li> <li>・就職率</li> <li>・進学率</li> <li>・学位授与数</li> </ul>  |
| 教育課程<br>レベル | <ul style="list-style-type: none"> <li>・入学試験</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・GPA</li> <li>・進級率</li> <li>・休学率</li> <li>・退学率</li> <li>・修得単位数</li> <li>・満足度調査<br/>(隔年調査)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・GPA</li> <li>・資格、免許取得状況</li> <li>・単位修得状況</li> <li>・学習成果アンケート調査</li> <li>・就職率</li> <li>・進学率</li> <li>・学位授与数</li> </ul> |
| 科目<br>レベル   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・入学試験</li> <li>・PCアンケート</li> </ul>                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・成績評価</li> <li>・授業アンケート</li> <li>・学修ポートフォリオ</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究制作成果の公表</li> <li>・学修ポートフォリオ</li> </ul>  |

## 成安造形大学の沿革

|             |  |  |
|-------------|--|--|
| 平成 3(1991)年 | 7月                                       | 成安造形大学の設置認可を申請   |
| 平成 4(1992)年 | 12月                                      | 成安造形大学の設置が認可   |
| 平成 5(1993)年 | 4月                                       | 滋賀県大津市に成安造形大学（造形学部デザイン科、造形美術科）開学・入学定員は140人（デザイン科80人、造形美術科60人）・初代学長に井筒與兵衛就任（理事長兼務）                  |
| 平成 6(1994)年 | 6月                                       | 学校法人京都成安学園（成安造形大学・成安造形短期大学）と英国・ド・モンフォート大学（DE MONTFORT UNIVERSITY）との友好交流協定締結                        |
|             | 6月                                       | 学校法人京都成安学園（成安造形大学・成安造形短期大学）と英国・ド・モンフォート大学（DE MONTFORT UNIVERSITY）との友好交流協定書に基づく教職員の派遣及び相互交流に関する覚書締結 |
|             | 6月                                       | 学校法人京都成安学園（成安造形大学・成安造形短期大学）と英国・ド・モンフォート大学（DE MONTFORT UNIVERSITY）との友好交流協定書に基づく留学生の受け入れに関する覚書締結     |
| 平成 8(1996)年 | 8月                                       | 第2代学長に田邊徹就任  |
| 平成 9(1997)年 | 3月                                       | 第1期生が卒業  |
| 平成12(2000)年 | 8月                                       | 第3代学長に木村至宏就任   |
| 平成13(2001)年 | 1月                                       | 実習G・H棟竣工   |
| 平成14(2002)年 | 4月                                       | 入学定員を260人（デザイン科160人、造形美術科100人）に変更  |
|             |  | 開学10周年を機にスクールバス運行開始  |
| 平成15(2003)年 | 2月                                       | 実習I・J棟、聚英館竣工   |
|             | 5月                                       | 成安造形大学と京都市教育委員会との「学生ボランティア」学校サポート事業における学生の派遣に関する協定締結   |
|             | 5月                                       | 成安造形大学開学10周年記念式典を挙げる   |
| 平成16(2004)年 | 3月                                       | 大津市と成安造形大学との協力に関する協定締結   |
|             | 10月                                      | 成安造形大学と京都信用金庫との産学連携に関する業務連携・協力に関する覚書締結   |
|             |  | セルフビルドによるカフェテリア「結」完成   |
| 12月         | 成安造形大学と京都中央信用金庫との産学連携に関する業務連携・協力に関する覚書締結 |  |
| 平成17(2005)年 | 3月                                       | 成安造形大学と滋賀県教育委員会との連携協力に関する協定締結  |
| 平成18(2006)年 | 4月                                       | 学校法人京都成安学園 成安造形大学と中小企業金融公庫大津支店との産学連携の協力推進に係る協定締結   |
| 平成19(2007)年 | 4月                                       | 入学定員を285人（デザイン科185人、造形美術科100人）に変更  |
|             | 12月                                      | 高島市と成安造形大学との地域連携にかかる協定締結   |
| 平成20(2008)年 | 3月                                       | 滋賀県立近代美術館と成安造形大学との相互協力にかかる協定締結   |
|             | 4月                                       | 附属近江学研究所を開設  |
| 平成21(2011)年 | 4月                                       | 第4代学長に牛尾郁夫就任   |
|             | 5月                                       | 地域と産業の活性化を図る三重県と成安造形大学の連携に関する協定締結  |
|             | 11月                                      | 英国・バース・スパ大学（BATH SPA UNIVERSITY）と成安造形大学との学術交流に関する協定締結  |
| 平成22(2010)年 | 3月                                       | 滋賀県と成安造形大学との連携・協力に関する協定締結  |
|             | 4月                                       | 届出による芸術学部芸術学科（定員200人）設置  |
|             | 4月                                       | 地域連携推進センターを設置  |
|             | 5月                                       | 成安造形大学と英国・ロンドン大学ゴールドスミス・カレッジ（GOLDSMITHS, UNIVERSITY OF LONDON）との留学協定締結                             |
|             | 8月                                       | 草津市と成安造形大学との協力に関する協定締結   |
|             | 10月                                      | 学校法人京都成安学園創立90周年記念事業により成安造形大学「キャンパスが美術館」を開館  |
|             | 10月                                      | 学校法人京都成安学園創立90周年記念式典を挙げる（年間をとおして記念事業を展開）   |

|             |   |   |
|-------------|---|---|
| 平成23(2011)年 | 3月  | 財団法人日本高等教育評価機構を評価機関とする大学機関別認証評価を受審し、成安造形大学は「基準を満たしている」との認定を受ける  |
| 平成24(2012)年 | 4月  | 学校法人松風学園彦根総合高等学校と学校法人京都成安学園成安造形大学との連携に関する協定締結   |
|             | 4月  | 学校法人洛陽総合学院と学校法人京都成安学園との連携に関する協定締結   |
|             | 11月   | 成安造形大学と米国・スクールオブヴィジュアルアーツ (SCHOOL OF VISUAL ARTS) 間の覚書締結  |
| 平成25(2013)年 | 4月  | 成安造形大学開学20周年  |
|             | 5月  | 開学20周年記念事業ホームカミングデー2013を開催  |
|             | 11月   | 開学20周年記念式典を挙げる  |
| 平成26(2014)年 | 1月  | 英国・バース・スパ大学 (BATH SPA UNIVERSITY) と成安造形大学との学術交流に関する協定締結   |
|             | 3月  | 開学20周年記念事業食堂棟リニューアルプロジェクト竣工   |
|             | 4月  | 公益財団法人びわ湖ホールと学校法人京都成安学園 成安造形大学との連携・協力に関する協定締結   |
|             | 4月  | 公益財団法人びわ湖ホールと学校法人京都成安学園 成安造形大学との連携事業に関する覚書締結  |
|             | 6月  | 成安造形大学とドイツ・マンハイム専門大学 (HOCHSCHULE MANNHEIM – UNIVERSITY OF APPLIED SCIENCES) との間の学生および教職員の交換留学に関する協定締結 |
|             | 6月  | 成安造形大学と一般財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会との相互連携・協力体制構築に関する協定締結   |
|             | 10月   | 学校法人松風学園・彦根総合高等学校と学校法人京都成安学園・成安造形大学との姉妹校協定締結  |
| 平成27(2015)年 | 4月  | 第5代学長に岡田修二就任  |
|             | 4月  | 公益財団法人びわ湖ホールと学校法人京都成安学園 成安造形大学との連携事業に関する覚書締結  |
|             | 4月  | 滋賀県立琵琶湖博物館と成安造形大学との連携協定にかかる協定締結   |
|             | 4月  | 学校法人洛陽総合学院・洛陽総合高等学校と学校法人京都成安学園・成安造形大学とのパートナーシップ協定締結   |
|             | 4月  | 学校法人つくば開成学園と学校法人京都成安学園・成安造形大学とのパートナーシップ協定締結   |
|             | 8月  | 聖泉大学と成安造形大学との事務職員の能力開発に関する連携協定締結  |
|             | 9月  | 滋賀県中小企業団体中央会と成安造形大学との包括連携に関する協定締結   |
| 平成28(2016)年 | 3月  | 公益財団法人日本高等教育評価機構を評価機関とする大学機関別認証評価 (第2クール) を受審し、成安造形大学は「大学評価基準に適合している」との認定を受ける                         |
|             | 3月  | 成安造形大学学生専用アパートメント「YOHAKU」A棟供用開始   |
| 平成29(2017)年 | 3月  | 成安造形大学造形学部デザイン科、造形美術科廃止   |
|             | 4月  | イラストレーション領域を9コースに改編   |
|             | 4月  | 覚書 (学校法人大覚寺学園との本学卒業生の嵯峨美術大学大学院への入学に係る入学金の減免に係る覚書) 締結  |
|             | 4月  | 学校法人明珠学園・京都翔英高等学校と学校法人京都成安学園・成安造形大学とのパートナーシップ協定締結   |
|             | 4月  | 学校法人MIHO美学院・MIHO美学院中等教育学校と学校法人京都成安学園・成安造形大学とのパートナーシップ協定締結   |
| 平成30(2018)年 | 8月  | 成安造形大学学生専用アパートメント「YOHAKU」B棟供用開始   |
|             | 3月  | 成安造形大学学生専用アパートメント「YOHAKU」C棟供用開始   |
|             | 4月  | 地域実践領域を開設   |
|             | 4月  | 総合領域ならびに情報デザイン領域 (旧メディアデザイン領域) を改編  |
|             | 4月  | 教育連携推進センターを設置   |
| 4月          | 覚書 (学校法人桑沢学園との本学卒業生の東京造形大学大学院への入学に係る入学金の減免に係る覚書) 締結 |   |

|                            |                           |   |
|----------------------------|---------------------------|---|
| 平成31(2019)年<br>令和 元(2019)年 | 4月                        | 学生支援部教学課に留学生支援センターを設置   |
|                            | 7月                        | 京都府と成安造形大学との京都府内の企業等への就職支援に取り組む連携及び協力に関する協定締結                                     |
| 令和 2(2020)年                | 4月                        | 学校法人京都成安学園創立100周年<br>新型コロナウイルス感染症の流行により入学式を中止し、授業開始を5月16日から（遠隔授業のみで対面授業は6月1日～）に延期 |
|                            | 12月                       | 滋賀県立信楽高等学校と学校法人京都成安学園・成安造形大学とのパートナーシップ協定締結  |
| 令和 3(2021)年                | 2月                        | 第1回外部評価を実施  |
|                            | 4月                        | 第6代学長に小嵯善通が就任   |
|                            |                           | 人材育成目的及び3つのポリシーを再規定   |
|                            |                           | 未来社会デザイン共創機構設立<br>ノートパソコン無償貸与制度開始   |
| 令和 4(2022)年                | 3月                        | 学園創立100周年記念事業「クリエイティブキャンパス計画」エントランス改修竣工   |
|                            |                           | 公益財団法人日本高等教育評価機構を評価機関とする大学機関別認証評価（第3クール）を受審し、同機構の評価基準に適合と認定                       |
|                            |                           | 基幹システム「Active Academy Advance」及びポータルサイト「Seian Active Portal」の運用開始                 |
|                            |                           | 本学学生専用アパートメント「YOHAKU II」（第1期）供用開始   |
|                            | 5月                        | 亀岡市とのインターンシップ実習生派遣に関する協定を締結   |
|                            | 8月                        | 大阪中之島美術館との連携に関する協定を締結   |
| 令和 5(2023)年                | 4月                        | 成安造形大学開学30周年  |
|                            |                           | 芸術学部芸術学科1年次入学定員220人、2年次編入学定員4人、3年次編入学定員4人に学則変更                                    |
|                            |                           | イラストレーション領域を4コースに改編   |
|                            |                           | 本学学生専用アパートメント「YOHAKU II」（第2期）供用開始   |
|                            | 10月                       | コミュニティスペース結リニューアルオープン   |
| 11月                        | 開学30周年記念事業ホームカミングデー2023開催 |   |
| 令和 6(2024)年                | 3月                        | 新型コロナウイルス感染症の流行により入学式が中止となった令和2年度入学生に対する特別企画（琵琶湖ナイトクルーズ）を、第28回卒業証書・学位記授与式終了後に開催   |
|                            | 4月                        | 附属近江学研究所設立15周年記念事業「近江学の日」開催   |
|                            | 6月                        | 大津市社会福祉協議会と災害ボランティアに関する協定を締結  |
| 令和 7(2025)年                | 4月                        | デジタルクリエイションオープンラボを開設  |

## 【1】 中長期経営計画に関する事業

### （1）質保証システムの確立

#### ①新学事システム（AAA）の活用

新学事システム（AAA）の導入に伴い、令和 6 年度のガイダンスにおいて、学生の受講指定科目の事前登録を前期・後期ともに行えるようにしました。これにより、3 月の領域別ガイダンス及び個別履修相談会において年間を通じた履修指導が可能となり、学生が前期の時点で年間の履修計画を立てられるようになりました。その結果、後期の受講指定科目の登録漏れが減少したことと、総合領域他領域専門科目の登録可能人数の確定作業が大幅に削減されました。

#### ②離学者対策

教学委員会で、学生の学修状況を把握し効果的な支援を行うため、単位修得率や出欠登録状況の情報共有を行いました。特に、出欠登録率の向上に重点を置いており、これにより正確な出席情報を基にした適切な履修指導が可能となります。また連続して欠席している学生に対しては、該当する学生に対して随時連絡を取り、必要に応じて面談を実施しています。これらの取り組みにより、学生一人ひとりの学修状況をより詳細に把握し、早期の問題発見と適切な支援提供を行い、令和 7 年度以降の離学率減少を目指しています。

#### ③初年次教育の見直し

大学入門科目を前期に 2 科目実施することで、学生が早い段階で大学生活に必要な情報を得ることが可能になりました。これにより、スムーズな大学生活のスタートを支援する効果がありました。キャリアデザイン概論については、同日に授業を実施することにより、ゲストスピーカーへの依頼がより効率的になりました。これにより交通費が半減したことだけでなく、ゲストスピーカーにとっても予定を立てやすくなり、結果として招聘できるゲストの幅が広がりました。

さらに、一度の来校で複数の講義をこなせるため、ゲストスピーカーの負担も軽減されました。また同じ日に複数のクラスで同一内容を提供することで、学生の反応をリアルタイムで把握し、次の授業に即座に反映させることが可能になりました。これにより効果的で学生のニーズに合った授業展開が実現しました。さらに実施日を統一したことで、学生が授業日を間違えるケースが減少し、出席率の向上にもつながりました。

初年次教育検討部会において、新しい領域の設置や、就職活動の早期化、1 年次から専門分野を意識する学生の増加に伴い 2 年次以降に開講される領域受講指定科目（コース別専門科目）との接続をより強化するため、現在 1 年生を対象に実施されている基礎造形実習とファウンデーション実習の在り方について検討を実施中。これらの変更案については、十分な準備期間を設けるため、令和 9 年度（2027 年度）からの実施を目指して検討が進めています。

### （2）教育・研究の高度化、先鋭化と拡張

#### ①学生選書事業

令和 5 年度より実施している学生選書は、学生の図書館の利用促進や主体性と情報リテ

ラシーの育成、図書に対する学生の多様なニーズへの反映や読書習慣の定着などを目的としています。当年度は8名の学生が参加し111冊を選書して購入しました。また、図書館には学生による図書紹介POPとともにコーナーを特設しました。

図1 学生選書コーナーの様子



## ②学生の研究活動支援の推進

本学の研究活動の活性化を目的に、学生の研究活動を支援する「SEIAN ドリームプロジェクト（学生特別研究助成）」は、当年度18件（昨年度20件）の応募があり、内5件を採択しました。その研究成果については、令和6年4月にスパイラルギャラリーやバスストップギャラリーで発表予定です。また、学生の地域連携活動を支援する「seian チャレンジ」は6件（昨年度7件）の活動を採択し、学生の主体的な地域貢献活動を支援しました。

## (3)「就職に強い芸術大学」の評価確立

### ①キャリアサポートセンターの体制整備

令和6年度より専任のキャリアデザイン科目担当教員を採用し、キャリアサポートセンター長を担当、キャリア科目とキャリアサポートセンターの支援を一本化することにより、時代のニーズに合わせた支援を実現することが可能となりました。令和7年度からは、1年生から3年生の就職希望者受講推奨科目を担当し、「芸術による社会への貢献」を実現できる社会人を育成していきます。

### ②キャリア科目の再構築

就職希望者の受講推奨科目と選択科目に分類した上で、講義系科目を2年前期までに、演習系科目を2年後期以降に配置したことにより、学生にとって履修しやすい科目構成となりました。しかし、早期化する就職活動に合わせ、実践を交えた内容を増やすことで、学生が自身の進路とより深く向き合うことができると考え、令和7年度からは再度科目内容を見直し、科目名や内容を含め再度検討します。

### ③キャリアサポート体制の強化

1年生では、本学に入学してきた目的や目標を明確にし、4年間をどのように過ごすのか、他者とのディスカッションやワークを通して自分自身で考えることを目指しました。

2年生前期では、クリエイティブな仕事に就く際必要となる、ポートフォリオについて、知識や方法に関する講義を行いました。後期には、企業の課題を解決するためのグループワークを行い、現状の企業課題を知り、解決するための方法を他者と協力しながら考える演習を行いました。

3年生前期では、夏に行われるインターンシップに参加するための企業選びや業界研究を行いました。後期には目前に迫る就職活動に向けて、応募書類の作成方法や、社会人の方を面接官としたオンライン・対面での面接対策等、実践を交えて実施しました。

前述のキャリア科目を踏まえ、キャリアサポートセンターが主催する就活サポート講座では、授業内でできなかった、個人へのサポートや、自己分析を含む、採用選考の対策など少人数できめ細やかな講座を実施しました。

### ④ショート面談の実施

早期から、就職や進路に対する意識を醸成するため、2年生対象のショート面談を実施しています。当年度は、239名の2年生を対象にショート面談を実施し、112名(47%)の学生が参加しました。

## (4) グローバル化、多様化の推進と対応

### ①学生会組織の在り方

現在の学生会執行部に対して、執行部役員の新たな任期制度の提案をしました。この変更の主な目的は、新しい役員体制のもとで年間事業計画を策定し、その実施から事業報告までを一貫して行えるようにすることです。また単年度で実施されていたイベントを見直し、年間を通じたイベント計画の策定を提案しています。これにより、より長期的な視点で学生会活動を展開し、継続性のある取り組みが可能になると期待されています。

### ②学内奨学金の在り方

国の実施する修学支援新制度において令和7年度からはこの多子世帯への支援がさらに拡充され、授業料や入学料の無償化が行われ、所得制限なしでの支援が実施されることとなります。これにより、多子世帯の学生はより一層の経済的支援を受けることが可能となりましたが、2月時点までそれに伴う詳細が発表されていなかったため、学内奨学金の在り方についても検討ができませんでした。従いまして学内奨学金の在り方についても令和7年度以降も引き続き在学生からの要望に応じた検討を行う必要があります。学生が求める具体的な支援内容を把握し、制度の改善につなげていく予定です。

### ③芸術分野の裾野を広げる取り組み

教育連携推進センターでは、昨年度より大津市教育委員会と大津市のクラブ活動地域移行プログラムを実施しています。大津市の美術部の生徒と今年度は7回のワークショップを学内で行い、のべ100名以上の生徒が参加しました。また、幼稚園、こども園、小中学校、特別支援学級などで、紙コップを使ったワークショップを実施。これにはのべ約300名の参加がありました。これらのプログラムには本学の教職課程を受講している学生がリーダーとして参加しており、同課程の学びに繋がる有用な経験にもなりました。

表 1 クラブ活動地域移行プロジェクト R6 年度の取り組み

|   | 日 程       | 内 容             |
|---|-----------|-----------------|
| 1 | 6月29日(土)  | ステンシル技法でTシャツ作り  |
| 2 | 7月27日(土)  | 人物クロッキー         |
| 3 | 9月14日(土)  | モダンテクニック        |
| 4 | 11月9日(土)  | 黒板アート           |
| 5 | 12月14日(土) | 3Dトリックアート       |
| 6 | 1月25日(土)  | ビックウォールアート      |
| 7 | 2月8日(土)   | ※降雪により中止        |
| 8 | 3月1日(土)   | ビックウォールアート、振り返り |

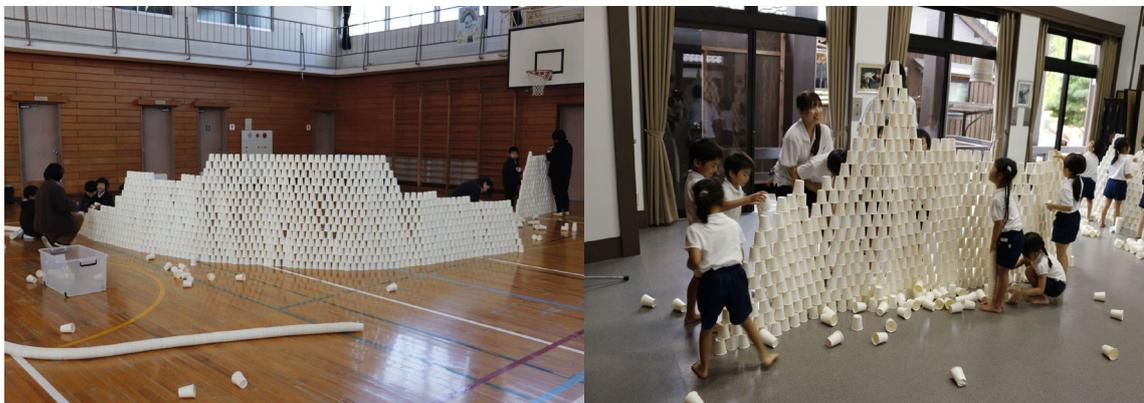
図 2 ステンシル技法でTシャツ作り



図 3 黒板アート



図 4 紙コップワークショップ



#### ④外国人留学生の支援強化

株式会社アルクエデュケーションと提携し、日本語能力試験対策用の課外講座を試験的に開講し、講座の効果と学生のニーズを正確に把握するため今年度の受講者を対象にアンケート調査を実施しました。このアンケート結果をもとに授業内容や実施時期、適正人数等の検討を行い、令和7年度後期から本格実施する予定としています。日本語能力試験受験料助成制度について実施までに検討する予定としています。

また日本語能力試験などの資格取得を促進するため、日本語能力試験 N1 およびビジネス日本語能力テスト J1 以上の取得に対して、単位認定を行うための新規科目設置を設置しました。この施策は、学生の日本語学習へのモチベーション向上と、実践的な日本語能力の獲得を促進することを目指しています。

### (5) 卒業生との連携強化

#### ①大学同窓会との連携事業

令和6年度より開始した同窓会とキャリアサポートセンターとの連携事業であるキャリア科目の授業内講師派遣を実施しました。今年度は6名の授業を実施し、大学キャリア授業において、卒業生から語られる学生時代のことやビジネスでの経験談、将来のビジョンなどの貴重なお話に触れることのできる貴重な時間となりました。

## ②同窓生との交流会の実施

リニューアルした同窓会ホームページを活用し今年度は響心祭 2024「同窓会プチ懇親会」「東京成安同窓会 公式懇親会「開学 30 周年を東京で祝おう会」」を開催しました。

響心祭 2024「同窓会プチ懇親会」は 9 月 22 日（日）に聚英館 2 階多目的室において開催しました。若い年代を中心に参加していただき、楽しいひと時を過ごすことができました。

また「東京成安同窓会 公式懇親会「開学 30 周年を東京で祝おう会」」は 10 月 26 日（土）東京駅八重洲口すぐの大丸東京店 13 階「XEX TOKYO（ゼックストウキョウ）」において、成安造形大学同窓会の公式イベントとしては初となる東京で開催しました。

当日は、小寄善通学長をはじめ諸先生方（辻喜代治先生、小林はくどう先生、千速敏男先生、金澤徹先生、宇野君平先生、高野匡事務局長）にお越しいただき、懐かしいひとときを過ごすことができました。特に小林はくどう先生は、ゼミ生も驚くほどサプライズでした。また、80 名もの卒業生に参加していただき、遠方は新潟や福島から遥々来てくださった方もいて、とても盛り上がることができました。

図 5 響心祭 2024「同窓会プチ懇親会」



図 6 東京成安同窓会 公式懇親会「開学 30 周年を東京で祝おう会」



## (6) 地域連携の深化

### ① 地元企業向け大学説明会の実施

連携協定を締結している滋賀県中小企業団体中央会に加盟する企業を対象に、在学生の学びや地域・企業との連携事業を紹介する大学説明会を令和6年9月3日（火）に開催しました。今年度は大津プリンスホテルで開催された中小企業団体滋賀県大会パーティーにて、大学紹介と2件の連携事業の報告を実施しました。連携事業の報告は、それぞれの事業で主体的に活動した2名の学生が行い、例年に比べ多くの企業や経営者に本学の取り組みを伝える機会となりました。

### ② コミュニティスペース結の運用

令和5年にリニューアルオープンしたコミュニティスペース「結」は「EAT MEET ART」をコンセプトに大学と地域を結ぶ場所として運用を推進しています。カフェテリア営業のほか、交流の活性化を目指して活動する学生プロジェクト「YUI Lab」を通してさまざまなイベントや情報発信を行なっています。令和6年度はアートイベント・食イベント・オリジナルフリーペーパー発行に取り組み、全7回のイベント実施を通して延べ200名の方にご参加いただきました。

### ③ 地域拠点としてのキャンパスが美術館の運営

コミュニティスペース結の開館日や時間、大学のイベント開催日と開館時間を合わせることで、学外からの来場者が立ち寄りやすい美術館を目指しました。回遊式美術館という特徴を活かし、キャンパス内に点在する複数のギャラリースペースで1年を通して様々な展覧会を開催しました。主な展覧会として、2024秋の芸術月間 SEIAN ARTS ATTENTION 17 「共食 -Eating Together-」（令和6年10月15日～11月9日）、「SELECTION 卒業制作展 2024」（令和6年4月1日～27日）、「過日を掬う」（令和6年5月31日～6月29日）、成安造形大学収蔵作品展「浮世絵コレクション」（令和6年9月10日～22日）を開催しました。「共食 -Eating Together-」では、大学周辺地域である仰木の里の方々にご協力いただいて「地域の食」を振舞うイベントを実施したことで、多くのご来場者に楽しんでもらえました。

図7 SEIAN ARTS ATTENTION17「共食 -Eating Together-」展示風景



## (7) 財務体質強化と体制整備

### ① インターネット出願システムの導入

入試執行の効率化とミス防止、志願者の利便性向上を図るため、インターネット出願システムを令和7年度入学者選抜試験の出願より導入しました。

### ② 大学のプロモーション強化

本学ウェブサイトの閲覧状況について外部業者に解析を委託し現状把握を、また領域運営サイトの領域での運用状況について調査を行ないました。その結果を元に、今年度と2025年度で現状のサイトの導線の見直しや、領域ページのマイナーチェンジ、領域運営サイトの再構築などを実行する計画を立案しました。

### ③ デジタルコンテンツを利用した募集活動

ウェブサイト・ネット広告・ウェブ進学媒体・SNSなどのネットワークを利用した広報と、大学案内などの紙媒体のあり方について検討を行い、2024年度から2027年度までの広報計画を立案するとともに、今後を踏まえ、ウェブサイトの進学媒体の効果を測定するため、新たにウェブ進学媒体やウェブ広告による接触者増のためのツールを導入しました。

### ④ 人事管理システムの活用とペーパーレス化の推進

今年度は昨年度導入した人事管理システムの試行錯誤の一年となりました。次年度以降にペーパーレス化を加速させるため、申請業務の設計を進める予定です。

## 【2】 経常的な事業

### (1) 教学関連

#### ① 令和6年度入学式

令和6年度入学式を以下のとおり挙行了しました。今年度の入学者は1年次が255名、2年次が3名、3年次が7名、研究生11名でした。

#### 【令和5年度入学式】

日時：令和6年04月01日（月） 13時00分～

場所：成安造形大学 成安体育館

#### ② 令和6年度卒業証書・学位記授与式

令和6年度卒業証書・学位記授与式を以下のとおり挙行了しました。今年度の卒業者は前期4名、後期211名、研究生の修了者は8名でした。

#### 【令和6年度卒業証書・学位記授与式】

〈前期〉

日時：令和6年09月13日（金） 10時00分～

場所：成安造形大学 聚英館3階聚英ホール

〈後期〉

日時：令和7年03月14日（金） 12時30分～

場所：琵琶湖ホテル 瑠璃の間

### ③学籍異動など

芸術学部芸術学科の中に6領域（総合領域・イラストレーション領域・美術領域・情報デザイン領域・空間デザイン領域・地域実践領域）を編成し、本年度の入学者は1年次が255人、2年次が3人、3年次が7人でした。

表2 学年別在籍者数（令和6年5月1日時点）

| 学 年 | 1 年 生 | 2 年 生 | 3 年 生 | 4 年 生 | 計     |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 人 数 | 266 名 | 238 名 | 231 名 | 238 名 | 973 名 |

令和6年度中の学籍異動については、前期復学14名、後期復学7名、前期休学31名、後期休学37名、前期卒業が4人、後期卒業が211人、期中の離学者は退学が33名でした。

表3 事由別学籍異動者数

| 異 動 事 由    | 休 学 | 退 学 |
|------------|-----|-----|
| 1.就学意欲の低下  | 13名 | 9名  |
| 2.就学不適応    | 18名 | 10名 |
| 3.進路変更（進学） | 4名  | 4名  |
| 4.進路変更（就職） | 0名  | 4名  |
| 5.身体的疾病    | 1名  | 0名  |
| 6.精神的疾病    | 14名 | 2名  |
| 7.経済的理由    | 6名  | 3名  |
| 8.海外留学     | 0名  | 0名  |
| 9.その他      | 12名 | 1名  |
| 計          | 68名 | 33名 |

### ④資格課程

教職課程においては、5月から10月に教育実習を行い、資格取得者は21人でした。博物館学芸員資格課程においては、7月から10月にかけて予定通り館務実習を行い、大津市歴史博物館や佐川美術館などの施設で実習を受け、21人が同資格を取得しました。その他、二級建築士受験資格取得者は4人でした。

⑤ 卒業制作展 2025

本年度は全6領域が揃い、京都市京セラ美術館で令和7年2月20日から2月23日の会期で、開催しました。来場者数は延べ5,767名(昨年度4,524名)でした。また、関連イベントとして、2月8日に京都府民ホールアルティーでファッションショーを2回開催し、来場者数は約400名でした。



「成安造形大学 卒業制作展 2025」ポスター



卒業制作展 会場写真



関連イベント「SEIAN COLLECTION 2025」

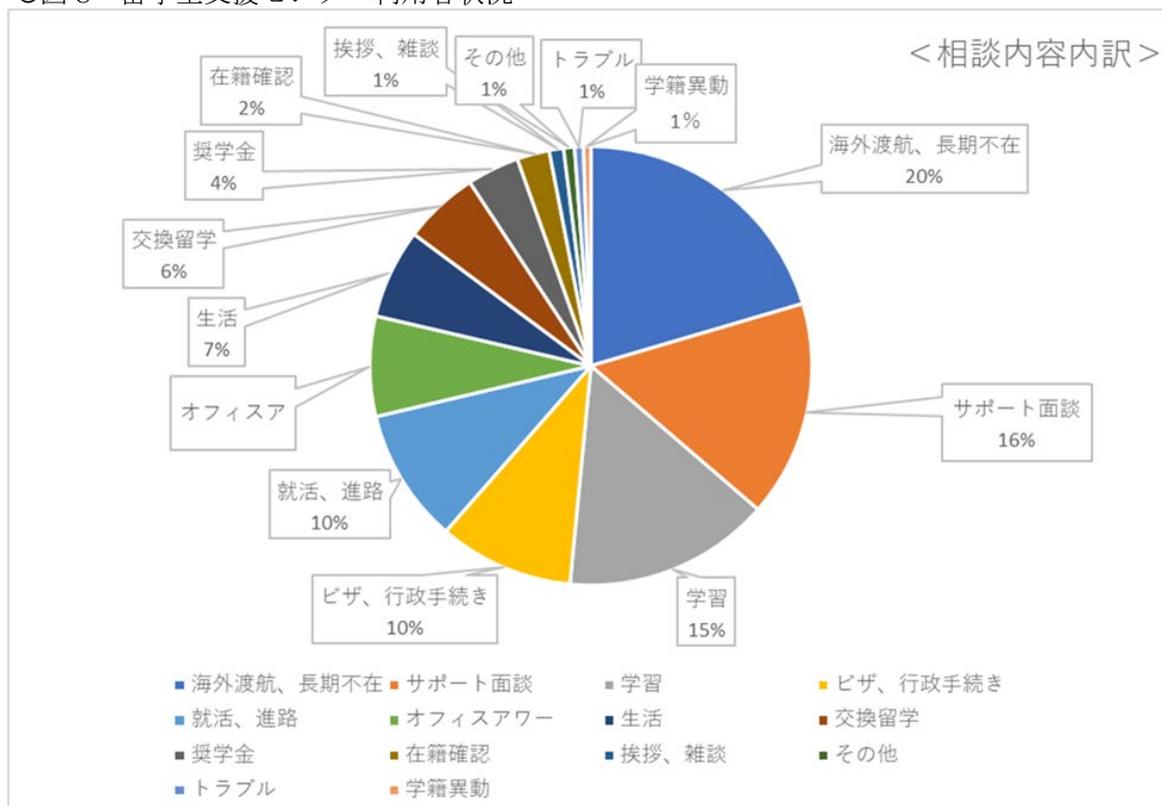
## ⑥ 留学生支援センター

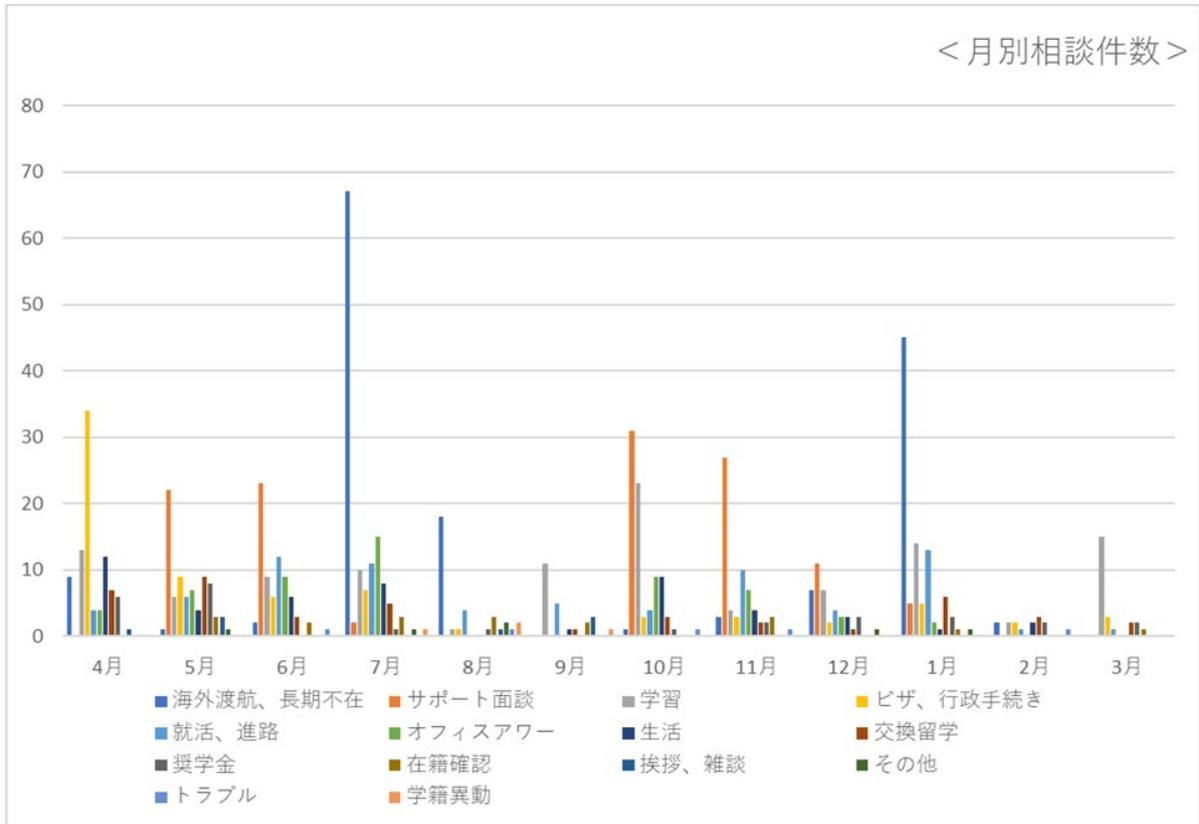
令和 6 年度は 172 名の留学生在籍し、その留学生の支援体制として令和元年より留学生支援センターを設置しその支援にあたっています。同センターでは在留資格の変更がないかなどの在籍管理や窓口での面談対応、派遣留學生に関する提携校との調整やサポート、留學生対象の奨学金手続き、留學生や国際交流に係る情報発信、提携校からの交換留學生のサポート、日本語などの課外講座の企画実施など多岐にわたって外国人留學生に対する支援業務を行っています。また昨年度後期から実施している日本語授業担当教員による面談時間（オフィスアワー）について年間を通して実施しのべ 56 人の外国人留學生に対して授業時間以外の日本語指導や筆記試験対策、大学院受験における面接指導等を行いました。

また日本での就職や進学を望んでいる外国人留學生が増えており、同センターとキャリアサポートセンターが連携し、その支援にあたっています。なお、今年度の外国人留學生の就職進路状況は日本国内および母国での就職希望者 25 名に対し就職者 24 名、進学希望者 19 名に対し進学決定者 18 名となっております。

交換留学について、本学はバース・スパ大学（英国）、マンハイム専門大学（ドイツ）、ロンドン大学ゴールドスミス・カレッジ（英国）、スクール・オブ・ビジュアルアーツ（米国）の 4 大学と協定を締結しており、令和 6 年度は本学よりバース・スパ大学に 1 名の学生を派遣し、マンハイム専門大学より 1 人、バース・スパ大学より 1 人の交換留學生を受入れました。

◎図 8 留学生支援センター利用者状況





### ⑥ 学生表彰

制作・研究において社会的に高い評価を受けたと認められる者として4年生3人が優秀賞として、奨励賞として3年生1人が表彰されました。優秀賞の4年生3人の表彰は3月14日に挙行了した卒業証書・学位記授与式終了後に行いました。

### ⑦ 大学祭

学生会及び大学祭実行委員会が主体で本学の大学祭「響心祭」が9月21日(土)と22日(日)の2日間で開催いたしました。総来場者数1,563名(1日目737名、2日目826名)と学生関係者や教職員のみならず、地域の住民の方にも多数お越しいただき、学生による作品の展示や手作り品の販売、キッチンカーなど盛況であったと報告を受けています。また安全面においても特に警備会社からはトラブル等の報告はありませんでした。

表2 主な学事日程

| 月          | 学事など   |
|------------|--|
| 令和6年<br>4月 | 入学式（1日）、新入生ガイダンス（2日～11日）<br>新入生健康診断（5日）、前期授業開始（15日）  |
| 5月         | 教職課程教育実習（～10月頃）  |
| 7月         | 学芸員課程博物館実習（～10月頃）  |
| 8月         | 前期授業終了（5日）、前期集中講義（20日～23日、27日～30日、）  |
| 9月         | 前期保留該当者試験（2日）、前期集中講義（3日～6日）<br>前期卒業証書・学位記授与式（15日）、大学祭（21日・22日）<br>後期授業開始（28日）              |
| 令和7年<br>1月 | 後期授業終了（27日）  |
| 2月         | 後期保留該当者試験（14日）、卒業制作展（19日～23日）<br>後期集中講義（4日～7日、12日～14日、25日～28日）<br>教員免許状一括申請、後期保留該当者試験（19日） |
| 3月         | 後期集中講義（4日～7日）、卒業証書・学位記授与式（14日）<br>在学生ガイダンス（21日～28日）、在学生健康診断（28日）                           |

## (2) クリエイティブサポート・附属図書館関連

クリエイティブサポートは学生・教職員の制作や研究を、機材・施設・技術面から支援するシステムです。コンピューターをはじめ、写真・映像・印刷などメディア全般を取り扱う「情報メディアセンター」、同センターの関連施設であり3Dプリンターやレーザー加工機などを使ったデジタル工作が可能な「ファブリケーションcommons (fabco)」、木工・樹脂加工・塗装ができる「造形ラボ」、金属加工ができる「鉄工ラボ」、木版画・銅版画・リトグラフ・シルクスクリーンなどができる「版画ラボ」、木彫や塑像などの作業ができる「D棟共同工房」を設置し、専門スタッフを配置して授業のサポートや個人制作へのアドバイス、技術指導及びメンテナンスを行っています。また、各施設を体験できる取り組みとして、夏季と春季にワークショップを開催しています。

また、ノートパソコン無償貸与制度が完成年度を迎える令和6年度以降について、現共通コンピュータ室1・2・3の3部屋は、専門性が高くハイスペックなコンピュータを整備したコンピュータルームに変更され、CGアニメーション用コンピュータ室、映像編集用コンピュータ室、CAD用コンピュータ室となりました。その他のコンピュータ室については、各領域の実習室や演習室となり、利便性の高い活用の仕方になりました。

附属図書館においては、一般図書に加え、絵画、彫刻、写真、イラストレーション、マンガ、メディア関係の図書や雑誌、視聴覚資料などを所蔵しています。当年度の年間受入冊数は図書1,613冊で、蔵書は図書が83,079冊、視聴覚資料が3,609点となりました。また当年度の入館者は24,112人、貸出冊数は7,753冊でした。

なお、令和3年度より実施している学生選書は、学生の図書館の利用促進や主体性と情報リテラシーの育成、図書に対する学生の多様なニーズへの反映や読書習慣の定着などを目的として、当初は学内で実施していましたが、令和5年度より、実際に店舗へ出向き選書した書籍を図書館内の特設コーナーで、学生が制作したPOPで紹介しています。当年度は8名の学生が参加し111冊を選書して購入しました。

図 9 図書貸出冊数

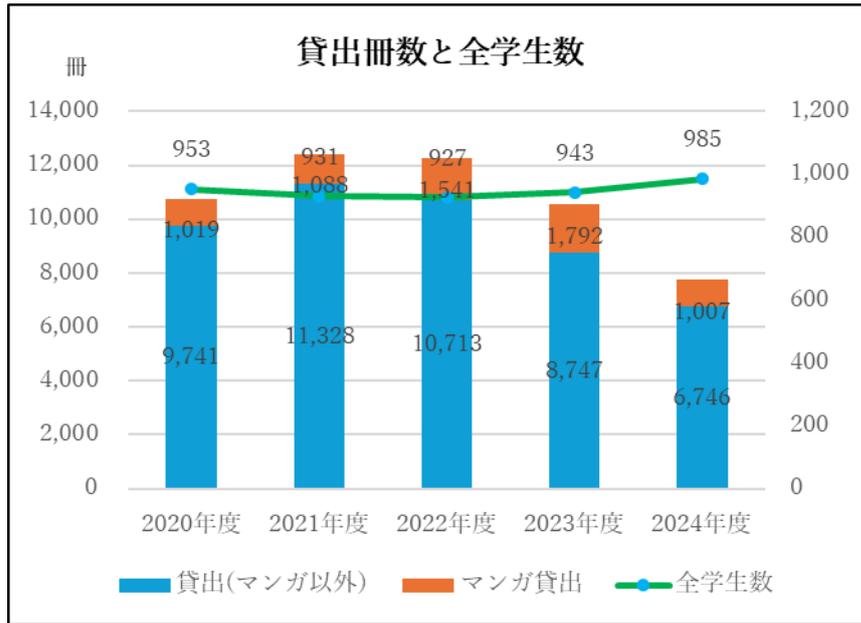


図 10 附属図書館入館者数

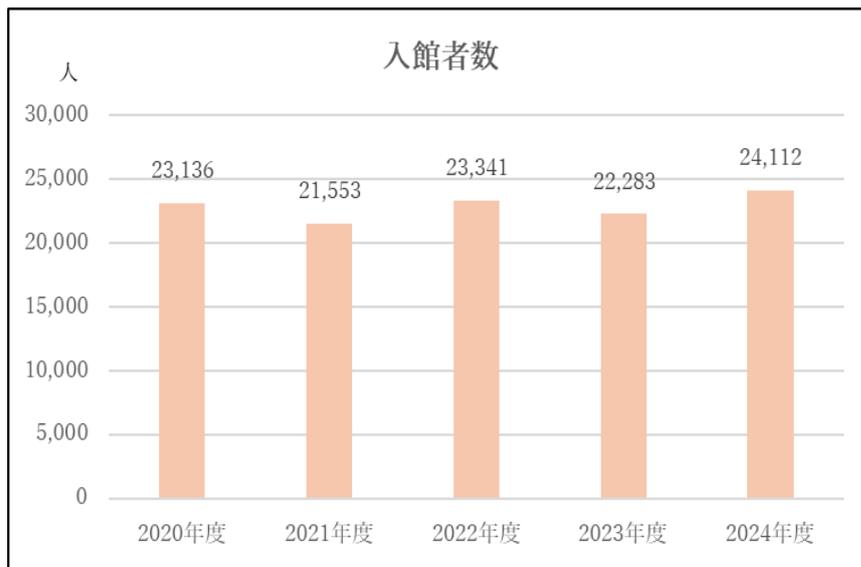


図 11 クリエイティブサポート関連施設の年間利用者数推移

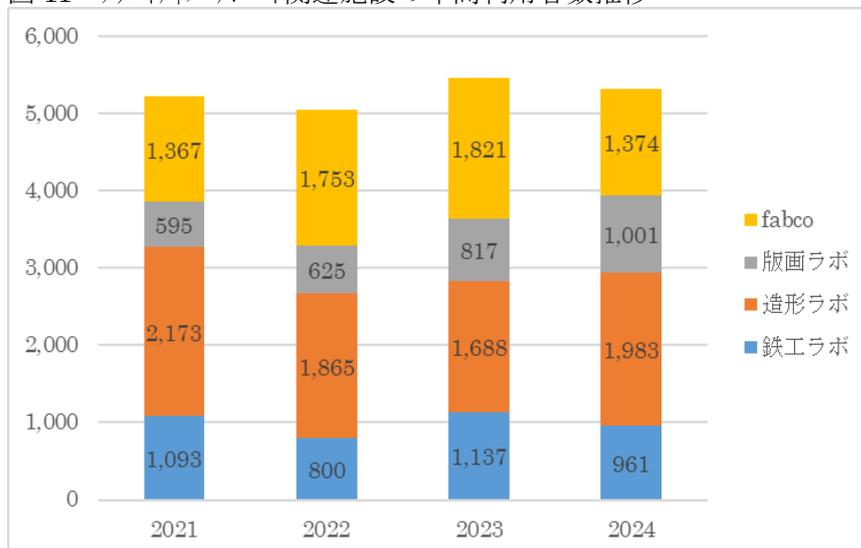


表4 ワークショップの開催状況

|       |                                  | 夏季 (9月2日～9月9日) |        | 春季 (3月17日～19日)                            |        |
|-------|----------------------------------|----------------|--------|---|--------|
|       |                                  | 内容             | 定員／参加者 | 内容  | 定員／参加者 |
| 造形ラボ  | 木製ツールを作ろう                        |                | 6名／2名  | カトラリーを作ろう！                                | 10名／3名 |
| 鉄工ラボ  | 紙で作った型を使って<br>鋳造を体験してみよう         |                | 5名／5名  | 紙で作った型を使って<br>鋳造を体験してみよう                  | 5名／1名  |
|       | ビスマスでなにを作ろう？                     |                | 4名／5名  | ガラスと鉄でフラワー<br>ベースをつくろう！                   | 4名／4名  |
| 版画ラボ  | スクリーンプリントWS                      |                | 5名／5名  | プリンティングプレートを使<br>った版画体験                   | 5名／0名  |
|       |                                  |                |        | デジタル製版機を使って<br>気軽にシルクスクリーン<br>印刷を体験してみよう！ | 4名／2名  |
| fabco | シルクスクリーンとレーザーカッターで<br>キーホルダーを作ろう |                | 4名／4名  | NFCタグを使ったオリジナ<br>ルキーホルダーづくり               | 4名／4名  |
|       | 推しのアクセoriesをつくっちゃおう              |                | 4名／5名  |   |        |

### (3) キャリアサポート関連

#### ①令和6年度卒業生の進路状況

卒業生 215 人の内、就職希望者は 141 人、その内就職者は 130 人でした。対就職希望者就職率は前年度より 0.9 ポイントの増加となりました。

主な就職先の業種は、ゲームやウェブサイト制作などの情報通信業が 22%、卸売業・小売業が 20%、サービス業が 17%で続いています。主な職種は、デザイン職が 22%、接客・販売職が 17%、総合職が 11%で続いています。業種、職種とも幅広い分野への就職が見られ、活躍の場が、専門分野だけでなく社会全体に広がっています。また、教員免許状を取得した学生の内、9 人が教育職に就職しました。なお、進学者は大学院が 9 人、本学研究生が 13 人、専門学校が 1 人でした。

表5 令和6年度卒業生の進路状況

令和7年5月1日現在

| 卒業生数 | 就職   |      |         |       |           |       | 進学  | クリエイター<br>他 | 臨時<br>労働 | その他 |
|------|------|------|---------|-------|-----------|-------|-----|-------------|----------|-----|
|      | 希望者数 | 就職者数 | 対卒業生就職率 |       | 対就職希望者就職率 |       |     |             |          |     |
|      |      |      | R5年度    | R6年度  | R5年度      | R6年度  |     |             |          |     |
| 215人 | 141人 | 130人 | 63.5%   | 60.5% | 91.5%     | 92.2% | 23人 | 35人         | 15人      | 12人 |

注1. 卒業生数には、令和6年9月卒業者を含む

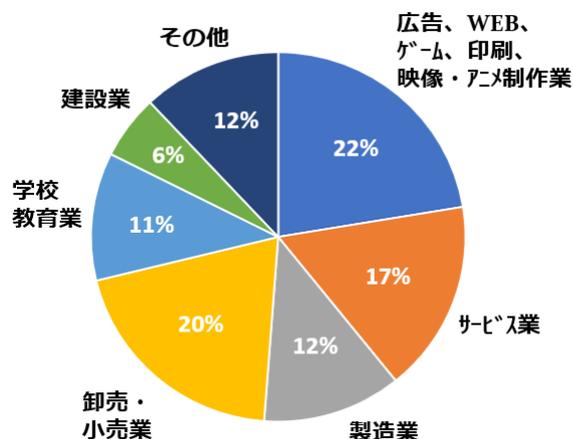
注2. クリエイターは、就職活動は行わず、アルバイト等しながら自身の制作活動を続ける者また、留学生の帰国する者。

注3. 臨時労働は一時的な仕事に就いた者（短時間勤務の者など）。

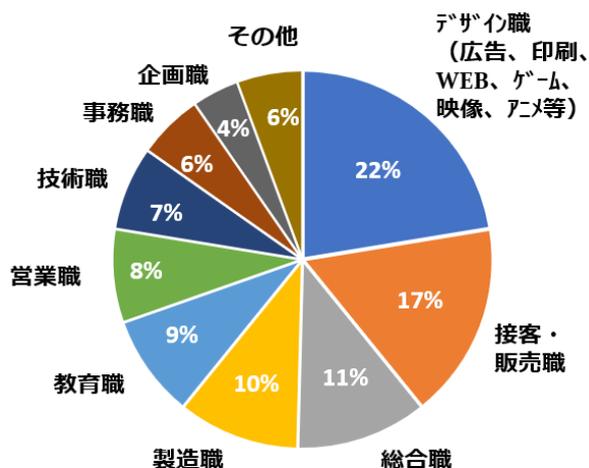
注4. その他は、家事手伝い、就職・進学準備など。

◎図 12 就職先の産業及び職種割合

<産業別>



<職種別>



②キャリアデザイン科目

キャリア形成に必要な「自己分析・自己発見」や「社会を知る」を段階的に学ぶことで、学生が個々の目標に合わせたキャリアデザインを構築するための科目であり、当年度は計 10 科目を開講しました。

表 6 キャリアデザイン科目の受講状況

(単位：人)

| 科目                       | 配当学年   | 概要  | 受講者 |
|--------------------------|--------|---|-----|
| キャリアデザイン概論1              | 1年前期   | 大学生活における目標を明確にし、進路に向けての意識や姿勢をつくる                    | 257 |
| キャリアデザイン概論2              | 1年後期   | 大学生活の1年間を振り返り、2年次以降における目標を明確にする                     | 256 |
| キャリアデザイン論                | 2年前期   | 進路を選択する上で重要になる「自己表現」と「ポートフォリオ」について考える               | 189 |
| キャリアデザイン演習A              | 2年後期   | グループワークやディスカッションの基礎を学び、起業からの課題を解決する方法を学ぶ            | 91  |
| キャリア実践演習 (旧：インターシップ) A・B | 2年以上前期 | 職場体験から学ぶ (事前学習、実習、事後学習)                             | 42  |
| キャリアデザイン特論A              | 2年以上前期 | 「コミュニケーション (単なる話し上手ということではなく)」に焦点を当てて学ぶ。            | 59  |
| キャリアデザイン特論B              | 2年以上後期 | 作家やフリーランスで活動するために必要な要素や条件、あり方を理解し、その可能性について具体的に考える。 | 41  |
| 就業力育成論3                  | 3年前期   | 就職活動時の筆記試験対策を通して、日常生活や仕事で必要となる能力を身につける              | 106 |
| 就業力育成演習C                 | 3年前期   | 間近に迫った就職活動のために実践的な知識を共同作業を通して身に付ける                  | 133 |
| 就業力育成演習D                 | 3年後期   | 間近に迫った就職活動のために実践的なスキルと知識を身に付ける                      | 105 |

### ③就活サポート講座

キャリアデザイン科目以外にも、個々の段階に合わせ、キャリア意識を醸成するための就活サポート講座を開催しています。当年度は就活における悩みを解決するワークショップやポートフォリオ講座、SPI 受験会、4年生内定者との交流会、プレゼンテーションやグループディスカッション講座など 34 講座を開講し、延べ 404 人が参加しました。

表 7 主な就活サポート講座

(単位：人)

| 実施日                 | タイトル・テーマなど                                   | 対象    | 内容など   | 参加者 |
|---------------------|--|-------|--|-----|
| 05/31(金)            | はじめよう就活!就活力アップセミナー!ハッパネットキャリア                | 4     | 25卒向け就活セミナー  | 8   |
| 05/31(金)            | はじめよう就活!ハッパネットキャリアマッチング会                     | 4     | 25卒向け就活セミナー  | 12  |
| 05/31(金)            | はじめよう就活!ハローワークマッチング会                         | 4     | 25卒向け就活セミナー  | 11  |
| 06/21(金)            | インターンシップ 選考準備講座/月講                           | 3     | インターンシップ 対策講座。企業選びやエントリー状況の確認。                               | 17  |
| 06/21(金)            | 言語・非言語Webテスト受験会/月講                           | 3,4   | インターンシップ・本選考対策講座   | 19  |
| 08/1(木)～<br>9(金)    | 選考準備強化WEEK<br>①グループディスカッション対策<br>②自己PR ③模擬面接 | 2,3,4 | インターンシップ・本選考対策講座   | 2   |
| 08/6(火)～<br>8/9(金)  | 24夏季ポートフォリオ講座                                | 全     | ポートフォリオ制作基礎講座。3日間実施。PF制作が出来ていない、制作ソフトに触れてない学生がターゲット。         | 8   |
| 08/7(水)             | 4年生/あきらめない!リスタート応援就活イベント                     | 4     | 25卒向け就活セミナー&求人案内会  | 26  |
| 08/9(金)             | 選考準備強化WEEK/模擬面接                              | 3,4   | インターンシップ・本選考対策講座   | —   |
| 09/9(月)～<br>9/13(金) | 24夏季デッサン講座                                   | 全     | デッサン基礎講座。3日間実施。クリエイティブ業界(ゲーム)で基礎画力を重視するため、選考対策の一貫として実施。      | 85  |
| 10/11(金)            | プレ就活!～会社ってどんなところ? 京都編～                       | 全     | 業界研究会。京都ジョブパーク協力のもと、業界研究会を実施。低学年から参加可能とし、京都企業採用担当者他企業人との交流会。 | 17  |
| 10/18(金)            | 4年生/まだまだあきらめない!リスタート応援就活イベント2                | 4     | 25卒向け就活セミナー&求人案内会  | 15  |
| 11/22(金)            | ほんとの興味を見つけよう!視野を拓ける講座                        | 全     | マイナビ主催 業界研究・企業研究会<br>※マイナビ主催                                 | —   |
| 11/26(火)            | 筆記試験・適性検査 準備講座                               | 3,4   | SPI対策講座  | —   |
| 11/29(金)            | 模擬面接会@オンライン                                  | 3,4   | インターンシップ・本選考対策講座   | —   |
| 11/08(金)            | マイナビ就活 マッチング会                                | 4     | 25卒向けマイナビマッチング会<br>※エージェント相談込                                | —   |
| 12/10(火)            | アートを仕事に繋げるPF作成講座～基礎編～                        | 全     | Vivivit協力のもと、クリエイティブ業界向けPF制作についての講座。                         | 6   |
| 12/10(火)            | 自己分析&ガクチカ書き方                                 | 3     | インターンシップ・本選考対策講座   | 6   |

|          |                           |       |   |    |
|----------|---------------------------|-------|---|----|
| 12/12(木) | SA交流会あいつ就活始めたってよ!         | 1,2,3 | 4年生内定者交流会                                   | 25 |
| 12/13(金) | お笑いに学ぶ『いじり力』講師:岡力         | 全     | 卒業生「岡力」氏を講師とした、「伝え方をレクチャーする」講座。             | 9  |
| 06/21(金) | IS選考準備講座                  | 3     | インターンシップ・本選考対策講座                            | 17 |
| 06/21(金) | SPI受検会                    | 3     | インターンシップ・本選考対策講座                            | 19 |
| 01/27(月) | インターンシップ・選考用証明写真撮影会       | 3,4   | インターンシップ・選考用証明写真撮影会                         | 18 |
| 01/28(火) | 就活メイク講座                   | 全     | インターンシップ・本選考対策講座                            | 10 |
| 02/26(水) | オンライン面接トレーニング             | 3,4   | インターンシップ・本選考対策講座                            | —  |
| 02/03(月) | 選考準備強化WEEK 自己分析&がけかき書き方①  | 3     | インターンシップ・本選考対策講座                            | 6  |
| 02/03(月) | 選考準備強化WEEK 模擬面接講座①        | 3     | インターンシップ・本選考対策講座                            | 4  |
| 02/04(火) | 選考準備強化WEEK 自己分析&がけかき書き方②  | 3     | インターンシップ・本選考対策講座                            | 6  |
| 02/04(火) | 選考準備強化WEEK 筆記試験・適性検査 体験講座 | 3     | インターンシップ・本選考対策講座                            | 16 |
| 02/06(木) | 選考準備強化WEEK 自己分析&がけかき書き方③  | 3     | インターンシップ・本選考対策講座                            | 3  |
| 02/06(木) | 選考準備強化WEEK 模擬面接講座②        | 3     | インターンシップ・本選考対策講座                            | 5  |
| 02/07(金) | 選考準備強化WEEK 自己分析&がけかき書き④   | 3     | インターンシップ・本選考対策講座                            | —  |
| 02/07(金) | 選考準備強化WEEK 模擬面接講座③        | 3     | インターンシップ・本選考対策講座                            | 1  |
| 03/21(金) | ノーコードでWEBサイトを作ろう講座        | 全     | ノーコード WEBサイト構築ツール「/Studio」を使用した、WEBサイト制作講座。 | 33 |

#### ④会社説明会

学生の就職希望が多い印刷会社やゲーム会社、デザイン事務所などクリエイティブ業種の企業人事担当者を招いた学内会社説明会を実施しました。当年度は 23 社の参加があり、延べ 208 人の学生が参加しました。

#### ⑤単位認定型就業体験（インターンシップ）

本学主催の単位認定型就業体験（インターンシップ）として、当年度は学生の要望の高いウェブデザインや印刷、映像制作をはじめ、家具や酒造メーカー、社会福祉法人など幅広い業種 25 社・団体に受け入れていただき、42 人（2 年生 15 人・3 年生 27 人）の学生を派遣しました。また、大学コンソーシアム京都主催の単位認定型には 5 人を派遣しました。併せて、非単位認定型である滋賀県ジョブパーク主催のインターンシップには 1 年生 1 人を含む 9 人を派遣しました。

⑥キャリアサポートセンターの個別支援

キャリアサポートセンターと各領域との情報共有強化を図るため、領域ごとにキャリアサポート担当教員を配置し、年間 5 回のミーティングを実施しました。また、ゼミ担当教員とは年 2 回のミーティングを実施した上で、学生個々の状況を共有するとともに、適宜学生との個別相談を実施し、個別支援を徹底しています。併せて、9 月には 2 年生、3 年生全員と 4 年生未内定者を対象にショート面談を実施し、進路希望、現在の進路活動状況を確認の上、今後の就職活動の在り方を支援しています。

⑦キャリアサポートセンターと担当教員とのミーティング

- 【第 1 回】 令和 6 年 06 月 07 日（金）※オンライン開催
- 【第 2 回】 令和 6 年 09 月 09 日（月）※オンライン開催
- 【第 3 回】 令和 6 年 12 月 03 日（火）※メールにて情報共有
- 【第 4 回】 令和 7 年 01 月 09 日（木）※メールにて情報共有
- 【第 5 回】 令和 7 年 03 月 10 日（月）※オンライン開催

⑧キャリアサポートセンターとゼミ担当教員とのミーティング

- 【前期】 令和 6 年 05 月 27 日（月）～06 月 07 日（金）
- 【後期】 令和 6 年 11 月 06 日（火）～11 月 22 日（金）

表 8 月別個別相談状況

(単位：人)

|    | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月  | 合計    |
|----|-----|-----|-----|-----|----|----|-----|-----|-----|----|----|-----|-------|
| R3 | 153 | 155 | 154 | 106 | 42 | 39 | 60  | 64  | 46  | 37 | 93 | 128 | 1,077 |
| R4 | 103 | 128 | 63  | 54  | 20 | 13 | 67  | 63  | 39  | 31 | 88 | 87  | 756   |
| R5 | 79  | 137 | 98  | 81  | 37 | 26 | 56  | 61  | 50  | 43 | 41 | 65  | 774   |
| R6 | 102 | 152 | 67  | 47  | 29 | 25 | 32  | 72  | 63  | 36 | 56 | 73  | 754   |

#### (4) 入学者選抜試験

当年度の入試結果として、1年次入学者は12人増加の267人となり、総志願者については49人増加しました。外国人留学生の一般入試を追加したことで留学生入試の志願者は65人増加しましたが、それ以外の入試では16人減少しました。3年次編入生は前年度と比べ1人増の8人、2年次編入生も前年度と比べ1人増の4人の入学となりました。

表9 令和7年度入試結果【定員：1年次220人／2年次4人／3年次4人】

(単位：人)

| 入試年度<br>※1      | 志願者  |        |      |       |            | 入学者  |        |    |       |      |                |
|-----------------|------|--------|------|-------|------------|------|--------|----|-------|------|----------------|
|                 | 総合選抜 | 学校推薦選抜 | 一般選抜 | 留学生入試 | 志願者計<br>※2 | 総合選抜 | 学校推薦選抜 | 一般 | 留学生入試 | 入学者計 | 入学定員充足率<br>(%) |
| 令和4年度<br>(2022) | 449  | 29     | 128  | 85    | 691        | 161  | 29     | 13 | 18    | 221  | 100.4          |
| 令和5年度<br>(2023) | 460  | 33     | 141  | 200   | 834        | 163  | 30     | 15 | 35    | 243  | 110.5          |
| 令和6年度<br>(2024) | 476  | 26     | 108  | 112   | 722        | 157  | 23     | 43 | 32    | 255  | 115.9          |
| 令和7年度<br>(2025) | 463  | 24     | 107  | 177   | 771        | 179  | 22     | 25 | 41    | 267  | 121.1          |

| 入試年度<br>※1      | 2年次 |     | 3年次 |     | 編入学者計 |
|-----------------|-----|-----|-----|-----|-------|
|                 | 志願者 | 入学者 | 志願者 | 入学者 |       |
| 令和4年度<br>(2022) | -   | -   | 19  | 14  | 14    |
| 令和5年度<br>(2023) | 4   | 4   | 23  | 13  | 17    |
| 令和6年度<br>(2024) | 3   | 3   | 10  | 7   | 10    |
| 令和7年度<br>(2025) | 11  | 4   | 16  | 8   | 12    |

※1 入試年度は入学年度で表示しています。

※2 1年次の志願者数にはエントリー者数を含んでいます。

図13 入試別入学者推移

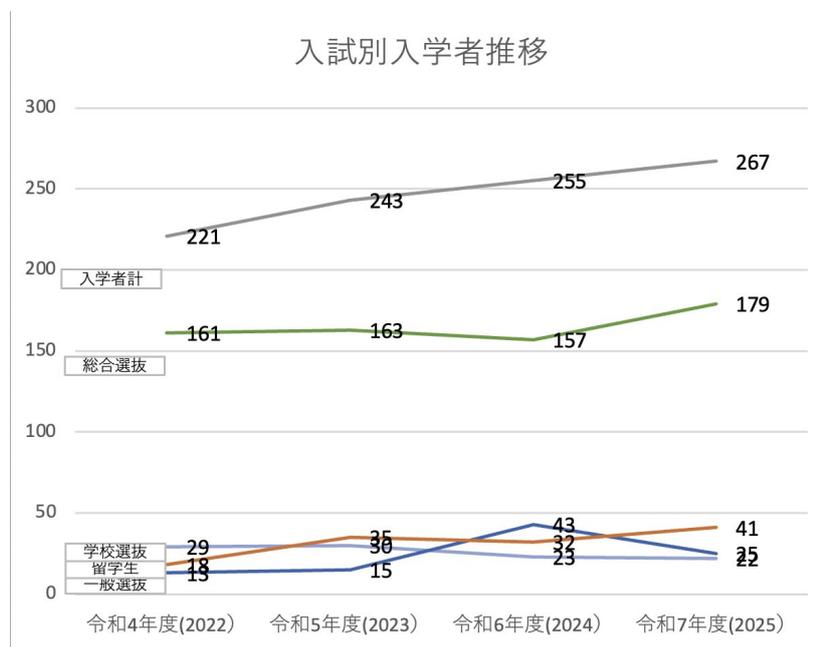
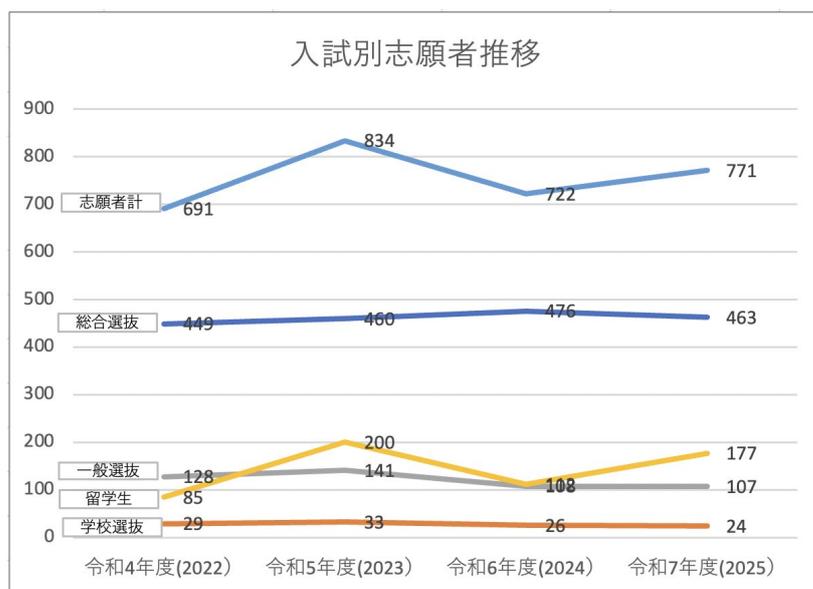


図 13 入試別志願者推移



### (5) 募集対策関連

オープンキャンパスや SEIAN WATCHING（大学見学会）を軸に、全国各地での業者主催の進学ガイダンスへの参加や実技セミナーを開催しました。対面でのイベントを重視しつつ、進学媒体やインターネット広告などを取り入れながら今後の間接広報体制の構築に向けて取り組みました。オープンキャンパスの参加者数は 4 回の開催で延べ 724 人（昨年度 726 人）、SEIAN WATCHING（大学見学会）は 6 日間の開催で延べ 158 人（昨年は 8 回で 200 人）でした。またワンデイセイアン 1 日体験授業は 2 回で 116 人（昨年は 1 回 68 人）でした。

表 10 主な募集対策イベント

| イベントなど                    | 日程及び参加者数  |
|---------------------------|---|
| オープンキャンパス                 | ①04月21日（113人） ②06月02日（173人）<br>③07月21日（295人） ④08月25日（143人）                          |
| SEIAN WATCHING<br>（大学見学会） | ①05月12日（18人） ②06月30日（37人）<br>③08月04日（24人） ④09月22日（37人）<br>⑤12月08日（16人） ⑥01月26日（26人） |
| 卒展WATCHING（卒業制作展見学会）      | ①02月23日（022人）   |
| 成安デッサン模試                  | ①07月20日（132人） ②03月30日（61人）  |
| ワンデイセイアン 1日体験授業           | ①10月20日（36人） ②03月16日（80人）   |

(6) 研究・連携関連

①未来社会デザイン共創機構

未来社会デザイン共創機構は、学園建学の精神、校訓、および大学基本理念「芸術による社会への貢献」を今日的条件下で、より力強く実践・展開することを目的として設立しました。社会との共創により、芸術研究を深化・拡張させ、新たな価値の創造とより良い未来社会の実現を目指しています。附属近江学研究所、キャンパスが美術館、そして大学全体の研究活動等を支える土台であり、学生や教員・研究者と社会を結びつけるために、研究活動等に関する相談窓口となり、社会との共創関係を構築するハブとして機能しています。特に、学生活動支援として「SEIAN ドリームプロジェクト」「seian チャレンジ」に力を入れて取り組んでいます。

令和3年度からスタートした SEIAN ドリームプロジェクトは、4年目を迎え、本年度は、学生から18件（個人14・グループ4件）の応募があり、5件の研究テーマを採択し活動支援を行いました。

また、「セイアン近江楽座」から芸術大学である本学の特性に応じた助成内容に見直しリニューアルした「seian チャレンジ」では6件を採択し活動支援を行いました。

(a) 研究助成事業

-1) 特別研究助成事業

|           | 令和2<br>(2020) 年度 | 令和3<br>(2021) 年度 | 令和4<br>(2022) 年度 | 令和5<br>(2023) 年度 | 令和6<br>(2024) 年度 |
|-----------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 応募数       | 1件               | 3件               | 2件               | 1件               | 2件               |
| 採択数       | 1件               | 4件 (注1)          | 4件 (注1)          | 1件               | 2件               |
| 助成金額 (注2) | 800,000円         | 1,800,000円       | 885,000円         | 518,000円         | 1,000,000円       |

(注1)：コロナ禍対応による令和2・3年度からの延長・再延長を含む

(注2)：助成金額には、延長・再延長の助成金も含む

令和6(2024)年度 採択研究課題

| No | 対象となる研究・制作活動           | テーマ  | 研究者          | 助成金額     |
|----|------------------------|--|--------------|----------|
| 1  | その他<br>特別研究助成の主旨にそった研究 | 「自然学」の実践的探究<br>「自然学」SHIZENGAKUプロジェクト以降の岡田修二研究成果報告一覧としての冊子の発行 | 教 授<br>岡田 修二 | 500,000円 |
| 2  | その他<br>特別研究助成の主旨にそった研究 | 教育改革のドキュメント化とその普及：成安造形大学初年次プログラム「スタディスキル実習」の評価と展望            | 講 師<br>田口真太郎 | 500,000円 |

-2) 科学研究費助成事業

|               | 令和2<br>(2020) 年度 |            | 令和3<br>(2021) 年度 |            | 令和4<br>(2022) 年度 |            | 令和5<br>(2023) 年度 |            | 令和6<br>(2024) 年度 |            |
|---------------|------------------|------------|------------------|------------|------------------|------------|------------------|------------|------------------|------------|
|               | 研究<br>代表         | 研究<br>分担   |
| 応募のべ数         | 0件               | 2件         | 1件               | 2件         | 0件               | 1件         | 0件               | 0件         | 0件               | 1件         |
| 採択数<br>(うち継続) | 0件<br>(0件)       | 3件<br>(1件) | 0件<br>(0件)       | 4件<br>(3件) | 0件<br>(0件)       | 3件<br>(3件) | 0件<br>(0件)       | 4件<br>(3件) | 0件<br>(0件)       | 2件<br>(2件) |
| 研究費総額         | 416,000円         |            | 1,055,000円       |            | 1,040,000円       |            | 195,000円         |            | 195,000円         |            |

| No | 研究種目等       | 研究課題人                                       | 研究代表者<br>所属機関 | 研究分担<br>者   | 研究期間             |
|----|-------------|---|---------------|-------------|------------------|
| 1  | 基盤研究<br>(C) | ジェンダーインクルーシブ<br>なプログラミング教育教材<br>の開発と普及      | 同志社女子大学       | 准教授<br>真下武久 | 令和3～7年度※1年<br>延長 |
| 2  | 基盤研究<br>(C) | モニタリング手帳の活用に<br>よる対話型糖尿病医療に向<br>けたアクションリサーチ | 日本赤十字看護大学     | 教授<br>由井真波  | 令和5～9年度          |

-3) SEIAN ドリームプロジェクト（学生特別研究助成）

|     | 令和3（2021）年<br>度 | 令和4（2022）年<br>度 | 令和5（2023）年<br>度 | 令和6（2024）年<br>度 |
|-----|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 応募数 | 20件             | 13件             | 20件             | 18件             |
| 採択数 | 4件              | 7件              | 6件              | 5件              |
| 研究費 | 1,000,000円      | 1,000,000円      | 1,300,000円      | 1,023,300円      |

#### 令和6（2024）年度採択研究課題

|   | 研究課題                        | 参画学生       | 助成金額     |
|---|-----------------------------|------------|----------|
| 1 | 丹後ちりめんの可能性の追求               | 美術領域3年     | 130,000円 |
| 2 | 彫刻を参考とした衣服が与える拘束性と解放性の研究(仮) | 空間デザイン領域4年 | 427,220円 |
| 3 | 輪郭が変わりうるほどの激情を衣服で表現する。      | 空間デザイン領域4年 | 200,000円 |
| 4 | 成安マルシェプロジェクト                | 総合領域4年 他1名 | 249,300円 |
| 5 | びわこ文化公園の魅力の「控えめ」な訴求方法とは？    | 情報デザイン領域4年 | 16,780円  |

#### -4) seian チャレンジ（学生が主体的に取り組む地域貢献活動支援制度）

|        | 令和4（2022）年度  | 令和5（2023）年度  | 令和6（2024）年度  |
|--------|--------------|--------------|--------------|
| 応募数    | 5件           | 11件          | 6件           |
| 採択数    | 3件           | 7件           | 6件           |
| 支援金額上限 | 1件あたり50,000円 | 1件あたり50,000円 | 1件あたり50,000円 |

#### 令和6（2024）年度採択活動

|   | 活動テーマ                  | 参画学生           | 支援決定金額  |
|---|------------------------|----------------|---------|
| 1 | べじたぶるあーと               | 地域実践領域2年 他2名   | 50,000円 |
| 2 | 暮らしの考察、暮らしの記録          | 地域実践領域4年       | 30,000円 |
| 3 | ベンチを作成し、学内に設置するワークショップ | 空間デザイン領域2年 他3名 | 50,000円 |
| 4 | ときめきトビケラ部              | 総合領域3年 他9名     | 50,000円 |
| 5 | 多世代との筆談式対話型鑑賞の検証       | 美術領域2年         | 50,000円 |
| 6 | 滋賀県防災の日のためのワークショップ     | 美術領域3年         | 50,000円 |

#### (b) 共創プロジェクト（受託研究・共同研究・受託事業）

官公庁、一般企業、各種団体から研究費（事業費）を受入れ、研究・開発を行っています。滋賀県唯一の芸術大学であるリソースをいかして、地域の課題解決や芸術文化の発展に向けた様々な企画を積極的に提案し、地域と連携して社会全体の活性化に取り組みました。

令和6（2024）年度は事業数26件、参画学生は101人でした。

#### 事業数・研究費（事業費）

|          | 令和2<br>（2020）年度 | 令和3<br>（2021）年度 | 令和4<br>（2022）年度 | 令和5<br>（2023）年度 | 令和6<br>（2024）年度 |
|----------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 事業数      | 11件             | 20件             | 20件             | 18件             | 26件             |
| 研究費（事業費） | 4,281,816円      | 7,137,315円      | 7,028,647円      | 4,519,590円      | 9,240,108円      |

#### (c) プロジェクト科目・授業

本学のカリキュラムの一環として、官公庁や民間企業、各種団体、地域からの依頼を授業課題に取り入れ単位認定を行う取り組みです。多くの成果物は実際に商品化されるなど、デ

デザインやアートがどう実社会に関わっていくかを実践的に学ぶ機会となっています。令和 6 年度は 12 科目を開講し、のべ 270 人の学生が履修しました。

## ②研究活動における不正防止への取組み

「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）（平成 19 年 2 月 15 日 文部科学大臣決定、令和 3 年 2 月 1 日改正）」および「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン（平成 26 年 8 月 26 日 文部科学大臣決定）」を踏まえ、「成安造形大学研究倫理規定」「成安造形大学公的研究費の運営・管理に関する規程」等を定め、研究者をはじめ本学構成員が一丸となって研究不正防止に取り組めました。研究不正防止にかかる研修等の状況は下表のとおりです。

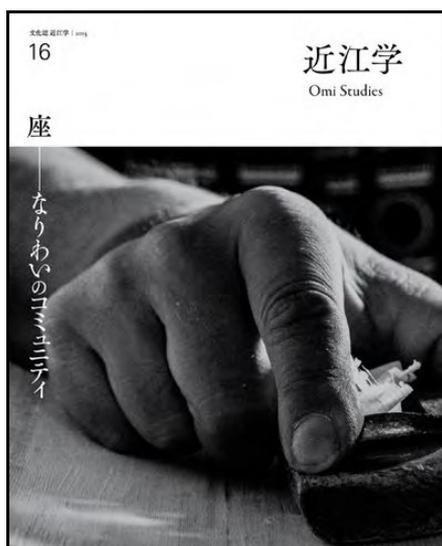
| 内 容  | コンプライアンス教育  | コンプライアンス教育・研究倫理教育 | 誓約書の提出      |
|------|-------------|-------------------|-------------|
| 対象者  | 62人         | 左記のうち新任者8人        | 62人         |
| 受講者等 | 62人 受講率100% | 8人 受講率100%        | 62人 提出率100% |

## ③附属近江学研究所

本学が主唱する近江学は近江という地域が持つ固有の風土を改めて深く検証する学問です。芸術においては、個を深く掘り下げることによって、幅広く多くの人たちが共感する普遍的な美、新しい価値観を生み出してきました。同様に近江固有の文化・風土が内包する「豊かさ」、「地域の持つ固有性」を深く掘り下げることにより、21 世紀の社会に活かせる普遍的な価値観を見出すことを理念としています。

令和 5 年度から令和 7 年度の 3 カ年は、近江のコミュニティを再考する「『惣・座・講』研究プロジェクト」を推進しています。

2 年目となる令和 6 年度は、「近江の座」を研究テーマに、歴史学・民俗学用語としての「座」の概念を、専門的な職能を持つ人々のコミュニティにまで広げ、その歴史と現状や課題検証に取り組む、その成果として文化誌『近江学』第 16 号を刊行（令和 7 年 3 月）しました。また、研究所の活動を SNS を活用して積極的に発信するとともに、写生会や現地研修の様子を紹介する動画コンテンツを制作し、幅広い世代に向けた情報発信に取り組めました。



文化誌『近江学』第 16 号表紙

(a)成安造形大学附属近江学研究所設立 15 周年記念事業「近江学の日」

近江学研究所では、2023 年に開設 15 周年を迎えたことを記念して、1 日を通して近江学の魅力をたっぷり体験していただけるイベント「近江学の日」を 2024 年 4 月 27 日（土）に開催しました。当日は 200 名を超える大勢の方にご参加いただき、ワークショップや講演会、ギャラリーガイド、研究員との交流イベントをお楽しみいただきました。

-1) ワークショップ【参加者 23 名】

「大津絵って何？近江和紙とスタンプでオリジナルのお札をつくる」

- 時間 11:00-12:30 (10:30 受付開始)
- 講師 山田真実氏 (成安造形大学 地域実践領域 助教)
- 会場 成安造形大学 I 棟 プレゼンルーム



-2) 特別公開講座【参加者 134 名】

「コモンの再生」

- 時間 : 14:00-15:30 (13:30 受付開始)
- 講師 : 内田 樹 氏 (凱風館 館長・神戸女学院大学 名誉教授)
- 会場 : 成安造形大学 聚英館 3 階 聚英ホール



-3) 展覧会&ギャラリーガイド【参加者 124 名】

「MUSUBU 地図からみる未来のかたち」

- 会 期 : 4月 25 日 (木) - 5月 11 日 (土) (4月 28 日 - 5月 6 日は休館)
- 時 間 : 11:00-17:00 入場無料・申込不要
- 会 場 : ギャラリーアートサイト (I 棟 1 階)

ギャラリーガイド

石川亮研究員による「MUSUBU 地図」のギャラリーガイド。はじめに聚英ホールにて地図の特徴や見方について説明を行った後、ギャラリーアートサイトに移動して実際の地図を鑑賞していただきました。

○日 時：4月27日（土）15：40－16：15 参加無料・申込不要

○ガイド：石川 亮（成安造形大学准教授・附属近江学研究所研究員）

○会 場：成安造形大学 聚英館3階 聚英ホール、I棟1階 ギャラリーアートサイト



近江学研究員との交流イベント

「話そう！近江学」

○時 間：16：30－17：45（16：15開場） 参加無料・申込不要

○会 場：成安造形大学 コミュニティスペース「結」



#### (b)公開講座

令和6（2024）年度の公開講座を下記のとおり実施しました。

（単位：人）

| 講座記号 | 講座タイトル                           | 講師                      | 開催日         | 受講者数 |
|------|----------------------------------|-------------------------|-------------|------|
| ア    | 成安造形大学附属近江学研究所<br>設立15周年記念特別公開講座 | 内田 樹<br>（凱風館 館長・神戸女学院大学 | 4/27<br>（土） | 134  |

|   |                                       |                              |              |    |
|---|---------------------------------------|------------------------------|--------------|----|
|   | コモンの再生                                | 名誉教授)                        |              |    |
| イ | 近江ーはじまりのかたち<br>近江の惣村 自治コミュニティのはじまり    | 水野 章二<br>(滋賀県立大学名誉教授)        | 6/15<br>(土)  | 58 |
| ウ | 近江ーつながりのかたち<br>自主防災でつながる新たなコミュニティのかたち | 深町加津枝氏<br>(京都大学大学院地球環境学堂准教授) | 11/23<br>(土) | 54 |

※敬称略

※講座記号アは上記「近江学の日」の再掲

公開講座風景 (6/15)



公開講座風景 (11/23)



(c) 写生会

(単位：人)

| 講座記号 | 講座タイトル                   | 講師 ※敬称略                     | 開催        | 受講者数           |
|------|--------------------------|-----------------------------|-----------|----------------|
| エ    | 淡海の夢2024<br>ー仰木・棚田里山写生会ー | 永江弘之 (本学教授)<br>待井健一 (本学准教授) | 5/18 (土)  | 42<br>(うち学生14) |
| オ    | 淡海の夢2024<br>ー堅田・湖族の里写生会ー | 永江弘之 (本学教授)<br>待井健一 (本学准教授) | 10/12 (土) | 33<br>(うち学生3)  |



仰木写生会



堅田写生会

(d) 公募展「淡海の夢風景展」

○会 期：11月25日(月)～12月7日(土)

○会 場：【キャンパスが美術館】 ギャラリーアートサイト

○出展作家 服部由空、待井健一、永江弘之

アーティストトーク

○日 時：12月7日(土)

○会 場：I棟 プレゼンルーム

展覧会には、学生・教職員のほか、ご出品いただいたみなさま・ご友人をはじめ、学外からも多数のご来場があり、たくさんの方々にご覧いただくことができました。また、12月7日（土）には、アーティストトークを開催。本展の企画者であるイラストレーション領域の永江弘之教授が錯視についての解説や出品作品の一点一点について講評を行いました。

(単位：人)

|           | 令和2<br>(2020) 年度 | 令和3<br>(2021) 年度 | 令和4<br>(2022) 年度 | 令和5<br>(2023) 年度 | 令和6<br>(2024) 年度 |
|-----------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 出品者数      | 中止               | 45               | 49               | 43               | 45               |
| 来館者数      | —                | 367              | 454              | 543              | 380              |
| アーティストトーク | —                | 25               | 38               | 48               | 41               |



淡海の夢風景展会場風景



アーティスト・トーク

### (e)近江学フォーラム

#### 1) 会員数

(単位：人)

|         | 令和2<br>(2020) 年度 | 令和3<br>(2021) 年度 | 令和4<br>(2022) 年度 | 令和5<br>(2023) 年度 | 令和6<br>(2024) 年度 |
|---------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 個人会員    | 133              | 149              | 111              | 105              | 103              |
| 家族会員    | 20               | 19               | 12               | 8                | 10               |
| 学園会員    | 21               | 31               | 30               | 28               | 27               |
| 法人・団体会員 | 1                | 3                | 5                | 5                | 7                |
| 合 計     | 175              | 202              | 158              | 146              | 147              |

#### 2) 会員限定講座 テーマ「惣 はじまりのコミュニティ」

会員限定講座は、令和6年度から全て対面にて実施しました。

(単位：人)

| 講座<br>記号 | 講座タイトル                             | 講師<br>※敬称略   | 動画配信期間<br>視聴会 | 受講者数       |         |
|----------|------------------------------------|--|---------------|------------|---------|
|          |                                    |  |               | オンデマ<br>ンド | 視聴<br>会 |
| A        | 近江の「惣」－堅田惣<br>荘と金森寺内町－             | 草野顕之<br>(大谷大学名誉教授)   | 6/1(土)        | 58         | 21      |
| B        | 惣－私たちの公－                           | 水本邦彦<br>(歴史学者・京都府立大学名誉教授)  | 7/27(土)       | 55         | 17      |
| C        | 旧瑞峯院方丈襖絵<br>「堅田図」にみる<br>中世堅田の暮らし   | 和田光生<br>(元大津市歴史博物館副館長・大谷大<br>学非常勤講師)   | 9/28(土)       | 54         | 20      |
| D        | 水・山と暮らす－近江<br>における近世の村落            | 東 幸代<br>(滋賀県立大学教授)   | 12/7(土)       | 47         | 20      |
| E        | 『惣』から、『座』、<br>『講』へ－近江学研<br>究所のこれから | 加藤賢治<br>(本学教授・近江学研究所副所長)<br>石川 亮<br>(本学准教授・近江学研究所研究員)<br>田口真太郎<br>(本学講師・近江学研究所研究員) | 3/8(土)        | 50         | 10      |

### -3) 会員限定／現地研修

(単位：人)

| 講座種別 | 講座タイトル      | 講師        | 開催日       | 受講者数 |
|------|-------------|-----------|-----------|------|
| 現地研修 | 伝説の宝庫 堅田を歩く | 近江学研究所研究員 | 10/26 (土) | 45   |

現地研修のようす①



現地研修のようす②



### ④ キャンパスが美術館

「芸術大学のキャンパス＝美術館」という発想から生まれた回遊式美術館で、キャンパス内に点在する複数のギャラリースペースで1年を通して様々な展覧会を開催しています。

今年度も、教育・研究の場および地域交流の場となることをコンセプトに、在学生・教職員・卒業生に発表の機会を提供し、また、国内外で活躍するアーティストの企画展を行うことで、幅広く表現活動を紹介しました。さらに滋賀ゆかりの企画展示を積極的に行い、芸術を通して地域の魅力を発信し地域交流の機会提供に努めました。

企画展の内容については運営委員会での合議制とし、通常と異なる特長的なプロセスで進めています。令和6(2024)年度は、「セイアンアーツアテンション17」を中心に、企画展4本、共催展3本、申請展26本を開催しました。「アーツアテンション」では「食」をテーマに据えて、様々な角度から食を捉え直す作品や大学周辺地域に伝わる伝統食を振舞うイベ

ントを開催しました。イベントには大勢の家族連れにお越しいただき、たいへん盛況な展覧会となりました。

(a) SEIAN ARTS ATTENTION\* (セイアンアーツアテンション)

キャンパスが美術館の主催展のうち現代において注目すべきテーマを設定した展覧会「SEIAN ARTS ATTENTION\* (セイアンアーツアテンション)」を毎年開催しています。今年度も同窓会と共催しました。

|   | 展覧会名<br>期   | 来館者<br>数 | 展覧会内容   |
|---|---|----------|---|
| 1 | SEIAN ARTS ATTENTION 17<br>「共食 -Eating Together-」<br>10月15日（火）～11月9日（土） | 753人     | 食をテーマに、様々な角度から食の在り方を問う作品を展示<br>・出展作家として卒業生4人を招聘<br>・ギャラリートツアー参加者：34人<br>・トークイベント参加者：81人 |

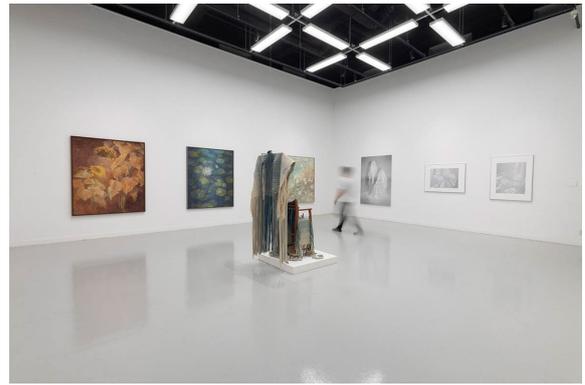
[\*ATTENTION=注意、注目する]



「共食 -Eating Together-」ギャラリートツアー、トークイベントのようす

(b) 【キャンパスが美術館】主催展

|   | 展覧会人                                     | 来館者数 | 展覧会内容                                     |
|---|--|------|---|
| 1 | SELECTION 卒業制作展 2024<br>4月1日（月）～4月27日（土） | 174人 | 卒業制作展2024の中から選抜された作品で構成                   |
| 2 | 過日を掬う<br>5月31日（金）～6月29日（土）               | 654人 | 本学で学生の教育研究活動の支援にあたって<br>いるスタッフや教員を招聘した展覧会 |
| 3 | 浮世絵コレクション<br>9月1日（金）～9月24日（日）            | 491人 | 成安造形大学の収蔵作品の中から、画<br>中人物に焦点をあてた浮世絵作品を展示   |

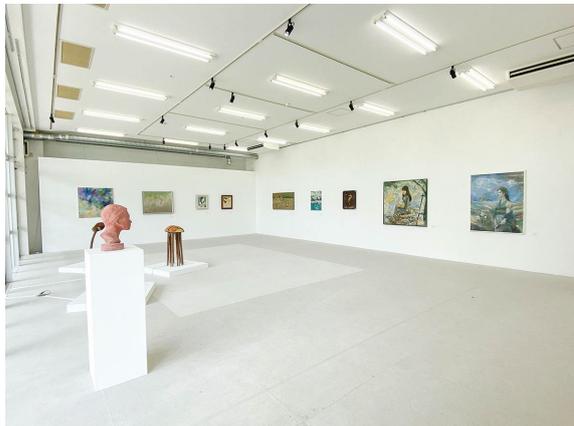


「SELECTION 卒業制作展 2024」展示風景 「過日を掬う」展示風景

(c) 【キャンパスが美術館】共催展

|   | 展覧会名                                   | 来館者数 | 展覧会内容  |
|---|--|------|--|
| 1 | 滋賀の高校美術教員展 2024<br>8月28日（水）～9月7日（土）    | 64人  | 滋賀県内高校の美術教員による展覧会<br>教育連携推進センターとの共催展                             |
| 2 | 淡海の夢 風景展 2024<br>11月25日（月）～12月7日（土）    | 380人 | 附属近江学研究所との共催展。<br>トークイベント参加者：48人                                 |
| 3 | Rolling Egg vol.15<br>2月27日（木）～3月2日（日） | 483人 | 堅田の絵画・造形教室による展覧会<br>教育連携推進センターと入学広報課との<br>共催展<br>ワークショップ参加者：140人 |

「滋賀の高校美術教員展 2024」展示風景



「Rolling Egg vol.15」ワークショップのようす



#### (d)学生による展覧会

「バスストップギャラリー」を使用して、1週間単位で学生主催の展覧会を開催しています。学生からの主体的・自主的な展示をしたいという要望は強く、令和6(2024)年度は年間27(前期14、後期13)の枠に対して約2倍となる46人の申込がありました。使用者については抽選で決めています。

#### ⑤教育連携推進センター

平成30年(2018年)度から「教育連携推進センター」を設置し、教育連携事業に取り組んでいます。姉妹校・パートナーシップ校を含む高等学校や美術研究所など高校生をはじめ、幼稚園や小学校、中学校の園児・生徒を対象として、幅広い層に多彩なプログラムを実施しました。令和6年(2024)度は高校生を対象に延べ37校・7団体に実技・講義等の授業を開講、延べ1165人が受講しました。姉妹校・パートナーシップ協定校については、5校で18の連携事業を実施し、高等学校から大学へのスムーズな教育接続の一助とすることができました。その他の高等学校等では施設等の制約があり経験できない授業内容を中心に開講し、高校生が大学での芸術教育を経験する絶好の機会となりました。

高校生以外についても芸術を大切に作る風土づくりを実現していきたいと考え、それぞれの教育資源を生かした内容で幼稚園、小・中学生の児童・生徒を対象とした連携授業等を開講しました。

また、昨年度より大津市教育委員会と「大津市のクラブ活動地域移行プログラム」も実施。大津市の美術部の生徒と年7回のワークショップを学内で行い、のべ1000名以上の生徒が参加しました。これには、本学の教職課程を受講している学生がリーダーとして参加しています。

こうした教育連携の取り組み状況は、本学ウェブサイトに掲載し、積極的に情報を発信しています。今後は、さらに高等学校・大学の双方がそれぞれ独自の目的や役割を有していることを踏まえつつ、接続を柔軟に捉え、一人ひとりの能力を伸ばすために、双方が連携した教育のあり方を検討していきます。特にオーダー型ではなくこちらからメニューを作成しアプローチすることも目指します。

## (7) 総務課

### 1)新規・重点事業について

今年度は「人事労務システムのさらなる活用」「勤怠管理システムの調査」を進めた。「人事労務システムのさらなる活用」については、導入の整理をする必要があったため、さらなる活用とまではいかなかった。「勤怠管理システムの調査」については一定の成果があり、予算化の提案に至った。

### 【主な事業】

<総務関係>

#### ①入学式

日 時：令和6年4月1日(月) 12時～ 場所：成安造形大学 成安体育館

#### ②卒業証書・学位記授与式

日 時：令和7年3月14日(金) 12時～ 場所：琵琶湖ホテル

※前期卒業者は令和6年9月13日（金）

③教職員対象健康診断・ストレスチェック

日 時：令和6年4月、10月 ※オンラインに変更

④成安造形大学教育後援会総会

日 時：令和7年8月3日（土）

⑤成安造形大学同窓会「かいつぶり」役員会

日 時：令和6年6月23日（日）

⑥永年勤続表彰

日 時：令和6年7月19日（金）

対 象：勤続30年2名、勤続20年1名

⑦避難訓練

日 時：令和7年1月31日（金） ※AED講習会同時開催

⑧事務機器及び消耗品の管理

コピー用紙など消耗品の発注管理、ワークルームに設置しているコピー機やプリンターの維持管理

⑨外部団体への施設貸出

㊦進研V模試

日 時：令和6年6月2日（日）

令和6年11月3日（日・祝）

令和7年1月12日（日）21

主 催：株式会社大阪進研

㊧ファイナンシャル・プランニング技能検定

日 時：令和7年1月26日（日）

主 催：一般社団法人金融財政事情研究会

㊨その他、そろばん塾等への貸し出し

<経理関係>

①経費支払い業務

毎月2回（10日・25日）の支払い。但し、8月と1月の10日支払いはなし。

②役員・教職員給与・賞与支払い業務

給与：毎月20日 賞与：夏季7月1日、冬季12月10日

③公認会計士会計監査 前年度決算5月、中間監査11月、四半期監査7月・2月

<施設・環境整備関係>

①施設内の定期清掃

授業期間中は講義室及び実習室は2週間を1クールとし、ローテーションで実施。トイレは毎日実施。授業期間外は不定期。夏期と春期の長期休業期間に特別清掃（窓・床）。

②学内警備

正面玄関に守衛を配備した上で機械警備を併用。

③施設設備の保守

㊦消防設備の定期点検

総合点検：令和6年8月10日（土）／機器点検：令和7年2月15日（土）

㊧電気設備の定期点検 高圧受変電設備の定期点検（2カ月に1回）

㊨電動設備機器の定期点検

㊰聚英ホール電動観覧席の保守点検：令和5年8月

㊱聚英館エレベーターの定期点検：令和6年5月・8月・11月／令和7年2月

㊲食堂棟自動扉の定期点検

㊳放送設備の定期点検 年1回（不定期）

④廃棄物の処理：年2回（不定期）

㊴一般廃棄物処理：毎週月・水・金曜日

㊵食品プラ容器処理：月2回程度

㊶産業廃棄物処理他：随時

⑤植栽の維持管理

㊷敷地内・法面草刈り：年5回（4月・6月・7月・8月10月）

㊸高木・中木の剪定：不定期

⑥スクールバスの運行

学生や教職員の通学・通勤における安全性を確保するため、路線バス利用も含め、以下のとおりスクールバスを運行する。

㊹運行日数：年間251日（うち路線バス利用で運用する日は78日）

㊺運行時間：8時～22時（土曜日は21時）

㊻その他、大規模イベント開催時は臨時運行。

⑦施設の改修・整備

㊼消防機器設備更新修繕

㊽実習I棟空調機更新工事

(8) 質保証関連

①令和6年度質保証協議会の開催状況

|     | 日 時           | 議 題  |
|-----|---------------|--|
| 第1回 | 令和6年<br>8月01日 | 令和6年度 質保証協議会年間スケジュール(案)、令和6年度FD研修会の計画、3つのポリシー検討作業部会進捗状況、アセスメント報告、GPS-Academic 2024年度1年生受検結果報告、教学マネジメント推進にあたっての課題共有ほか |
| 第2回 | 9月05日         | 全国学生調査、アセスメントポリシー修正案、第4期認証評価ほか   |

|     |               |   |
|-----|---------------|---|
| 第3回 | 9月26日         | 教学マネジメント推進にあたっての課題共有、教育の質保証セミナーについてほか   |
| 第4回 | 11月28日        | 令和6（2024）年度以降の学生実態満足度調査、全国学生調査、学習成果アンケート3種調査の実施、アセスメントポリシー修正案、FD研修会の報告、生成AI基本方針(案)作成の提案ほか |
| 第5回 | 令和7年<br>1月23日 | 生成AI取扱い基本方針（案）、アセスメントの教育成果の可視化状況について、令和7年度一部システムの学内名称の変更提案、2024(R6)年度FD研修会に関する提案ほか        |
| 第6回 | 令和7年<br>3月06日 | 認証評価の最新動向、学生実態満足度調査の実施報告、内部質保証ワーキンググループの取り組み報告、アセスメント対象のアンケートの軽微な変更ほか                     |

## ②IR活動

学位等授与数、休学・退学率、卒業率、就職率、進学率、GPAなどの基礎的な数値は以下の表のとおりです。教員免許状取得者は32名と前年度に比べ大幅に増加、休学率は1ポイント以上増加していますが、中途退学率が3ポイント近く減少しており、離学まで至らず今後の修学の在り方を考えるために休学する学生が増えています。平均修得単位数やGPAについては極端な増減はありませんでした。詳細な調査分析については、令和7年度前期中に行い、カリキュラムや入学者選抜試験などの改善・開発に活用する予定です。

なお、アセスメントテストとして1年生を対象に「PROG」を実施し、その結果を教務委員会に報告し、情報共有を図った上で、1年生の現状のジェネリックスキルを把握することで、教授方法の工夫に役立てました。その他、「授業評価アンケート」や4年生の卒業時に「学修成果アンケート」を実施し、学生個々の学修成果を点検・評価しました。キャリアサポートセンターにおいては、過去4年間の卒業生を対象に、在学中の教育内容や学生支援サービスに関するアンケート調査を実施し、その改善や見直しを図っています。

表12 学位授与数・資格取得者数

|       | 学位授与数 | 教員免許 | 学芸員資格 |
|-------|-------|------|-------|
| 令和6年度 | 215人  | 21名  | 21名   |
| 令和5年度 | 204人  | 32人  | 15人   |
| 令和4年度 | 209人  | 19人  | 18人   |
| 令和3年度 | 194人  | 20人  | 14人   |
| 令和2年度 | 234人  | 31人  | 22人   |

表13 卒業率・休学率・離学率・留年率

|       | 修業年限<br>卒業率 | 休学率  | 中途<br>退学率 | 1年次<br>留年率 | 3年次<br>留年率 | 4年次<br>留年率 |
|-------|-------------|------|-----------|------------|------------|------------|
| 令和6年度 | 80.0%       | 3.5% | 3.4%      | 3.9%       | 10.7%      | 9.8%       |
| 令和5年度 | 75.2%       | 3.1% | 1.2%      | 6.0%       | 9.4%       | 8.5%       |
| 令和4年度 | 77.9%       | 2.0% | 4.1%      | 6.0%       | 13.0%      | 3.8%       |
| 令和3年度 | 72.3%       | 3.1% | 5.0%      | —          | 12.2%      | 6.7%       |

|       |       |      |      |   |       |      |
|-------|-------|------|------|---|-------|------|
| 令和2年度 | 80.6% | 3.0% | 3.1% | — | 10.1% | 4.4% |
|-------|-------|------|------|---|-------|------|

※休学率は、前期と後期の休学率（各期休学者数÷各期首在籍者数×100）を加重して、2で除した数値。

※中途退学率は5月1日現在の全学生の内、年度途中で退学もしくは除籍となった学生の割合。

表 14 学年別平均修得単位数

|       | 1年     | 2年     | 3年      | 4年      |
|-------|--------|--------|---------|---------|
| 令和6年度 | 38.1単位 | 75.0単位 | 105.0単位 | 125.4単位 |
| 令和5年度 | 35.1単位 | 74.6単位 | 104.0単位 | 127.6単位 |
| 令和4年度 | 34.7単位 | 74.6単位 | 104.3単位 | 127.4単位 |
| 令和3年度 | 36.5単位 | 73.6単位 | 105.8単位 | 127.0単位 |
| 令和2年度 | 34.9単位 | 72.0単位 | 107.5単位 | 127.0単位 |

表 15 学年別平均 GPA (成績平均)

|       | 1年   | 2年   | 3年   | 4年   | 全体   |
|-------|------|------|------|------|------|
| 令和6年度 | 2.65 | 2.45 | 2.40 | 2.58 | 2.52 |
| 令和5年度 | 2.40 | 2.41 | 2.40 | 2.70 | 2.47 |
| 令和4年度 | 2.32 | 2.50 | 2.54 | 2.70 | 2.51 |
| 令和3年度 | 2.45 | 2.60 | 2.61 | 2.69 | 2.59 |
| 令和2年度 | 2.48 | 2.62 | 2.64 | 2.73 | 2.62 |

表 16 就職率・進学率など

|       | 対就職希望者<br>就職率 | 対卒業生<br>就職率 | 進学率   | 進路決定率※ |
|-------|---------------|-------------|-------|--------|
| 令和6年度 | 92.2%         | 60.5%       | 10.7% | 71.1%  |
| 令和5年度 | 91.3%         | 63.6%       | 7.4%  | 70.9%  |
| 令和4年度 | 88.2%         | 60.8%       | 6.7%  | 72.2%  |
| 令和3年度 | 86.0%         | 60.3%       | 4.6%  | 64.9%  |
| 令和2年度 | 85.0%         | 62.8%       | 8.1%  | 70.9%  |

※進路決定率は卒業生のうち、就職もしくは進学者の割合。

### ③FD 活動

#### ㊦FD 研修会テーマ

- 第 1 回 生成 AI 利用の本質的理解 -大学の授業のために-
- 第 2 回 卒業研究ループリック制作

#### ㊧参加対象

専任教育職員・任期制特別任用教育職員・任期制助教・任期制助手  
計 46 人 (休職者除く)

#### ㊨参加状況

第 1 回 43 人 (参加率 93.5%) / 第 2 回 43 人 (参加率 93.5%) ※  
※第 1 回についてはオンデマンド動画を共有し、全教職員に案内。  
欠席の教員については動画の視聴とフォームの提出をもって FD 参加として扱う。

#### ㊩日程

- 第 1 回 令和 6 年 9 月 2 日(月)~30 日 (月)
- 第 2 回 令和 7 年 3 月 26 日(水)

### ④SD 活動

教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、教職員を対象として、各種業務に必要な知識及び技能を習得、またはその能力及び資質を向上させるための研修を学内で実施するとともに、積極的に外部団体主催の研修会等へ教職員を派遣しています。令和 6 年度実施した主な SD 活動は以下のとおりです。

◎表 17 主なSD活動

|    | 日時     | 参加部署            | 研修・セミナー等名称                                     | 参加目的・成果目標  |
|----|--------|-----------------|--|--|
| 1  | 6月4日   | キャリアサポートセンター事務課 | 【25卒障害学生向け求人への傾向と採用事例をお伝えします】セミナー              | 障がい学生向けの求人や採用傾向を知る。採用事例等を聞き、本学学生の支援に活かす。                       |
| 2  | 6月15日  | 教学課             | 教務系職員初任者向け講習会                                  | 授業の開講・成績評価・単位認定・身分移動等の代表的な教務事務について、法令上の根拠を学ぶ。学生対応の心構えについて考える。  |
| 3  | 6月20日  | クリエイティブサポート事務課  | ジャパンサーチがつなぐ学術資源とデジタルアーカイブ                      | デジタルアーカイブ横断検索サービスの図書館業務への活用のため                                 |
| 4  | 6月20日  | クリエイティブサポート事務課  | オープンサイエンス時代の権利保持を考える(1)ー即時OA下の論文の権利に着目して       | 即時OAで先行する欧州発の「権利保持戦略」の知見及び即時OA方針の現在位置確認のため                     |
| 5  | 6月21日  | 総務課             | 学校法人会計の仕組みと実務～学校会計入門コース～                       | 総務課員に求められる学校法人会計の基礎知識習得  |
| 6  | 6月26日  | 研究・連携支援課        | 大学DXフォーラム「研究費管理と経費精算業務のデジタル構想」                 | 研究費管理の最新の状況や適切な使用に関する知識の獲得                                     |
| 7  | 7月4日   | 総務課             | 私学の中間管理職研修会                                    | これからの私学中間管理職に求められるマネジメントの基本を学ぶ                                 |
| 8  | 7月24日  | 教学課             | 令和6年度外国人留学生の在留審査手続の申請取次に係る研修会                  | 在留資格認定証明書交付申請や在留期間更新申請について法的根拠を知る                              |
| 9  | 7月24日  | キャリアサポートセンター事務課 | 滋賀県発達障害者支援ケアマネジャー養成研修「発達障害の理解」                 | 発達障害(ASD, ADHD, LD等)の特性の理解や支援の流れについて理解を深める                     |
| 10 | 8月21日  | キャリアサポートセンター事務課 | 滋賀県発達障害者支援ケアマネジャー養成研修「コミュニケーション支援」             | 発達障害を持つ方とのコミュニケーションにおける受容性と表出性、具体的な対応について理解を深める                |
| 11 | 9月19日  | 総務課             | 事務局長相当者研修会                                     | 「時代の変化に対応したガバナンス体制の構築」として、ガバナンス機能の強化策を中心に講演・事例発表・班別討議等         |
| 12 | 9月26日  | キャリアサポートセンター事務課 | 滋賀県発達障害者支援ケアマネジャー養成研修「支援ニーズのある大学生等の自己理解支援について」 | 発達障害学生の困難の背景にある認知特性や自己理解の支援、また自立に向けての知識の習得                     |
| 13 | 10月16日 | 教学課             | 大学教務部課長相当者研修会                                  | 現在の、大学教務に求められる知識との修得と、他大学教務職員との情報交換                            |
| 14 | 10月31日 | 研究・連携支援課        | 産官学金ビジネス大交流会～近畿大学研究シーズ発表会～                     | 他大学の産官学連携に関する情報収集、他大学の産官学連携担当職員・連携企業との交流                       |
| 15 | 11月5日  | クリエイティブサポート事務課  | 生成AIと図書館：その初歩から最先端まで                           | 生成AI技術の図書館業務への波及がいつ頃になるかの参考情報とするため                             |
| 16 | 11月20日 | キャリアサポートセンター事務課 | 令和6年度「就職部課長相当者研修会」                             | 就職・採用活動における学生支援の在り方および学生の社会的・職業的自立に向けたキャリア教育に関する諸問題について共同研修を行う |
| 17 | 12月4日  | クリエイティブサポート事務課  | IIJ文教プライベートセミナー2024                            | 近年のサイバー攻撃事例と大学におけるセキュリティ管理の必要性について学ぶ                           |
| 18 | 12月5日  | キャリアサポートセンター事務課 | 留学生指導に活かす生成AI活用法～NotebookLMではじめる就職指導～          | 言語や文化の壁を乗り越えるためのアプローチや留学生が持つ強味を活かす方法を学ぶ                        |
| 19 | 1月23日  | 研究・連携支援課        | 「科研費の取り方-申請書作成のポイント-」                          | 科研費獲得に向けた申請書作成に関する具体的な戦略・知識の習得                                 |
| 20 | 2月15日  | 教学課             | カリキュラムコーディネーター養成研修会初級                          | カリキュラムコーディネーター初級の所定の研修課程を修め、カリキュラムコーディネーター初級を取得する              |

## 2 成安幼稚園の事業概要

### 【1】基本理念・教育の目的・教育目標

#### 1. 成安幼稚園の基本理念

豊かな創造力と健やかな体、たくましい自立心を育てる。

本園は、「子どもの生活は遊びながら…」が保育の基本であると考えています。偏った英才教育では、心は見失われてしまいます。

本園は、長い伝統を誇る京都成安学園の建学の精神「成安」、校訓「誠と熱」の信念を柱とし遊びを中心とした総合的保育で、創造力の豊かな心と健やかな体を育てます。

本園は、現代社会に失われつつあるものを育てることが大切であると考えています。

#### 2. 成安幼稚園の教育の目的

- (1) 健康・安全で幸福な生活のために必要な基本的生活習慣を養うとともに、身体諸機能の調和と発達を図る。
- (2) 集団生活を経験し、協調性、自立及び自律の精神の芽生えを養う。
- (3) 社会の様々なものごとに対し、正しい理解と態度の芽生えを養う。
- (4) 人との関わりの中で、意思伝達能力を養い、信頼関係を築く。
- (5) 経験をとおして感性を育て、創造力を豊かにし表現する力を養う。

#### 3. 成安幼稚園の教育目標

一人ひとりの子どもを大切に、基本理念に基づいた保育を行い、心豊かな子どもに育てます。

### 【2】幼稚園 中長期経営計画

- (1) 成安幼稚園の運営方針
- (2) 社会に対する基本姿勢
- (3) 満3歳児保育の開始とクラス編成の見直し
- (4) 保護者や地域社会からの信頼と協力を得るための正確な情報の発信
- (5) 保育教育の質の向上
- (6) 人材マネジメントの推進と教育職員配置計画
- (7) 園児獲得目標の明確化と健全な財務規律の確立
- (8) 安全で快適な保育環境の整備
- (9) コンプライアンスの徹底とガバナンスの確立

### 【3】中長期経営計画に基づく事業計画

#### 1. 成安幼稚園の運営方針

基本理念「豊かな創造力と健やかな体、たくましい自立心を育てる」に基づき、2歳児・満3歳児保育開始2年目であるため、引き続き保育の確立と環境整備に努めました。

また、年々、保護者からの需要のある預かり保育の体制を強化し、充実発展を目指しました。新しく導入した園支援システムを大いに活用し、情報の共有化、保護者との連絡の利便性向上を図りました。

## 2. 社会に対する基本姿勢

保護者の社会活動への参加を支援するため、預かり保育の充実を目指し10月より就労理由などの制限を設けず無条件で全園児（子育て支援事業・2歳児わかばぐみを除く）が利用できるようにしました。様々な年齢の園児が一斉に集まり保育を受けるため、人数に応じて2クラス体制で実施できるよう預かり保育担当教員（常勤教育職員1名と複数名の非常勤講師）を配置し、安全に実施することができました。

## 3. 満3歳児保育の開始とクラス編成の見直し

### (1) 満3歳児保育

2歳児・満3歳児保育を1クラス教育職員4名で運営。途中入園児を期待していましたが、最終在園者数は定員25名に対して17名となりました。開始2年目の為、備品の追加購入や教育・保育の環境整備を行いました。また、原則誕生日を入園日とし、保育をしない4月2日から第1学期の最初の保育日の前日までに誕生日を迎える園児は、最初の保育日を入園日とする園則の改正を行いました。

### (2) クラス編成

満3歳児保育は1クラス25名の運営としました。制度上満3歳保育に入園するまでは、子育て支援活動として2歳児保育（わかばぐみ）5日コース、3日コース、2日コース、利用しないことが選択できます。

年少（3歳児・あかぐみ）は、満3歳児から進級する園児21名と新たに入園する園児17名が混合し、2クラスとしました。年中（4歳児・きぐみ）、年長（5歳児・ももぐみ）は進級する園児のみで2クラス制。年度途中で転退園児が各学年に生まれました。最終在籍人数は143名と年度初めに比べて3人増となりました。（転居が主な理由）

### (3) 教育職員体制の充実

2歳児・満3歳児は安全面の確保と見守り、援助が常に必要となるため、保育所の配置基準を参考に教員を配置しています。（園児6名に対して教員1名）また、他学年も年々特別に配慮を要する園児が増えているため担任だけではなく副担任を配置しました。年度初めや保育の状況によっては、教頭並びに預かり保育担当常勤教育職員が保育補助に入ることもありました。

### (4) 効果的な広報の実施

4月より開始したInstagramを活用し、園庭開放や親子登園などの情報やそれに加えて在園児の保育の様子を発信しました。それによりフォロワー数の増加につながりました。来園者アンケートによるとInstagramを見てイベントを知ったとの回答が多数あり、イベント周知に効果があったと感じています。

## 4. 保護者や地域社会からの信頼と協力を得るための正確な情報の発信

「園支援システム」「れんらくアプリ」は順調に運用しています。

事業計画に挙げていた保育料管理や幼児教育無償化事務等のシステム一本化を検討しましたが、より効率的で正確に業務を進めるためには、現在事務処理で使用しているエクセルとの併用が良いと判断しました。

また、ホームページの全面リニューアル化については、予算の関係で実施できませんでしたがホームページのお知らせ画面を活用し、地域社会への情報発信を行いました。

## 5. 保育教育の質の向上

### (1) 各年次の教育・保育目的

- ・2歳児（わかばぐみ）・満3歳児（幼少あおぐみ）

開始2年目にあたり、1年目の経験を活かしながら本園が目指す教育・保育内容の構築を図りました。2歳児・満3歳児の発達段階を理解し、集団ではなくひとりひとりの成長に合わせた

保育を行いました。教員との1対1の関わりから、遊びを通して友だちの存在を意識できるように過ごしました。また、段階を経て着替えや持ち物の片付け等の生活習慣の仕方を経験し、3歳児への進級に繋がりました。

・3歳児（年少あかぐみ）

満3歳児保育からの進級園児と令和6年度から入園する園児が混合したクラス運営となるので、より一人一人の発達状況を把握しながら、それぞれが安定した気持ちで生活できるように関わりました。芝生の園庭や固定遊具、砂場での遊びを通して、満足感や充実感を味わい、草花、小動物との関わりを通して色合いや生命の大切さを感じられるように過ごしました。また、個々の興味や関心を大切にしながら、クラスの仲間意識が育つよう工夫しました。

・4歳児（年中きぐみ）

3歳児での経験を踏まえのびのびと自己を発揮し、自分の好きなことを見つけ十分に楽しめるよう保育を計画しました。運動会などの経験を通してクラスの一員としての意識が芽生え、友達との関わりも深まり協働性や道徳性の育ちにもつなげることを意識しました。草花を使った色水遊びや絵の具遊びを通して、色の混ざりの美しさを知ったり廃材を使った造形活動にも取り組みました。経験を重ねることで、技術の向上、工夫する力の育ちにつながりました。

・5歳児（年長ももぐみ）

幼稚園生活の集大成の1年、これまで経験したことを力とし自信をもって過ごせるよう保育を計画しました。行事やグループ活動で、自分の気持ちを言葉で表現したり伝え合う経験を通して協調性や社会性の学びに繋がりました。また、苦手なことも頑張ろうとする気持ちや挑戦する気持ちの大切さも知らせてきました。

園庭の草花を使った色水遊びでは、回を重ねるごとに自分の理想の色を作るためにはどれを使えばよいのか、考え試してみることにより思考力、探求心の育ちに繋がりました。

・配慮の必要な園児

特別に配慮を必要とする園児の増加により支援体制として副担任制度を継続し、細部に目を配らせることや教育職員同士の情報共有を図ってきました。また、外部の臨床心理士を活用し、各療育施設と連携を密にとり、園児や保護者、社会のニーズに応えながら支援していくことができました。

(2) 各種行事の効果

コロナ禍も落ち着き、入場制限や時差登園を解消し通常通りの活動を実施することができました。毎年行っている行事内容については、より教育的効果のあるように、ねらいや内容を明確化し取り組みました。

(3) 研究費、研修を活用した教育力の向上

公益社団法人京都府私立幼稚園連盟主催の新規採用教員研修や満3歳児保育研修会、乙訓地区における教員研修会などを積極的に活用し、本園主催の研修も合わせて教育職員の幅広い見識、教育力を醸成することができました。また、昨年度に個人研究費規程が制定されたことにより積極的に活用することができました。

(4) 特色のある教育内容

併設校に芸術系大学を擁する幼稚園として、園児の自由な発想、創作意欲が醸成するよう特色のある教育内容を実施しました。

・大学との教育連携

大学の教育職員の協力により、幼稚園部門の教育職員の造形教育へのアドバイス、感性を磨く多角的な視点での指導を受け教育の幅を広げることができました。また、園児へのワークショップを通じて、園児の感性と創作意欲を育みました。また、保護者の参加型にするなど他園との差別化が図られました。幼大教育連携の内容は下表の通りです。

## 【幼大教育連携】

| 月日       | 学年   | 取り組み内容   |
|----------|------|----------|
| 6月10日(月) | 年長ぐみ | 紙コップであそび |
| 9月20日(金) | 未入園児 | 絵の具であそぼう |
| 9月20日(金) | 年中ぐみ | 忍者に変身しよう |
| 1月20日(月) | 年少ぐみ | 的あてをつくろう |

### ・作品展の実施

全学年、それぞれのテーマにそって、11月に作品展を実施しました。園児が日々取り組んだ描画やデザイン画、立体作品を保育室や遊戯室に展示し、保護者等への観覧の機会を設け子どもの成長を実感する機会を提供しました。併せて保護者会との共催行事「せいあんふれあい DAY」も同日開催し作品を観覧後、窓に絵を描いたり塗り絵をしたりと思い思いに表現を楽しむことができました。

#### (5) その他、外部への作品出展

毎年開催される京都高島屋での公益社団法人京都府私立幼稚園連盟主催の「かが展」に計12点出展しました。また、4か月に1回、6点ずつ京都新聞地域版に園児の絵画作品が掲載されました。

#### (6) せいあん美術館幼稚園ギャラリー(仮称)の設立

2025(令和7)年に開園95周年、2030(令和12)年に開園100周年を迎えるにあたり、特色ある幼稚園のブランディングを構築するため、せいあん美術館幼稚園ギャラリー(仮称)を設立する予定でしたが、予算面や企画案などの構築が進まず実施には至りませんでした。

#### (7) 幼稚園小学校連携

近隣の小学校2校との交流を持つことができ今後の連携、接続へと繋げていきたいと思っております。

#### (8) 成安幼稚園教育体系の構築

令和7年度は本園開園95周年を迎え、その節目に教育体系の構築を試みましたが、幼児教育の元となる幼稚園教育要領や教育課程との連動が課題となり、停滞しています。今後は、形を変えて成安幼稚園の教育の向上を目指します。

## 6 人材マネジメントの推進と教育職員配置計画

### (1) 教育職員の将来的な人材マネジメント

令和6年度より教頭を配置し、各学年主任と共に若手教育職員の指導を実施することにより、手厚いフォロー体制をとることができました。それが定着率の向上にもつながっていると感じています。

### (2) 教育職員の配置

各クラス定員25名につき担任1名、各学年に副担任を配すことにより、安全に保育を実施することができました。しかし、園児数の減少によりクラス編成と教員の配置についての見直しは、今後の大きな課題です。

### (3) 教職員の定着率向上

教員の連携とフォローにより、今年度の退職者はいませんでした。

就業時間を45分短縮したことに伴い、見直した主な事柄は、以下の通りです。

- ・ 集団降園のコースを見直し30分程度で園に戻り、保育準備、打ち合わせができるように工夫
- ・ 保育週案のフォーマットを見直し、週案記入時間を短縮

### (4) 教育職員の業務役割の明確化

教育職員それぞれの雇用形態ごとの業務内容を見直し、明確化することによりスムーズな連携をとることができました。

## 7 園児獲得目標の明確化と健全な財務規律の確立

### (1) 入園者の安定的な確保

満3歳児及び3歳児において、目標とする入園者を確保するには至りませんでした。

入園説明会は、より本園の教育内容を感じてもらえるよう3歳児以上のみ体験型を導入しました。保育体験や園バス乗車体験、制服展示等を実施しました。

#### 【入園説明会参加者数】

| R7           | 満3歳児   | 3, 4, 5歳児 | 合計     |
|--------------|--------|-----------|--------|
| 9月7日<br>(土)  | 17     | 20        | 39     |
| 9月11日<br>(水) | 11     | 5         | 16     |
| 合計           | 28     | 25        | 55     |
| R6合計         | 26     | 25        | 51     |
| 対前年比         | 107.6% | 100%      | 107.8% |

\*出席者の出席率は、49.1% R6は44.0%

### (2) 予算執行管理

2歳児保育・満3歳児保育等目的分類科目ごとに類型を設定しグループ化を図り、より緻密に予算管理を行いました。四半期ごとに、運営協議会で執行状況や残額を情報共有するなど、計画的な執行を重要視しました。給食費等さまざまな経費が値上がりしていることを受けて、これまでの経常経費のより一層の工夫が必要となりました。

### (3) 外部資金獲得

主な補助金は以下の通りです。

京都府（私学運営費・施設設備費・預かり保育・心身障害児教育など）36,812,659円  
向日市（設備費・教材教具購入・特別支援療育など）1,167,700円

## 8 安全で快適な保育環境の整備

### (1) 施設設備の改修

昨年度に引き続き、老朽化している第1保育棟の1階保育室を改修し、3か年をかけての第1保育棟の改修工事が終了しました。

事業計画に掲げていた保育料等園納金を新システムを利用する方向の模索については、実施に至っていません。

### (2) 送迎バス

通園バス運行に伴うマニュアルを基に、運転手、添乗員と連携を密にとり、日々緊張感をもって安全にバス運行・乗降確認を行うことができました。

### (3) 危機管理

園外に出た際の対応について、12月には危機管理対応マニュアルを更新しました。台風・大雨などによる警報発令の可能性を感じた際は、速やかに危機管理対策本部を稼働し、対策を講じました。（5月・8月台風 1月積雪 計3回実施）

折に触れ、不審者情報やニュース、新聞報道等の事例を受け、即応するべく対応マニュアルの更新及び教職員の意識向上を図りました。

### (4) 警備

正門入口、東門入口とも常に施錠し、入出管理を徹底しました。来園する保護者は保護者証の確認を徹底しました。保育室にはサスマタを常備し、不審者の侵入に備えました。また、2月に行った教員研修会では不審者対応について学び、有事に備えるように意識しました。

### (5) 新型コロナウイルス感染症対策

感染症法上の分類が5類に移行されたことを受け、規制を緩和しました。園児が低年齢で抵抗

力、免疫力も低いいため、手洗いの徹底、保育室内の空気清浄機稼働、低年齢保育室は、遊具の消毒、送迎バス車内の消毒などを実施しました。

(6) 幼稚園周辺環境

正門前道路は緩やかなS字カーブであり、かつ鉄道の阪急、JRの最寄り駅の幹線道路となっているため交通量が多く危険性が高いです。阪急洛西口駅西側の広大な敷地が現在開発中ですが、今のところ安全面への直接的な影響はありませんが、最新の情報を常に取得するように努めました。

(7) 登降在園時の状況確認

園支援システムの導入により登降在園における園児の状況をより正確に、かつ保護者と双方向に把握することが可能となりました。園支援システムを活用しながら目視での確認と並行して行いました。

(8) 施設設備全般

送迎時や行事参加時は、全学年に駐車場の利用を可能にすることで安全を確保できるようになりました。事業計画に挙げていましたアスレチック遊具の充実は、100周年記念事業へ先送ります。

## 9. コンプライアンスの徹底とガバナンスの確立

法規並びに学園の規程等を遵守し、懸念されるような法的事象は起きませんでした。コンプライアンス意識の向上とガバナンスの強化に取り組み、研修等を活用した高い意識の組織管理運営の継続を目指します。

### 【5】管理運営

(1) 運営協議会

運営協議会を月1回程度開催し、園運営に関する重要な事項を協議しました。

(2) 会議体

予算会議、施設設備会議、人事会議、募集対策会議を適宜開催し、遅滞なく園の運営や事業、体制を整備することができました。

### 【6】地域社会貢献事業

事業計画に挙げていた卒園児保護者相互支援事業の模索、課外活動への施設設備貸出しの新規開拓、子ども・子育て支援新制度の認定こども園への移行調査については、どの項目も検証には至っていません。

### 【7】その他

(1) 資料の保管

保管場所について、今後検討していきます。

### 3 法人の事業の概要

#### (1) 理事会

令和6年度は、本法人寄附行為変更等に係る審議を行ったため、当初計画より1回多い計12回理事会を開催しました。理事の出席率は99.2%（前年度98.0%、書面による意思表示を含む）、監事の出席率は100.0%（前年度95.0%）でした。

#### (2) 評議員会

令和6年度は、本法人寄附行為変更等に係る審議を行ったため、当初計画より1回多い計4回評議員会を開催しました。評議員の出席率は100.0%（前年度100.0%、書面による意思表示を含む）でした。

#### (3) 寄附行為変更等

改正私立学校法等施行への対応として、令和6年8月1日付で本法人寄附行為の変更認可申請を行い、同年11月18日認可されました。また、改正私立学校法及び寄附行為に従った諸規程や内部統制システムの整備等を行いました。

#### (4) 責任限定契約の締結

本法人は、寄附行為第41条4の規定に基づき、令和2年度から非業務執行理事及び監事との間で責任限定契約を締結しています。

非業務執行理事若しくは監事はその任務を怠ったことにより本法人に損害を与えた場合において、非業務執行理事若しくは監事はその職務を行うに当たり善意でかつ重大な過失がないときは、非業務執行理事にあつては金200万円、監事にあつては金500万円と、非業務執行理事若しくは監事はその在職中に学校法人から職務執行の対価として受け、又は受けるべき財産上の利益の1年間当たりの額に相当する額として私立学校法施行規則第3条の3に定める方法により算定される額に2を乗じて得た額との、いずれか高い額（責任限度額）を限度として、本法人に対し損害賠償責任を負う契約内容です。ただし、損害額のうち責任限度額を上回る部分については、本法人は非業務執行理事若しくは監事を当然に免責するものとします。

#### (5) 役員賠償責任保険契約の締結

本法人は、令和2年度から日本私立大学協会を契約者、本法人を記名法人とする役員賠償責任保険（D&O マネジメントパッケージ（経営責任総合補償特約条項・特定危険不担保特約条項・会社有価証券賠償責任等不担保特約条項・役員定義修正特約条項・追加保険料の払込猶予に関する特約事項付帯 会社役員賠償責任保険））に加入しています（団体契約）。引受保険会社は東京海上日動火災保険株式会社です。

個人被保険者は、理事、監事、評議員、執行役員、管理職従業員、社外派遣役員、退任役員で、総支払限度額は300,000千円（免責金額0円）です。

また、令和4年度からは、日本私立大学協会が契約者となるサイバーリスク保険契約も締結しています。

#### (6) 補償契約の締結

本法人は、役員職務執行の過度な萎縮を防ぎ責任をもって適正な業務執行を行う環境を整えることを目的として、令和3年度からすべての役員との間で補償契約を締結しています。

##### ・補償契約の内容

- (1) 役員がその職務の執行に関し、法令の規定に違反したことが疑われ、又は責任の追及に係る請求を受けたことに対処するために支出する費用の全額
- (2) 役員がその職務の執行に関し、第三者に生じた損害を賠償する責任を負う場合における次に掲げる損失

- 当該損害を役員が賠償することにより生ずる損失の全額
- 当該損害の賠償に関する紛争について当事者間に和解が成立したときは、役員が当該和解に基づく金銭を支払うことにより生ずる損失の全額

4 学納金等

(1) 大学の学納金等【令和6年度】

①芸術学部 総合領域

単位:円

| 学年                    | 学納金等      |                 | 令和6年度          |                  |                  |
|-----------------------|-----------|-----------------|----------------|------------------|------------------|
|                       |           |                 | 【2期に分けて納入する場合】 |                  | 年額               |
|                       |           |                 | 前期             | 後期               |                  |
| 1年生                   | 学費        | 入学金             | 200,000        | —                | 200,000          |
|                       |           | 授業料             | 490,000        | 490,000          | 980,000          |
|                       |           | 教育充実費           | 91,250         | 91,250           | 182,500          |
|                       |           | 学費計             | 781,250        | 581,250          | 1,362,500        |
|                       | その他の徴収金   | 領域別交流会費         | 2,000          | —                | 2,000            |
|                       |           | 教育後援会入会金        | 5,000          | —                | 5,000            |
|                       |           | 教育後援会年会費        | 20,000         | —                | 20,000           |
|                       |           | 学生会年会費          | 10,000         | —                | 10,000           |
|                       |           | その他の徴収金計        | 37,000         | 0                | 37,000           |
|                       | <b>合計</b> |                 | <b>818,250</b> | <b>581,250</b>   | <b>1,399,500</b> |
| 2・3・4年生<br>/ 2・3年次編入生 | 学費        | 授業料             | 490,000        | 490,000          | 980,000          |
|                       |           | 教育充実費           | 91,250         | 91,250           | 182,500          |
|                       |           | 学費計             | 581,250        | 581,250          | 1,162,500        |
|                       |           | 入学金(編入生のみ)      | 200,000        | —                | 200,000          |
|                       | 学費計(編入生)  | 781,250         | 581,250        | 1,362,500        |                  |
|                       | その他の徴収金   | 教育後援会年会費        | 20,000         | —                | 20,000           |
|                       |           | 学生会年会費          | 10,000         | —                | 10,000           |
|                       |           | その他の徴収金計        | 30,000         | 0                | 30,000           |
|                       |           | 領域別交流会費(編入生のみ)  | 2,000          | —                | 2,000            |
|                       |           | 教育後援会入会金(編入生のみ) | 5,000          | —                | 5,000            |
| その他の徴収金計(編入生)         |           | 37,000          | 0              | 37,000           |                  |
| <b>合計(2・3・4年生)</b>    |           | <b>611,250</b>  | <b>581,250</b> | <b>1,192,500</b> |                  |
| <b>合計(編入生)</b>        |           | <b>818,250</b>  | <b>581,250</b> | <b>1,399,500</b> |                  |

②芸術学部 イラストレーション領域・美術領域・情報デザイン領域・空間デザイン領域

単位:円

| 学年                    | 学納金等      |                  | 令和6年度            |                  |                  |
|-----------------------|-----------|------------------|------------------|------------------|------------------|
|                       |           |                  | 【2期に分けて納入する場合】   |                  | 年額               |
|                       |           |                  | 前期               | 後期               |                  |
| 1年生                   | 学費        | 入学金              | 200,000          | —                | 200,000          |
|                       |           | 授業料              | 770,000          | 770,000          | 1,540,000        |
|                       |           | 教育充実費            | 31,250           | 31,250           | 62,500           |
|                       |           | 学費計              | 1,001,250        | 801,250          | 1,802,500        |
|                       | その他の徴収金   | 領域別交流会費          | 2,000            | —                | 2,000            |
|                       |           | 教育後援会入会金         | 5,000            | —                | 5,000            |
|                       |           | 教育後援会年会費         | 20,000           | —                | 20,000           |
|                       |           | 学生会年会費           | 10,000           | —                | 10,000           |
|                       |           | その他の徴収金計         | 37,000           | 0                | 37,000           |
|                       | <b>合計</b> |                  | <b>1,038,250</b> | <b>801,250</b>   | <b>1,839,500</b> |
| 2・3・4年生<br>/ 2・3年次編入生 | 学費        | 授業料              | 770,000          | 770,000          | 1,540,000        |
|                       |           | 教育充実費            | 31,250           | 31,250           | 62,500           |
|                       |           | 学費計              | 801,250          | 801,250          | 1,602,500        |
|                       |           | 入学金(編入生のみ)       | 200,000          | —                | 200,000          |
|                       | 学費計(編入生)  | 1,001,250        | 801,250          | 1,802,500        |                  |
|                       | その他の徴収金   | 教育後援会年会費         | 20,000           | —                | 20,000           |
|                       |           | 学生会年会費           | 10,000           | —                | 10,000           |
|                       |           | その他の徴収金計         | 30,000           | 0                | 30,000           |
|                       |           | 領域別交流会費(編入生のみ)   | 2,000            | —                | 2,000            |
|                       |           | 教育後援会入会金(編入生のみ)  | 5,000            | —                | 5,000            |
| その他の徴収金計(編入生)         |           | 37,000           | 0                | 37,000           |                  |
| <b>合計(2・3・4年生)</b>    |           | <b>831,250</b>   | <b>801,250</b>   | <b>1,632,500</b> |                  |
| <b>合計(編入生)</b>        |           | <b>1,038,250</b> | <b>801,250</b>   | <b>1,839,500</b> |                  |

③芸術学部 地域実践領域

単位:円

| 学年                    | 学納金等      |                    | 令和6年度          |                  |                  |
|-----------------------|-----------|--------------------|----------------|------------------|------------------|
|                       |           |                    | 【2期に分けて納入する場合】 |                  | 年額               |
|                       |           |                    | 前期             | 後期               |                  |
| 1年生                   | 学費        | 入学金                | 200,000        | —                | 200,000          |
|                       |           | 授業料                | 450,000        | 450,000          | 900,000          |
|                       |           | 教育充実費              | 31,250         | 31,250           | 62,500           |
|                       |           | 学費計                | 681,250        | 481,250          | 1,162,500        |
|                       | その他の徴収金   | 領域別交流会費            | 2,000          | —                | 2,000            |
|                       |           | 教育後援会入会金           | 5,000          | —                | 5,000            |
|                       |           | 教育後援会年会費           | 20,000         | —                | 20,000           |
|                       |           | 学生会年会費             | 10,000         | —                | 10,000           |
|                       |           | その他の徴収金計           | 37,000         | 0                | 37,000           |
|                       | <b>合計</b> |                    | <b>718,250</b> | <b>481,250</b>   | <b>1,199,500</b> |
| 2・3・4年生<br>/ 2・3年次編入生 | 学費        | 授業料                | 450,000        | 450,000          | 900,000          |
|                       |           | 教育充実費              | 31,250         | 31,250           | 62,500           |
|                       |           | 学費計                | 481,250        | 481,250          | 962,500          |
|                       |           | 入学金(編入生のみ)         | 200,000        | —                | 200,000          |
|                       | 学費計(編入生)  | 681,250            | 481,250        | 1,162,500        |                  |
|                       | その他の徴収金   | 教育後援会年会費           | 20,000         | —                | 20,000           |
|                       |           | 学生会年会費             | 10,000         | —                | 10,000           |
|                       |           | その他の徴収金計           | 30,000         | 0                | 30,000           |
|                       |           | 領域別交流会費(編入生のみ)     | 2,000          | —                | 2,000            |
|                       |           | 教育後援会入会金(3年次編入生のみ) | 5,000          | —                | 5,000            |
| その他の徴収金計(編入生)         |           | 37,000             | 0              | 37,000           |                  |
| <b>合計(2・3年生)</b>      |           | <b>511,250</b>     | <b>481,250</b> | <b>992,500</b>   |                  |
| <b>合計(編入生)</b>        |           | <b>718,250</b>     | <b>481,250</b> | <b>1,199,500</b> |                  |

(2) 幼稚園の学納金等【令和6年度】

単位:円

| 学納金等      | 満3歳児           | 3歳児            | 4歳児            | 5歳児            |
|-----------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 入園料       | 80,000         | 80,000         | 80,000         | 80,000         |
| 保育料       | 308,400        | 308,400        | 308,400        | 308,400        |
| 絵本代       | -              | 5,400          | 5,400          | 5,400          |
| 保護者会費     | -              | 18,000         | 18,000         | 18,000         |
| 保育用品代     | 6,000          | 7,200          | 3,600          | 2,400          |
| 給食費       | -              | 18,000         | 30,000         | 30,000         |
| その他の園納金計  | 6,000          | 48,600         | 57,000         | 55,800         |
| <b>合計</b> | <b>394,400</b> | <b>437,000</b> | <b>445,400</b> | <b>444,200</b> |

入園料80,000円は、入園児のみの納付です。

単位:円

|                |          |              |
|----------------|----------|--------------|
| 令和6年度「わかばぐみ」   | 保育料(利用料) | 1,000(1日につき) |
| ※個人により料金が異なります |          |              |

### Ⅲ 財務の概要

#### 1 令和6年度決算の概要

##### (1) 資金収支計算書（活動区分資金収支計算書含む）

資金収支計算書は、資金活動の安全性を表します。そのため、当該年度の諸活動に対応する全ての収入と支出の内容、すなわち本法人に流入した資金と流出した資金の内容と、当該年度における支払資金（現金及びいつでも引き出すことが可能な預貯金）の顛末を明らかにしています。

また、近年の施設設備の高度化と財務活動の多様化に対応して活動区分ごとに現金預金の流れを区分した活動区分資金収支計算書は、資金収支計算書の附属表として、資金収支計算書の決算額を教育活動、施設整備等活動、その他の活動という3つの活動に区分し、活動ごとの資金の流れを明らかにしています。企業会計でいうところのキャッシュ・フロー（CF）計算書に相当するものです。

##### (a) 収入の部

収入の部合計から前年度繰越支払資金を差し引いた資金収入は、予算額 2,552,936 千円対して 83,654 千円（3.2%）増の 2,636,590 千円、学生生徒等納付金収入から借入金等収入までの収入（実収入）の合計は、予算額 1,915,538 千円に対して 7,699 千円（0.4%）増の 1,923,237 千円でした。実収入合計は前年度に比べて 11,124 千円減少しました。

実収入においては、寄付金と補助金収入、付随事業・収益事業収入、雑収入を除く科目で予算額を上回る収入がありました。なお、令和6年度の借入金等収入はありません。

実収入に占める割合が学生生徒等納付金収入の 80.8%、補助金収入が 12.9%と、この2つの科目で収入の9割以上を占める構造には変化はありません。

##### (b) 支出の部

支出の部合計から翌年度繰越支払資金を差し引いた資金支出は、予算額 2,691,473 千円に対して 36,228 千円（1.4%）減の 2,655,245 千円、人件費支出から設備関係支出までの支出（実支出）の合計は、予算額 2,049,649 千円に対して 98,365 千円（4.8%）減の 1,951,284 千円でした。実支出においては、人件費支出と教育研究経費支出、施設関係支出、設備関係支出で予算額を下回りました。

令和6年度は、大学において、本館棟・図書館棟トイレ・内部改修工事、消防機器設備更新修繕、実習Ⅰ棟空調機更新工事に係る支出、幼稚園において第1保育棟の1階保育室内装改修工事、管理棟空調機更新工事に係る支出などを行いました。なお、教育研究経費支出に占める奨学費支出の割合は 42.7%で、大学における給付奨学生数と特待生数の適正化により、令和3年度 51.3%、令和4年度 48.2%、令和5年度 44.1%と減少傾向にあります。

##### (c) 活動区分資金収支計算、収支、翌年度繰越支払資金

活動区分資金収支計算書において、本業の教育活動の資金収支差額は 216,610 千円で前年度の 314,656 千円から 45.3%減と減少しました。

一方、施設整備等活動は、施設設備の整備を自己資金で賄えなかったことから資金収支差額が 88,244 千円の支出超過、その他の活動も借入金等返済支出の計上額が大きいことなどから資金収支差額が 147,021 千円の支出超過となりました。結果としては、本業の教育活動で生み出したキャッシュで教育活動以外の活動を賄うことが出来なかったことから、支払資金は 18,655 千円減少しました。また、支払資金の増減額に前年度繰越支払資金を加えた翌年度繰越支払資金は、予算額 869,714 千円に対して 119,882 千円（13.8%）増の 989,596 千円でした。

## 収入の部

単位:千円

|               | 予算額              | 決算額              | 差異            | 構成比           |
|---------------|------------------|------------------|---------------|---------------|
| ①学生生徒等納付金収入   | 1,524,021        | 1,553,993        | 29,972        | 80.8%         |
| ②手数料収入        | 13,089           | 16,583           | 3,494         | 0.9%          |
| ③寄付金収入 ※      | 18,958           | 16,615           | △ 2,343       | 0.9%          |
| ④補助金収入 ※      | 251,608          | 247,895          | △ 3,713       | 12.9%         |
| ⑤資産売却収入       | 0                | 0                | 0             | 0.0%          |
| ⑥付随事業・収益事業収入  | 42,608           | 21,672           | △ 20,936      | 1.1%          |
| ⑦受取利息・配当金収入   | 439              | 627              | 188           | 0.0%          |
| ⑧雑収入          | 64,815           | 65,852           | 1,037         | 3.4%          |
| ⑨借入金等収入       | 0                | 0                | 0             | 0.0%          |
| <b>実収入合計</b>  | <b>1,915,538</b> | <b>1,923,237</b> | <b>7,699</b>  | <b>100.0%</b> |
| ⑩前受金収入        | 629,372          | 639,309          | 9,937         |               |
| ⑪その他の収入 ※     | 702,369          | 768,515          | 66,146        |               |
| ⑫資金収入調整勘定 ※   | △ 694,343        | △ 694,472        | △ 129         |               |
| 前年度繰越支払資金     | 1,008,251        | 1,008,251        |               |               |
| <b>収入の部合計</b> | <b>3,561,187</b> | <b>3,644,842</b> | <b>83,655</b> |               |

## 支出の部

単位:千円

|               | 予算額              | 決算額              | 差異              | 構成比           |
|---------------|------------------|------------------|-----------------|---------------|
| ⑬人件費支出        | 1,042,667        | 1,028,493        | △ 14,174        | 52.7%         |
| ⑭教育研究経費支出     | 614,191          | 539,387          | △ 74,804        | 27.6%         |
| ⑮管理経費支出       | 141,711          | 144,294          | 2,583           | 7.4%          |
| ⑯借入金等利息支出     | 6,482            | 6,638            | 156             | 0.3%          |
| ⑰借入金等返済支出     | 145,756          | 145,772          | 16              | 7.5%          |
| ⑱施設関係支出       | 73,444           | 64,943           | △ 8,501         | 3.3%          |
| ⑲設備関係支出       | 25,398           | 21,757           | △ 3,641         | 1.1%          |
| <b>実支出合計</b>  | <b>2,049,649</b> | <b>1,951,284</b> | <b>△ 98,365</b> | <b>100.0%</b> |
| ⑳資産運用支出 ※     | 12,558           | 1,454            | △ 11,104        |               |
| ㉑その他の支出 ※     | 772,581          | 851,558          | 78,977          |               |
| ㉒予備費          | 10,000           |                  | △ 10,000        |               |
| ㉓資金支出調整勘定 ※   | △ 153,315        | △ 149,051        | 4,264           |               |
| 翌年度繰越支払資金     | 869,714          | 989,596          | 119,883         |               |
| <b>支出の部合計</b> | <b>3,561,187</b> | <b>3,644,842</b> | <b>83,655</b>   |               |

注1) ※印のある科目は、複数の活動区分に分かれます。

## 活動区分資金収支計算書

単位:千円

|           | 予算額           | 決算額            | 差異            | 備考       |        |
|-----------|---------------|----------------|---------------|----------|--------|
| 教育活動      | 教育活動資金収入計     | 1,910,049      | 1,922,390     | 12,341   | ①②③④⑥⑧ |
|           | 教育活動資金支出計     | 1,808,569      | 1,712,175     | △ 96,394 | ⑬⑭⑮    |
|           | 差引            | 101,480        | 210,216       | 108,736  |        |
|           | 調整勘定等         | 31,482         | 6,394         | △ 25,088 | ⑩⑪⑫⑲⑳  |
|           | 教育活動資金収支差額    | 132,962        | 216,610       | 83,648   |        |
| 施設整備等活動   | 施設整備等活動資金収入計  | 34,860         | 220           | △ 34,640 | ③④     |
|           | 施設整備等活動資金支出計  | 99,059         | 86,703        | △ 12,356 | ⑱⑲⑳    |
|           | 差引            | △ 64,199       | △ 86,483      | △ 22,284 |        |
|           | 調整勘定等         | △ 1,005        | △ 1,762       | △ 757    | ⑫⑲⑳    |
|           | 施設整備等活動資金収支差額 | △ 65,204       | △ 88,244      | △ 23,040 |        |
| <b>小計</b> | <b>67,759</b> | <b>128,366</b> | <b>60,607</b> |          |        |
| その他の活動    | その他の活動資金収入計   | 579,796        | 676,040       | 96,244   | ⑦⑨⑪    |
|           | その他の活動資金支出計   | 786,136        | 823,034       | 36,898   | ⑯⑰⑳㉑   |
|           | 差引            | △ 206,340      | △ 146,994     | 59,346   |        |
|           | 調整勘定等         | 44             | △ 27          | △ 71     |        |
|           | その他の活動資金収支差額  | △ 206,296      | △ 147,021     | 59,275   |        |
| 支払資金の増減額  | △ 138,538     | △ 18,655       | 119,883       |          |        |
| 前年度繰越支払資金 | 1,008,251     | 1,008,251      | 0             |          |        |
| 翌年度繰越支払資金 | 869,714       | 989,596        | 119,883       |          |        |

## (2) 事業活動収支計算書

資金収支計算書が資金活動の安全性を表すのに対して、事業活動収支計算書は採算性、財政の健全性の有無を表します。事業活動収支計算書の目的は、①1年間の活動に対応する事業活動収入と事業活動支出の内容を明らかにすること、②基本金組入後の収支均衡の状態を明らかにすることです。①の目的に沿って事業活動収入と事業活動支出を、教育活動収支、教育活動外収支（教育活動以外の経常的な活動）、特別収支（臨時的な活動）に区分して表示するとともに、②の目的に沿って当年度収支差額により収支均衡の状態を表示しています。

また、事業活動収支計算書は、収益と費用を対比することで利益を計算する企業会計の損益計算書に相当するものです。学校法人は、営利を目的とするものではありませんが、永続的な学校法人の運営には収支バランスが重要な条件となります。長期的な支出の超過（純資産の食い潰し）を生じることが、その永続性を脅かすものとして許されません。

### (a) 事業活動収入

事業活動収入は、学校法人の負債とならない収入、すなわち全て自己資金となる収入です。純資産が増加する取引であり、資金収支計算における借入金等収入、前受金収入及びその他の収入は、学校法人の負債となる収入の増加であるため、事業活動収入とはなりません。

事業活動収入は、学生生徒等納付金や補助金、雑収入など資金収支計算書とほぼ同様の科目と事業活動収入における特有の科目である現物寄付、徴収不能引当金戻入額などを計上します。予算額 1,917,380 千円に対して 6,884 千円(0.4%)増の 1,924,263 千円、前年度比で 11,232 千円(0.6%)減でした。

### (b) 事業活動支出

事業活動支出は、学校法人の全ての支出のうち純資産の減少となる支出をいいます。資金収支計算における借入金等返済支出、施設関係支出、設備関係支出、資産運用支出及びその他の支出は、資産の減少と増加、資産の減少と負債の減少が等価の関係で生じた取引で、いずれも純資産の減少にはつながらないため、事業活動支出とはなりません。

事業活動支出は、人件費など資金収支計算とほぼ同様の科目と事業活動支出における特有の科目である退職給与引当金繰入額、減価償却額、資産処分差額、徴収不能額等をもって計算し、予算額 1,955,975 千円に対して△100,937 千円(5.4%)減の 1,855,038 千円、前年度比で 26,538 千円(1.5%)増でした。

### (c) 収支

経常的な収支のうち、本業の教育活動の収支状況を表す教育活動収支差額は、予算額△28,223 千円に対し 102,844 千円(164.4%)増、前年度比 37,440 千円(50.1%)減の 74,621 千円、経常的な収支のうち、財務活動による収支状況を表す教育活動外収支差額は、予算額△6,043 千円に対し 32 千円(0.5%)増の△6,011 千円、教育活動収支差額と教育活動外収支差額を合わせた経常収支差額は、予算額△34,266 千円に対し、102,876 千円(100.2%)増、前年度比で 36,974 千円(53.9%)減の 68,610 千円でした。経常的な収支は引き続き、収入超過の状態を維持しています。

なお、臨時的な収支を表す特別収支差額は、予算額 5,671 千円に対し 5,055 千円減の 616 千円でした。

また、重要な経営指標である基本金組入前当年度収支差額は、教育活動収支の収入超過額が増加したことにより、予算額△38,595 千円から 107,821 千円(79.4%)増の 69,226 千円となり、平成25年度から継続して収入超過の状態を維持しています。

しかしながら、基本金組入後の当年度収支差額は△133,347 千円の支出超過となり、収支は均衡しない結果となりました。

さらに、前年度までに繰越した収支差額に当年度収支差額を加算して計上する翌年度繰越収支差額は、△5,518,618 千円でした。

■令和6年度事業活動収支計算書

単位:千円

| 科目            |           | 予算額          | 決算額         | 差異        |          |
|---------------|-----------|--------------|-------------|-----------|----------|
| 教育活動収支        | 事業活動収入の部  | 学生生徒等納付金     | 1,524,021   | 1,553,993 | 29,972   |
|               |           | 手数料          | 13,089      | 16,583    | 3,494    |
|               |           | 寄付金          | 14,118      | 16,664    | 2,546    |
|               |           | 経常費等補助金      | 251,398     | 247,675   | △ 3,723  |
|               |           | 付随事業収入       | 42,608      | 21,672    | △ 20,936 |
|               |           | 雑収入          | 64,815      | 65,972    | 1,157    |
|               |           | 教育活動収入計      | 1,910,049   | 1,922,559 | 12,510   |
|               | 事業活動支出の部  | 人件費          | 1,028,800   | 1,013,963 | △ 14,837 |
|               |           | うち退職給与引当金繰入額 | 2,610       | 3,078     | 468      |
|               |           | 教育研究経費       | 756,066     | 680,776   | △ 75,290 |
|               |           | うち減価償却額      | 141,875     | 141,339   | △ 536    |
|               |           | 管理経費         | 151,845     | 153,099   | 1,254    |
|               |           | うち減価償却額      | 10,134      | 8,805     | △ 1,329  |
|               |           | 徴収不能額等       | 1,561       | 100       | △ 1,461  |
| 教育活動支出計       | 1,938,272 | 1,847,938    | △ 20,162    |           |          |
| 教育活動収支差額      |           | △ 28,223     | 74,621      | 102,844   |          |
| 教育活動外収支       | の事業収入の部   | 受取利息・配当金     | 439         | 627       | 188      |
|               |           | 教育活動外収入計     | 439         | 627       | 188      |
|               | の事業支出の部   | 借入金等利息       | 6,482       | 6,638     | 156      |
|               |           | 教育活動外支出計     | 6,482       | 6,638     | 156      |
| 教育活動外収支差額     |           | △ 6,043      | △ 6,011     | 32        |          |
| 経常収支差額        |           | △ 34,266     | 68,610      | 102,875   |          |
| 特別収支          | 事業活動収入の部  | 資産売却差額       | 0           | 0         | 0        |
|               |           | その他の特別収入     | 6,892       | 1,077     | △ 5,815  |
|               |           | うち施設設備寄付金    | 4,840       | 0         | △ 4,840  |
|               |           | うち現物寄付       | 1,842       | 856       | △ 986    |
|               |           | うち施設設備補助金    | 210         | 220       | 10       |
|               |           | 過年度修正額       | 0           | 2         | 2        |
|               | 特別収入計     | 6,892        | 1,077       | △ 5,815   |          |
| の事業支出の部       | 資産処分差額    | 1,221        | 462         | △ 759     |          |
| 特別支出計         | 1,221     | 462          | 507         |           |          |
| 特別収支差額        |           | 5,671        | 616         | △ 5,055   |          |
| 予備費           |           | 10,000       |             | △ 10,000  |          |
| 基本金組入前当年度収支差額 |           | △ 38,595     | 69,226      | 107,821   |          |
| 基本金組入額合計      |           | △ 222,733    | △ 202,572   | 20,161    |          |
| 当年度収支差額       |           | △ 261,328    | △ 133,347   | 127,981   |          |
| 前年度繰越収支差額     |           | △ 6,042,741  | △ 5,385,272 | 657,469   |          |
| 基本金取崩額        |           | 0            | 0           | 0         |          |
| 翌年度繰越収支差額     |           | △ 6,304,069  | △ 5,518,618 | 785,451   |          |
| 事業活動収入計       |           | 1,917,380    | 1,924,263   | 6,883     |          |
| 事業活動支出計       |           | 1,955,975    | 1,855,038   | △ 100,937 |          |

### (3) 貸借対照表

貸借対照表は、事業活動収支計算書とあわせて財政の状態を表す計算書類ですが、事業活動収支計算が1年間の事業活動収入と事業活動支出の内容と収支均衡の状態を明らかにすることが目的であるのに対し、貸借対照表は、年度末における資産、負債、純資産（基本金・繰越収支差額）の状態、すなわち年度末時点でどのような資産がどれだけあり、どのような負債がいくらあるかなど、学校法人の保有する財産の権利義務関係（保有状況）を表示し、その結果、純資産（正味財産）がいくらになっているか（財政状態）を表すものです。

#### (a) 資産の部

資産の部は、前年度末 8,971,718 千円に対して、119,030 千円（1.3%）減の 8,852,588 千円です。資産のうち建物は、大学における本館棟・図書館棟トイレ・内部改修工事、消防機器設備更新修繕、実習Ⅰ棟空調機更新工事に係る支出、幼稚園における第1保育棟の1階保育室内装改修工事、管理棟空調機更新工事による増加を減価償却額が下回ったことにより減少しました。また、現金預金は 18,655 千円減少しました。

その結果、前年度に比べて、固定資産は 65,511 千円（0.8%）減少、流動資産は 53,619 千円（4.8%）減少、資産の部合計は前年度末に比べて減少しました。

#### (b) 負債の部

負債の部は、前年度末 2,414,065 千円に対して 188,356 千円（7.8%）減の 2,225,709 千円です。負債のうち、固定負債は、長期借入金の減少などにより前年度末 1,417,458 千円に対して 78,450 千円（5.5%）減の 1,339,007 千円です。また、流動負債は未払金や前受金等の増加により、前年度末 996,607 千円に対して 109,906 千円（12.4%）減の 886,701 千円です。その結果、負債の部合計は前年度末に比べて減少しました。

#### (c) 純資産の部

資産が 119,130 千円減少し、負債が 188,356 千円減少したことにより、純資産（基本金＋繰越収支差額）は、前年度末 6,557,653 千円に対して、69,226 千円（1.1%）増の 6,626,879 千円でした。

### 【注釈】

- 1 金額は、千円未満の端数については四捨五入し、全て千円単位で表記しているため、この資料内の表の合計欄の金額やこの資料と計算書類の金額が一致しない場合があります。
- 2 この資料でいう予算額とは、令和6年度補正後の予算のことをいいます。
- 3 決算と予算との差異は、計算書類では「予算額－決算額」で計算し表示しますが、この計算方法・表示方法では、決算額が予算額を超過した場合に「△（マイナス）」として表示され誤解を生じる場合がありますので、この資料では「決算額－予算額」で計算し表示しています。

■ 貸借対照表 (令和7年3月31日)

単位：千円

| 科 目                |                  | 本年度末             | 前年度末             | 増減        |
|--------------------|------------------|------------------|------------------|-----------|
| 資産の部               | 固定資産             | 7,799,302        | 7,864,814        | △ 65,511  |
|                    | 有形固定資産           | 7,460,423        | 7,523,472        | △ 63,049  |
|                    | 土地               | 4,514,109        | 4,514,109        | 0         |
|                    | 建物               | 2,482,219        | 2,558,543        | △ 76,324  |
|                    | 構築物              | 154,168          | 163,562          | △ 9,393   |
|                    | 教育研究用機器備品        | 75,031           | 82,509           | △ 7,478   |
|                    | その他              | 234,896          | 204,749          | 30,147    |
|                    | 特定資産             | 314,824          | 313,371          | 1,453     |
|                    | 退職給与引当特定資産       | 60,858           | 60,858           | 0         |
|                    | 大学同窓会奨学基金引当特定資産  | 53,548           | 52,100           | 1,448     |
|                    | 減価償却引当特定資産       | 200,417          | 200,414          | 3         |
|                    | その他の固定資産         | 24,055           | 27,970           | △ 3,915   |
|                    | 流動資産             | 1,053,286        | 1,106,905        | △ 53,619  |
|                    | 現金預金             | 989,596          | 1,008,251        | △ 18,655  |
| 未収入金               | 62,188           | 93,202           | △ 31,014         |           |
| その他                | 1,501            | 5,452            | △ 3,951          |           |
| <b>資産の部合計</b>      | <b>8,852,588</b> | <b>8,971,718</b> | <b>△ 119,130</b> |           |
| 負債の部               | 固定負債             | 1,339,008        | 1,417,458        | △ 78,450  |
|                    | 長期借入金            | 915,192          | 976,572          | △ 61,380  |
|                    | 長期未払金            | 0                | 1,171            | △ 1,171   |
|                    | 退職給与引当金          | 423,816          | 438,345          | △ 14,529  |
|                    | 預かり保証金           | 0                | 1,370            | △ 1,370   |
|                    | 流動負債             | 886,701          | 996,607          | △ 109,906 |
|                    | 短期借入金            | 61,380           | 145,772          | △ 84,392  |
|                    | 前受金              | 639,309          | 632,283          | 7,026     |
| その他                | 186,012          | 218,552          | △ 32,540         |           |
| <b>負債の部合計</b>      | <b>2,225,709</b> | <b>2,414,065</b> | <b>△ 188,356</b> |           |
| 純資産の部              | 基本金              | 12,145,497       | 11,942,925       | 202,572   |
|                    | 第1号基本金           | 12,029,497       | 11,826,925       | 202,572   |
|                    | 第4号基本金           | 116,000          | 116,000          | 0         |
|                    | 繰越収支差額           | △ 5,518,618      | △ 5,385,272      | △ 133,347 |
|                    | 翌年度繰越収支差額        | △ 5,518,618      | △ 5,385,272      | △ 133,347 |
| <b>純資産の部合計</b>     | <b>6,626,879</b> | <b>6,557,653</b> | <b>69,226</b>    |           |
| <b>負債及び純資産の部合計</b> | <b>8,852,588</b> | <b>8,971,718</b> | <b>△ 119,130</b> |           |

## 2 経年比較

### (1) 資金収支の推移

単位 千円

| 科目                      |                         | 令和3年度     | 令和4年度     | 令和5年度     | 令和6年度     |
|-------------------------|-------------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 収入の部                    | 学生生徒等納付金収入              | 1,432,074 | 1,451,749 | 1,501,738 | 1,553,993 |
|                         | 手数料収入                   | 14,918    | 14,244    | 13,619    | 16,583    |
|                         | 寄付金収入                   | 25,320    | 24,645    | 38,004    | 16,615    |
|                         | 補助金収入                   | 290,608   | 283,844   | 267,246   | 247,895   |
|                         | 資産売却収入                  | 0         | 0         | 1,647     | 0         |
|                         | 付随事業・収益事業収入             | 16,449    | 18,597    | 16,979    | 21,672    |
|                         | 受取利息・配当金収入              | 29        | 14        | 15        | 627       |
|                         | 雑収入                     | 48,963    | 40,118    | 95,112    | 65,4852   |
|                         | 借入金等収入                  | 60,000    | 0         | 0         | 0         |
|                         | 前受金収入                   | 551,540   | 597,641   | 632,283   | 639,309   |
|                         | その他の収入                  | 677,248   | 641,753   | 731,508   | 768,515   |
|                         | 資金収入調整勘定                | △ 621,077 | △ 585,518 | △ 691,324 | △ 694,472 |
|                         | 前年度繰越支払資金               | 823,197   | 884,075   | 893,863   | 1,008,251 |
|                         | 収入の部合計                  | 3,319,268 | 3,371,162 | 3,500,692 | 3,644,842 |
| 資金収入計(収入の部合計－前年度繰越支払資金) |                         | 2,496,071 | 2,487,087 | 2,606,829 | 2,636,590 |
| 支出の部                    | 人件費支出                   | 868,812   | 872,860   | 1,008,875 | 1,028,493 |
|                         | 教育研究経費支出                | 549,888   | 539,712   | 525,067   | 539,387   |
|                         | 管理経費支出                  | 101,702   | 123,195   | 132,876   | 144,294   |
|                         | 借入金等利息出                 | 8,839     | 7,637     | 6,491     | 6,638     |
|                         | 借入金等返済支出                | 215,784   | 169,884   | 142,148   | 145,772   |
|                         | 施設関係出                   | 149,698   | 71,798    | 27,558    | 64,943    |
|                         | 設備関係支出                  | 24,748    | 29,283    | 30,534    | 21,757    |
|                         | 資産運用支出                  | 3,340     | 2,056     | 82,283    | 1,454     |
|                         | その他の支出                  | 680,949   | 759,426   | 722,347   | 851,558   |
|                         | 予備費                     | 0         | 0         | 0         | 0         |
|                         | 資金支出調整勘定                | △ 168,566 | △ 98,552  | △ 185,738 | △ 149,051 |
|                         | 翌年度繰越支払資金               | 884,075   | 893,863   | 1,008,251 | 989,596   |
|                         | 支出の部合計                  | 3,319,268 | 3,371,162 | 3,500,692 | 3,644,842 |
|                         | 資金支出計(支出の部合計－翌年度繰越支払資金) |           | 2,435,193 | 2,477,299 | 2,492,441 |
| 資金収入計－資金支出計             |                         | 60,878    | 9,788     | 114,388   | △ 18,655  |

注1 令和2年度の借入金等収入及び借入金等返済支出には市中金融機関借換額 330,000 千円を含む。

注2 令和3年度の借入金等収入及び借入金等返済支出には市中金融機関借換額 48,400 千円を含む。

## (2) 活動区分資金収支の推移

単位 千

円

| 科目                           |               | 令和3年度          | 令和4年度     | 令和5年度     | 令和6年度     |           |
|------------------------------|---------------|----------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 教育活動による資金収支                  | 収入            | 学生生徒等納付金収入     | 1,432,074 | 1,451,749 | 1,501,738 | 1,553,993 |
|                              |               | 手数料収入          | 14,918    | 14,244    | 13,619    | 16,583    |
|                              |               | 特別寄付金収入        | 16,541    | 17,989    | 37,887    | 16,474    |
|                              |               | 一般寄付金収入        | 28        | 1,910     | 118       | 141       |
|                              |               | 経常費等補助金収入      | 286,994   | 283,604   | 266,779   | 247,675   |
|                              |               | 付随事業収入         | 16,449    | 18,597    | 16,979    | 21,672    |
|                              |               | 雑収入            | 48,840    | 39,958    | 95,112    | 65,852    |
|                              | 教育活動資金収入計     | 1,815,844      | 1,828,051 | 1,932,231 | 1,922,390 |           |
|                              | 支出            | 人件費支出          | 868,812   | 872,860   | 1,008,875 | 1,028,493 |
|                              |               | 教育研究経費支出       | 549,888   | 539,712   | 525,067   | 539,387   |
|                              |               | 管理経費支出         | 101,702   | 123,195   | 132,876   | 144,294   |
|                              |               | 教育活動資金支出計      | 1,520,401 | 1,535,767 | 1,666,818 | 1,712,175 |
|                              | 差引            | 295,443        | 292,284   | 265,413   | 210,216   |           |
|                              | 調整勘定等         | △ 15,915       | 38,125    | 49,243    | 6,394     |           |
| 教育活動資金収支差額                   | 279,527       | 330,409        | 314,656   | 216,610   |           |           |
| 施設整備等活動による資金収支               | 収入            | 施設設備補助金収入      | 8,751     | 4,746     | 468       | 220       |
|                              |               | 施設設備売却金収入      | 3,614     | 240       | 1,647     | 0         |
|                              |               | 減価償却引当特定資産取崩収入 | 60,174    | 0         | 50,000    | 0         |
|                              |               | 施設整備等活動資金収入計   | 72,539    | 4,986     | 52,115    | 220       |
|                              | 支出            | 施設関係支出         | 149,698   | 71,798    | 27,558    | 64,943    |
|                              |               | 設備関係支出         | 24,748    | 29,283    | 30,534    | 21,757    |
|                              |               | 減価償却引当特定資産繰入支出 | 15        | 4         | 50,004    | 3         |
|                              |               | 施設整備等活動資金支出計   | 174,460   | 101,084   | 108,096   | 86,703    |
|                              | 差引            | △ 101,921      | △ 96,098  | △ 55,981  | △ 86,702  |           |
|                              | 調整勘定等         | 45,061         | △ 55,192  | 10,225    | △ 1,762   |           |
|                              | 施設設備等活動資金収支差額 | △ 56,861       | △ 151,290 | △ 45,757  | △ 88,244  |           |
| 小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額) |               | 222,667        | 179,119   | 268,900   | 128,366   |           |
| その他の活動による資金収支                | 収入            | 小計             | 635,968   | 594,979   | 649,211   | 675,413   |
|                              |               | うち借入金等収入       | 60,000    | 0         | 0         | 0         |
|                              |               | 受取利息・配当金収入     | 29        | 14        | 15        | 627       |
|                              |               | 過年度修正収入        | 122       | 160       | 0         | 0         |
|                              | その他の活動資金収入計   | 636,119        | 595,153   | 649,226   | 676,040   |           |
|                              | 支出            | 小計             | 788,943   | 756,792   | 797,291   | 816,396   |
|                              |               | うち借入金等返済支出     | 215,784   | 169,884   | 142,148   | 145,772   |
|                              |               | 借入金等利息支出       | 8,839     | 7,637     | 6,491     | 6,638     |
|                              |               | その他の活動資金支出計    | 797,782   | 764,429   | 803,782   | 823,034   |
|                              | 差引            | △ 161,663      | △ 169,276 | △ 154,555 | △ 146,994 |           |
| 調整勘定等                        | △ 126         | △ 55           | 44        | △ 27      |           |           |
| その他の活動資金収支差額                 | △ 161,789     | △ 169,331      | △ 154,512 | △ 147,021 |           |           |
| 支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)    |               | 60,878         | 9,788     | 114,388   | △ 18,655  |           |
| 前年度繰越支払資金                    |               | 823,197        | 884,075   | 893,863   | 1,008,251 |           |
| 翌年度繰越支払資金                    |               | 884,075        | 893,863   | 1,008,251 | 989,596   |           |

(3) 事業活動収支の推移

単位 千円

| 科目            |           | 令和3年度        | 令和4年度       | 令和5年度       | 令和6年度       |           |
|---------------|-----------|--------------|-------------|-------------|-------------|-----------|
| 教育活動収支        | 事業活動収入の部  | 学生生徒等納付金     | 1,432,074   | 1,451,749   | 1,501,738   | 1,553,993 |
|               |           | 手数料          | 14,918      | 14,244      | 13,619      | 16,583    |
|               |           | 寄付金          | 16,569      | 19,935      | 38,004      | 16,664    |
|               |           | 経常費等補助金      | 286,994     | 283,604     | 266,779     | 247,675   |
|               |           | 付随事業収入       | 16,449      | 18,597      | 16,979      | 21,672    |
|               |           | 雑収入          | 48,960      | 40,078      | 95,222      | 65,972    |
|               |           | 教育活動収入計      | 1,815,964   | 1,828,207   | 1,932,341   | 1,922,559 |
|               | 事業活動支出の部  | 人件費支出        | 859,760     | 875,759     | 1,014,482   | 1,013,964 |
|               |           | うち退職給与引当金繰入額 | 30,990      | 43,054      | 106,143     | 56,843    |
|               |           | うち退職金        | 8,170       | △ 39        | 4,716       | 3,078     |
|               |           | 教育研究経費       | 685,386     | 678,369     | 662,735     | 680,776   |
|               |           | うち減価償却額      | 135,498     | 138,621     | 137,668     | 141,339   |
|               |           | 管理経費         | 111,836     | 133,316     | 142,483     | 153,099   |
|               |           | うち減価償却額      | 10,134      | 10,121      | 9,607       | 8,805     |
| 徴収不能額等        | 7,229     | 1,582        | 581         | 100         |             |           |
| 教育活動支出計       | 1,664,211 | 1,689,026    | 1,820,281   | 1,847,938   |             |           |
| 教育活動収支差額      |           | 151,754      | 139,181     | 112,060     | 74,621      |           |
| 教育活動外収支       | 入の部       | 受取利息・配当金     | 29          | 14          | 15          | 627       |
|               |           | その他の教育活動外収入  | 0           | 0           | 0           | 0         |
|               |           | 教育活動外収入計     | 29          | 14          | 15          | 627       |
|               | 出の部       | 借入金等利息       | 8,839       | 7,637       | 6,491       | 6,638     |
|               |           | その他の教育活動外支出  | 0           | 0           | 0           | 0         |
|               |           | 教育活動外支出計     | 8,839       | 7,637       | 6,491       | 6,638     |
| 教育活動外収支差額     |           | △ 8,810      | △ 7,623     | △ 6,476     | △ 6,011     |           |
| 経常収支差額        |           | 142,943      | 131,558     | 105,584     | 68,610      |           |
| 特別収支          | 事業活動収入の部  | 資産売却差額       | 0           | 0           | 0           | 0         |
|               |           | その他の特別収入     | 14,329      | 8,044       | 3,139       | 1,077     |
|               |           | うち施設設備寄付金    | 8,751       | 4,746       | 0           | 0         |
|               |           | うち施設設備補助金    | 3,614       | 240         | 468         | 220       |
|               | 特別収入計     | 14,329       | 8,044       | 3,139       | 1,077       |           |
|               | 事業活動支出の部  | 資産処分差額       | 966         | 10,991      | 1,584       | 462       |
|               |           | その他の特別支出     | 0           | 3           | 144         | 0         |
| 特別支出計         |           | 966          | 10,994      | 1,728       | 462         |           |
| 特別収支差額        |           | 13,363       | △ 2,950     | 1,412       | 616         |           |
| 〔予備費〕         |           | ( 0)         | ( 0)        | ( 0)        | ( 0)        |           |
| 基本金組入前当年度収支差額 |           | 156,306      | 128,608     | 106,996     | 69,226      |           |
| 基本金組入額合計      |           | △ 299,180    | △ 305,200   | △ 122,347   | △ 202,572   |           |
| 当年度収支差額       |           | △ 142,873    | △ 176,592   | △ 15,351    | △ 133,347   |           |
| 前年度繰越収支差額     |           | △ 5,075,176  | △ 5,218,049 | △ 5,369,921 | △ 5,385,272 |           |
| 基本金取崩額        |           | 0            | 24,721      | 0           | 0           |           |
| 翌年度繰越収支差額     |           | △ 5,218,049  | △ 5,369,921 | △ 5,385,272 | △ 5,518,618 |           |
| (参考)          |           |              |             |             |             |           |
| 事業活動収入計       |           | 1,830,322    | 1,836,265   | 1,935,496   | 1,924,264   |           |
| 事業活動支出計       |           | 1,674,015    | 1,707,657   | 1,828,500   | 1,855,038   |           |

## (4) 貸借対照表の推移

単位 千円

|             |                 | 令和3年度       | 令和4年度       | 令和5年度       | 令和6年度       |
|-------------|-----------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 資産の部        | 固定資産            | 8,009,350   | 7,953,320   | 7,864,814   | 7,799,302   |
|             | 有形固定資産          | 7,668,985   | 7,613,230   | 7,523,472   | 7,460,423   |
|             | 土地              | 4,514,109   | 4,514,109   | 4,514,109   | 4,514,109   |
|             | 建物              | 2,688,704   | 2,643,262   | 2,558,543   | 2,482,219   |
|             | 構築物             | 182,062     | 171,552     | 163,562     | 154,168     |
|             | 教育研究用機器備品       | 83,225      | 80,763      | 82,509      | 75,031      |
|             | 管理用機器備品         | 6,205       | 8,244       | 7,734       | 6,479       |
|             | 図書              | 190,094     | 191,904     | 194,771     | 197,534     |
|             | 車両              | 4,586       | 3,415       | 2,244       | 1,073       |
|             | 建設仮勘定           | 0           | 0           | 0           | 29,810      |
|             | 特定資産            | 300,519     | 301,645     | 313,371     | 314,824     |
|             | 退職給与引当特定資産      | 50,855      | 50,856      | 60,858      | 60,858      |
|             | 大学同窓会奨学基金引当特定資産 | 49,257      | 50,378      | 52,100      | 53,548      |
|             | 減価償却引当特定資産      | 200,407     | 200,411     | 200,414     | 200,417     |
|             | その他の固定資産        | 39,846      | 38,445      | 27,970      | 24,055      |
|             | 流動資産            | 933,078     | 934,383     | 1,106,905   | 1,053,286   |
|             | 現金預金            | 884,075     | 893,863     | 1,008,251   | 989,596     |
| 未収入金        | 46,774          | 32,397      | 93,202      | 62,188      |             |
| 前払金         | 2,229           | 6,026       | 5,452       | 1,501       |             |
| 短期貸付金       | 0               | 0           | 0           | 0           |             |
| 仮払金         | 0               | 0           | 0           | 0           |             |
| 立替金         | 0               | 2,096       | 0           | 0           |             |
| 資産の部合計      | 8,942,428       | 8,887,702   | 8,971,718   | 8,852,588   |             |
| 負債の部        | 固定負債            | 1,697,843   | 1,555,532   | 1,417,458   | 1,339,008   |
|             | 長期借入金           | 1,264,492   | 1,120,452   | 976,572     | 915,192     |
|             | 長期未払金           | 3,512       | 2,342       | 1,171       | 0           |
|             | 退職給与引当金         | 429,839     | 432,738     | 438,345     | 423,816     |
|             | 長期預り金           | 0           | 0           | 1,370       | 0           |
|             | 流動負債            | 922,536     | 881,513     | 996,607     | 886,701     |
|             | 短期借入金           | 169,884     | 144,040     | 145,772     | 61,380      |
|             | 未払金             | 165,162     | 97,494      | 180,883     | 144,770     |
|             | 前受金             | 551,540     | 597,641     | 632,283     | 639,309     |
|             | 預り金             | 35,610      | 41,295      | 37,426      | 40,927      |
| 科学研究費補助金預り金 | 340             | 1,043       | 243         | 315         |             |
| 負債の部合計      | 2,620,379       | 2,437,045   | 2,414,065   | 2,225,709   |             |
| 純資産の部       | 基本金             | 11,540,098  | 11,820,578  | 11,942,925  | 12,145,497  |
|             | 第1号基本金          | 11,424,098  | 11,704,578  | 11,826,925  | 12,029,497  |
|             | 第4号基本金          | 116,000     | 116,000     | 116,000     | 116,000     |
|             | 繰越収支差額          | △ 5,218,049 | △ 5,369,921 | △ 5,385,272 | △ 5,518,618 |
|             | 翌年度繰越収支差額       | △ 5,218,049 | △ 5,369,921 | △ 5,385,272 | △ 5,518,618 |
| 純資産の部合計     | 6,322,049       | 6,450,567   | 6,557,653   | 6,626,879   |             |
| 負債及び純資産の部合計 | 8,942,428       | 8,887,702   | 8,971,718   | 8,852,588   |             |

(5) 財務比率の推移

単位:%

|                       | 項目               | 計算式  | 令和4年度  | 令和5年度  | 令和6年度  | 全国平均<br>大学法人<br>(医歯系除く) | 全国平均<br>大学法人<br>(規模別) | 全国平均<br>大学法人<br>(芸術系単科) |
|-----------------------|------------------|--|--|--------|--------|-------------------------|-----------------------|-------------------------|
| 貸借対照表<br>関係比率         | 固定資産構成比率         | $\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$                         | 89.5   | 87.7   | 88.1   | 85.8                    | 83.9                  | 86.5                    |
|                       | 有形固定資産構成比率       | $\frac{\text{有形固定資産}}{\text{総資産}}$                       | 85.7   | 83.9   | 84.3   | 57.8                    | 54.9                  | 56.0                    |
|                       | 特定資産構成比率         | $\frac{\text{特定資産}}{\text{総資産}}$                         | 3.4  | 3.5    | 3.6    | 23.6                    | 22.1                  | 22.9                    |
|                       | 流動資産構成比率         | $\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$                         | 10.5   | 12.3   | 11.9   | 14.2                    | 16.1                  | 13.5                    |
|                       | 固定負債構成比率         | $\frac{\text{固定負債}}{\text{総負債+純資産}}$                     | 17.5   | 15.8   | 15.1   | 6.4                     | 4.5                   | 5.4                     |
|                       | 流動負債構成比率         | $\frac{\text{流動負債}}{\text{総負債+純資産}}$                     | 9.9  | 11.1   | 10.0   | 5.3                     | 5.1                   | 5.6                     |
|                       | 内部留保資産比率         | $\frac{\text{運用資産}-\text{総負債}}{\text{総資産}}$              | △ 14.0                                       | △ 12.2 | △ 10.4 | 28.2                    | 28.7                  | 31.0                    |
|                       | 運用資産余裕比率 (※単位:年) | $\frac{\text{運用資産}-\text{外部負債}}{\text{経常支出}}$            | △ 0.1  | 0.0    | 0.1    | 2.0                     | 1.7                   | 2.5                     |
|                       | 純資産構成比率          | $\frac{\text{純資産}}{\text{総負債+純資産}}$                      | 72.6   | 73.1   | 74.9   | 88.2                    | 90.4                  | 89.1                    |
|                       | 繰越収支差額構成比率       | $\frac{\text{繰越収支差額}}{\text{総負債+純資産}}$                   | △ 60.4                                       | △ 60.0 | △ 62.3 | △ 17.0                  | △ 18.1                | △ 17.9                  |
|                       | 固定比率             | $\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}}$                         | 123.3  | 119.9  | 117.7  | 97.3                    | 92.8                  | 97.1                    |
|                       | 固定長期適合率          | $\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産+固定負債}}$                    | 99.3   | 98.6   | 97.9   | 90.6                    | 88.4                  | 91.6                    |
|                       | 流動比率             | $\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$                        | 106.0  | 111.1  | 118.8  | 267.1                   | 318.0                 | 242.0                   |
|                       | 総負債比率            | $\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$                          | 27.4   | 26.9   | 25.1   | 11.8                    | 9.6                   | 10.9                    |
|                       | 負債比率             | $\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$                          | 37.8   | 36.8   | 33.6   | 13.3                    | 10.6                  | 12.3                    |
|                       | 前受金保有率           | $\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$                         | 149.6  | 159.5  | 154.8  | 390.9                   | 570.0                 | 322.9                   |
|                       | 退職給与引当特定資産保有率    | $\frac{\text{退職給与引当特定資産}}{\text{退職給与引当金}}$               | 11.8   | 13.9   | 14.4   | 73.2                    | 28.8                  | 77.5                    |
|                       | 基本金比率            | $\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$                      | 90.5   | 91.5   | 92.7   | 97.5                    | 98.5                  | 97.7                    |
|                       | 減価償却比率           | $\frac{\text{減価償却累計額 (図書除く)}}{\text{減価償却資産取得価額 (図書除く)}}$ | 39.3   | 39.7   | 39.5   | 55.6                    | 59.3                  | 50.3                    |
|                       | 積立率              | $\frac{\text{運用資産}}{\text{要積立額}}$                        | 20.7   | 22.6   | 22.4   | 75.9                    | 66.7                  | 76.6                    |
| 事業活動<br>収支計算書<br>関係比率 | 人件費比率            | $\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$                         | 47.9   | 52.5   | 52.7   | 50.9                    | 53.7                  | 50.6                    |
|                       | 人件費依存率           | $\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$                     | 60.3   | 67.6   | 65.2   | 69.8                    | 135.9                 | 73.2                    |
|                       | 教育研究経費比率         | $\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$                      | 37.1   | 34.3   | 35.4   | 36.6                    | 44.2                  | 36.5                    |
|                       | 管理経費比率           | $\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$                        | 7.3  | 7.4    | 8.0    | 8.7                     | 9.9                   | 10.6                    |
|                       | 借入金等利息比率         | $\frac{\text{借入金等利息}}{\text{経常収入}}$                      | 0.4  | 0.3    | 0.3    | 0.1                     | 0.1                   | 0.1                     |
|                       | 事業活動収支差額比率       | $\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$             | 7.0  | 5.5    | 3.6    | 4.2                     | △ 5.8                 | 3.9                     |
|                       | 基本金組入後収支比率       | $\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入}-\text{基本金組入額}}$      | 79.7   | 88.9   | 87.2   | 106.1                   | 114.2                 | 85.3                    |
|                       | 学生生徒等納付金比率       | $\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$                    | 79.4   | 77.7   | 80.8   | 72.9                    | 39.5                  | 69.1                    |
|                       | 寄付金比率            | $\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$                       | 1.5  | 2.1    | 0.9    | 2.2                     | 4.0                   | 0.6                     |
|                       | 経常寄付金比率          | $\frac{\text{教育活動収支の寄付金}}{\text{経常収入}}$                  | 1.1  | 2.0    | 0.9    | 1.4                     | 3.7                   | 0.3                     |
|                       | 補助金比率            | $\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$                       | 15.5   | 13.8   | 12.9   | 14.4                    | 10.2                  | 6.2                     |
|                       | 経常補助金比率          | $\frac{\text{教育活動収支の補助金}}{\text{経常収入}}$                  | 15.5   | 13.8   | 12.9   | 14.3                    | 10.1                  | 5.9                     |
|                       | 基本金組入率           | $\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$                    | △ 16.6                                       | △ 6.3  | △ 10.5 | 9.7                     | 7.3                   | △ 12.7                  |
|                       | 減価償却費比率          | $\frac{\text{減価償却額}}{\text{経常支出}}$                       | 8.8  | 8.1    | 8.1    | 11.4                    | 9.1                   | 13.0                    |
|                       | 経常収支差額比率         | $\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$                      | 7.2  | 5.5    | 3.6    | 3.5                     | △ 8.0                 | 2.1                     |
|                       | 教育活動収支差額比率       | $\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$                 | 7.6  | 5.8    | △ 0.3  | 1.2                     | △ 11.5                | △ 2.5                   |
|                       | ※                | 教育活動資金収支差額比率   | $\frac{\text{教育活動資金収支差額}}{\text{教育活動資金収入計}}$ | 18.1   | 16.3   | 11.2                    | 12.7                  | 0.0                     |
|                       | 負債率              | $\frac{\text{総負債}-\text{前受金}}{\text{総資産}}$               | 20.7   | 19.9   | 17.9   |                         |                       | 7.1                     |

※活動区分資金収支計算書関係比率

出典: 日本私立学校振興・共済事業団発行

「令和6年度版 今日の私学財政 大学・短期大学編」

### 3 借入金等の状況

#### (1) 借入金等の状況

令和 6 年度末時点における日本私立学校振興・共済事業団並びに市中金融機関からの借入金の状況は次の表のとおりです。

借入金内訳表

単位 円

| 借入先                         | 令和 6 年度 |               | 借入目的                              |
|-----------------------------|---------|---------------|-----------------------------------|
| 日本私立学校振興・共済事業団              | 期首残高    | 660,960,000   | ・ 大学校地買収<br>・ 幼稚園園舎建築             |
|                             | 当期借入額   | 0             |                                   |
|                             | 当期返済額   | 38,880,000    |                                   |
|                             | 期末残高    | 622,080,000   |                                   |
| 市中金融機関<br>りそな銀行<br>京都中央信用金庫 | 期首残高    | 461,384,000   | ・ 大学校地買収<br>・ 大学校舎改修<br>・ 幼稚園園舎建築 |
|                             | 当期借入額   | 0             |                                   |
|                             | 当期返済額   | 106,892,000   |                                   |
|                             | 期末残高    | 354,492,000   |                                   |
| 合計                          | 期首残高    | 1,122,344,000 |                                   |
|                             | 当期借入額   | 0             |                                   |
|                             | 当期返済額   | 145,772,000   |                                   |
|                             | 期末残高    | 976,572,000   |                                   |

#### (2) 寄付金の状況

令和 6 年度の寄付金の状況については、次の表のとおりです。

寄付金内訳表

単位 円

|      | 特別寄付金      | 一般寄付金   | 現物寄付    | 合計         |
|------|------------|---------|---------|------------|
| 学校法人 | 0          | 136,000 | 0       | 136,000    |
| 大学   | 15,493,564 | 4,795   | 616,220 | 16,114,579 |
| 幼稚園  | 980,380    | 0       | 239,350 | 1,219,740  |
| 合計   | 16,473,944 | 140,795 | 855,580 | 17,470,319 |

注 特別寄付金一般寄付金は資金収支計算書、現物寄付は事業活動収支計算書に計上しています。

### (3) 補助金の状況

#### (a) 国庫補助金（成安造形大学）

令和6年度の国庫補助金は、次の表のとおりです。

令和6年度 国庫補助金 実績表

単位 円

| 部門       | 補助金の名称      | 補助金額        |             |
|----------|-------------|-------------|-------------|
| 大 学      | 私立大学等経常費補助金 | 一般補助        | 130,955,000 |
|          |             | 特別補助        | 3,600,000   |
|          | 計           | 134,555,000 |             |
|          | 授業料等減免費交付金  | 74,727,800  |             |
| 国庫補助金 合計 |             | 209,282,800 |             |

#### (b) 地方公共団体補助金（成安造形大学・成安幼稚園）

令和6年度の地方公共団体補助金は、次の表のとおりです。

令和6年度 地方公共団体補助金実績表

単位 円

| 部門           | 補助金の名称  | 補助金額       |
|--------------|---|------------|
| 大 学          | 結核健康診断費補助金（大津市）   | 89,000     |
|              | 滋賀県 CO2 ネットゼロ社会づくりの推進をテーマにした児童向けワークショップデザインプロジェクト（一般社団法人環びわ湖大学・地域コンソーシアム） | 116,017    |
|              | 幼稚園児との日用品を応用した造形あそびワークショップ（一般社団法人環びわ湖大学・地域コンソーシアム）                        | 112,000    |
|              | JR 湖西線沿線地域各駅の魅力向上事業に係る補助金（湖西線利便性向上プロジェクト推進協議会）                            | 300,000    |
|              | 大学計   | 617,017    |
| 幼稚園          | 京都府私学運営費補助金   | 32,718,000 |
|              | 京都府私立幼稚園生産性向上事業費補助金   | 96,000     |
|              | 京都府私立幼稚園等心身障害児教育費補助金  | 6,272,000  |
|              | 京都府未入園児保育支援事業費補助金   | 359,659    |
|              | 京都府私立幼稚園預かり保育推進特別補助金  | 3,680,000  |
|              | 向日市私立幼稚園教材教具購入補助金   | 173,700    |
|              | 向日市私立幼稚園設備費補助金  | 210,000    |
|              | 向日市私立幼稚園特別支援教育振興補助金   | 784,000    |
|              | 社団法人京都府私立幼稚園連盟 キンダーカウンセラー（派遣）補助   | 60,000     |
|              | 社団法人京都府私立幼稚園連盟 読書習慣事業に伴う各園の絵本等購入補助  | 10,000     |
| 幼稚園 計        | 37,995,359  |            |
| 地方公共団体補助金 合計 |   | 38,612,376 |

### (4) 関連当事者との取引等の状況

全役員及び全専任職員を対象として調査を行いました。その結果、取引があったとの回答があったのは理事長及び専任事務職員1名のみでした。

本法人と理事長との間では、成安造形大学学生専用アパートメント YOHAKU 並びに YOHAKU II に係る独占使用契約を締結し、「独占使用権料」「管理運営料」の支払いが生じています。

## (5) その他（有価証券・学校債・収益事業・学校法人間財務取引等）

退職給与引当特定資産並びに減価償却引当特定資産の一部を有価証券で保有しています。学校債・収益事業・学校法人間財務取引等については、いずれも報告すべきことはありません。

### 保有有価証券一覧

| 種類   | 約定日<br>償還日                     | 期<br>間 | 約定金額<br>利率             | 格付           | 備考          |
|------|--------------------------------|--------|------------------------|--------------|-------------|
| 京都府債 | 令和 5年 10月 6日<br>令和 10年 10月 18日 | 5年     | 50,000,000 円<br>0.433% | なし           |             |
| 京都市債 | 令和 6年 1月 19日<br>令和 11年 1月 26日  | 5年     | 20,000,000 円<br>0.314% | ムーディーズ<br>A1 | グリーン<br>ボンド |

注1 京都府債は減価償却引当特定資産、京都市債は退職給与引当特定資産。

注2 京都市債については、ホームページ上において「京都市グリーンボンドへの投資について」として、投資表明をしています。

#### ① 運用目的

本法人は「資金を安全かつ効率的、効果的に運用することにより、本法人の中長期的な財政基盤の強化を図るとともに将来の教育・研究の発展に資すること目的」（本法人資金運用規程第1条）として資産を運用しています。

#### ② 資金運用の原則（本法人資金運用規程第3条）

- ・資金の運用は、確実でかつ有利な方法をもって行うことを原則とし、株価、為替等によって価格が著しく変動する金融商品等は除外するとともに、分散投資に努めるものとします。
- ・資金の運用に当たっては、資金運用計画に基づき、運用すべき期間及び金額について資金繰りに支障のないように努めるものとします。
- ・資金の運用に当たっては、流動性を十分に確保するものとします。

#### ③ 責任者

本法人の「資金の運用は理事長の権限と責任の下に行うものとし、財務担当理事を資金の運用に関する統括責任者、法人本部長を有価証券及び預金の出納及び保管事務等に関する責任者」（本法人資金運用規程第13条第1項）とし、統括責任者は、資金運用計画に基づいて資金の運用を行うものとし、運用している有価証券等について、財務諸表、格付、株価及びディスクロージャーの状況等の情報収集に努めるなど、常にリスク管理に万全を期すこととしています。

#### ④ 資金運用の基準（本法人資金運用規程第8条）

長期運用（運用期間1年超）のうち有価証券の運用の基準は、次の信用格付業者のうち少なくとも1社以上において「BBB」相当以上の格付を取得しており、いずれの信用格付業者においても「BB」相当以下の格付でないものとするとしています。

- (ア) 株式会社日本格付研究所（JCR）
- (イ) ムーディーズ・ジャパン株式会社（Moody's）
- (ウ) 株式会社格付投資情報センター（R&I）
- (エ) S&Pグローバル・レーティング株式会社（S&P）

また、短期運用（運用期間1年以下）のうち有価証券の運用の基準は、前述の信用格付業者のいずれにおいても「a-3」相当以下の格付でないものとするとしています。

なお、これら基準に関わらず、格付のない金融商品については、信用リスクを十分に精査した上で、理事長の承認により運用するものとしています。

#### ⑤ 資金運用の報告（本法人資金運用規程第16条）

統括責任者（財務担当理事）は、資金の運用の状況及び結果について、少なくとも四半期に1回、次の内容等を含む運用報告書を作成し、理事会に報告することとしています。

- (ア) 報告期間末時点における個別金融商品の一覧表
- (イ) 運用資産構成比率
- (ウ) 報告期間末時点における各金融商品別の運用の実績
- (エ) 運用先金融機関、債券、コマーシャルペーパー（CP）等の格付等のリスク状況
- (オ) その他運用に関する事項

また、理事会は、本法人の資金運用におけるリスクが許容範囲内であるか及び資金運用が資金運用規程に違反していないかを監視し、必要に応じて審議等を行うものとしています。

⑥ 監査（本法人資金運用規程第17条）

資金運用が諸規程並びに資金運用計画等に基づき適切に行われているかを監理するため、監事若しくは内部監査室が監査を行います。

⑦ 令和6年度 運用基本方針

- ・金融商品の選択に当たっては、信用リスク（格付等）に加えて、収益性（クーポン・利回り）、償還日等の発行条件、流動性等について十分な調査・分析を行うものとします。
- ・金融商品の選択に当たっては、前項の内容に加えて、環境・社会へのインパクト（投資意義）も意識し、SDGs債（グリーンボンド・ソーシャルボンド・サステナブルボンド）への投資についても十分に考慮するものとします。

長期運用資金（運用期間1年超）の構成割合 単位 %

| 国内債券             |          | 合計    |
|------------------|----------|-------|
| 公共債              | 民間債      |       |
| 国債・地方債・特別債・地方公社債 | 社債（普通社債） |       |
| 75.0             | 25.0     | 100.0 |

注1 国内債券のうち、SDGs債の割合は、公共債と民間債を合わせて25.0%が上限。

注2 民間債が0.0%のときは、公共債を100.0%とする。この場合のSDGs債の割合は50.0%が上限。

短期運用資金の構成割合 単位 %

| 預金   | 有価証券       | 合計    |
|------|------------|-------|
| 定期預金 | コマーシャルペーパー |       |
| 75.0 | 25.0       | 100.0 |

注 コマーシャルペーパーが0.0%のときは、定期預金を100.0%とする。

⑧ 時価及び収益

| 種類   | 数量<br>利率              | 評価単価   | 評価金額        | 収益（利金）   |
|------|-----------------------|--------|-------------|----------|
| 京都府債 | 50,000,000円<br>0.433% | 97.69円 | 48,845,000円 | 216,500円 |
| 京都市債 | 20,000,000円<br>0.314% | 96.94円 | 19,388,000円 | 62,800円  |
| 合計   |                       |        | 68,233,000円 | 279,300円 |

## IV 学校法人の業務の適正を確保するための体制（内部統制システム）の整備及び運用状況の概要

### 1 関係する決議の概要

令和6年11月1日に開催した本法人第228回理事会において、理事の職務執行が法令・寄附行為に適合すること及び業務の適正を確保するための体制の整備に関し、本法人の基本方針を「学校法人京都成安学園内部統制システム整備基本方針」として制定することを決議しました（令和7年4月1日施行）。

### 学校法人京都成安学園内部統制システム整備基本方針【令和6年11月1日制定、令和7年4月1日施行】

学校法人京都成安学園は、令和6年11月1日、第228回理事会において、理事の職務執行が法令・寄附行為に適合すること及び業務の適正を確保するための体制の整備に関し、本法人の基本方針を以下のとおり決議した。

#### 1 経営に関する管理体制

- (1) 理事会は、定時に開催するほか、必要に応じて臨時に開催し、法令・寄附行為に従い、必要な事項については評議員会の意見を聴いたうえで、業務執行上の重要事項を審議・決定するとともに、理事の職務執行を監督する。
- (2) 寄附行為並びに「理事会運営規程」及び「評議員会運営規程」に基づき、理事会及び評議員会の役割、権限及び体制を明確にし、適切な理事会及び評議員会の運営を行う。
- (3) 「理事職務権限規程」に基づき、業務を執行する理事の担当業務を明確化し、事業運営の適切かつ迅速な推進を図る。
- (4) 職務分掌・決裁権限を明確にし、理事、職員等の職務執行の適正性を確保するとともに、機動的な業務執行と有効性・効率性を高める。
- (5) 理事会、評議員会等の重要会議の議事録その他理事の職務執行に係る情報については、寄附行為及び「文書管理規程」に基づき、適切に作成、保存及び管理する。
- (6) 業務執行機関からの独立性を有する内部監査部門を設置し、業務の適正及び効率性を確保するため、業務を執行する各部の職務執行状況等を定期的に監査する。

#### 2 リスク管理に関する体制

- (1) リスク管理に関し、体制及び「危機管理規程」を整備し、役割権限、リスクの評価方法、リスク対応方法等を明確にする。
- (2) 「個人情報保護方針」及び「個人情報保護に関する諸規程」に基づき、個人情報の保護と適切な管理を行う。
- (3) 事業活動に関するリスクについては、法令及び本法人の規程等に基づき、職務執行部署が自律的に管理することを基本とする。
- (4) リスクの統括管理については、内部監査部門が一元的に行うとともに、重要リスクが漏れなく適切に管理されているかを適宜監査し、その結果について業務を執行する理事及び理事会に報告する。
- (5) 本法人の経営に重大な影響を及ぼすおそれのある重要リスクについては、理事会で審議し、必要に応じて対策等の必要な事項を決定する。
- (6) 災害、事故その他の緊急時に備え、対応組織や情報連絡体制等について規程等を定めるとともに、継続的な教育と定期的な訓練を実施する。
- (7) 研究活動について、内部牽制機能による研究費の適正経理、研究不正の防止及び知的財産の保護を確保するため、規程等を定めるとともに、必要な措置を講じる。
- (8) 理事会は、業務執行に関するリスクを特定し、見直すとともに、リスク管理体制についても不断の見直しを行う。

### 3 コンプライアンスに関する管理体制

- (1) 理事及び職員が法令並びに寄附行為及び本法人の規程を遵守し、確固たる倫理観をもって事業活動等を行う組織風土を高めるために、「コンプライアンス規程」を定める。
- (2) 本法人のすべての役職員のコンプライアンス意識の醸成と定着を推進するため、不正防止等に関わる役職員への教育及び啓発活動を継続して実施、周知徹底を図る。
- (3) 本法人の内外から匿名相談できる通報窓口を常設して、不正の未然防止を図るとともに、速やかな調査と是正を行う体制を推進する。通報窓口又は監事に対しコンプライアンスに関する相談又は違反に係る通報をしたことを理由に、不利益な取扱いを行わない。
- (4) 内部監査部門は、職員等の職務執行状況について、コンプライアンスの観点から監査し、その結果を理事会に報告する。理事等は、当該監査結果を踏まえ、所要の改善を図る。
- (5) 法令・寄附行為違反等の行為が発見された場合には、「コンプライアンス規程」に従って、理事会において迅速に状況を把握するとともに、外部専門家と協力しながら適正に対応する。

### 4 監査環境の整備（監事の監査業務の適正性を確保するための体制）

- (1) 監事は、「監事監査等職務規程」に基づき、公平不偏の立場で監事監査を行う。
- (2) 監事は、理事会、評議員会等の重要会議への出席並びに重要書類の閲覧、審査及び質問等を通して、理事等の職務執行についての適法性、妥当性に関する監査を行う。
- (3) 監事は、理事会が決定する内部統制システムの整備について、その決議及び決定内容の適正性について監査を行う。
- (4) 監事は、重要な書類及び情報について、その整備・保存・管理及び開示の状況など、情報保存管理体制及び情報開示体制の監査を行う。
- (5) 監事の職務を補助するものとして、監事の求めに応じ、独立性を有する補助職員（臨時職員：監事職務補助員）を配置する。
- (6) 補助職員は、監事の指揮命令下で業務を行い、監事以外からの指揮命令を受けないものとし、当該補助職員の異動、人事評価及び懲戒等については、監事の意見を尊重する。
- (7) 補助職員は、監事が必要と認めたときは、監事に同行して、理事会、評議員会等の重要な会議及び理事長との定期的な会合に陪席する。
- (8) 理事又は職員等は、本法人に著しい損害を与えるおそれのある事実又は法令、寄附行為その他の規程等に反する行為等を発見したときは、直ちに理事長、代表業務執行理事たる専務理事、業務執行理事並びに監事に報告する。
- (9) 理事及び職員等は、職務執行状況等について、監事が報告を求めた場合には、速やかにこれに応じる。
- (10) 理事長は、定期的に監事と会合を持つなどにより、事業の遂行と活動の健全な発展に向けて意見交換を図り、相互認識を深める。
- (11) 監事はその職務の執行について生ずる費用の前払い若しくは支出した費用の償還又は負担した債務の弁済を請求した場合には、速やかに相当額を支払う。

### 5 本方針の改廃

本方針に見直しの必要性が生じた場合は、理事会の決議により改正するものとする。

## 2 体制整備及び運用状況の概要（運用状況の概要は令和7年度事業報告から掲載）

### (1) 私立学校法36条3項5号で定める体制（令和7年4月1日運用開始）

|                                    | 理事会として決定した<br>基本方針             | 具体的な整備   |
|------------------------------------|--------------------------------|--|
| 理事の職務の執行が法令及び寄附行為に適合することを確保するための体制 | 法令遵守体制の整備方針や理事会における適切な監督体制の整備等 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンプライアンス規程、法遵守マニュアルの作成（研究倫理規程等制定済み・必要に応じて各種マニュアル・誓約書等の様式を整備）</li> <li>・理事会運営規程の作成</li> </ul> |

(2) 私立学校法施行規則 12条各号で定める体制（令和7年4月1日運用開始）

|  | 理事会として決定した<br>基本方針   | 具体的な整備  |
|--|--|---|
| ① 理事の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制               | 理事が意思決定や業務執行を行った場合又は職員が職務執行を行った場合における、当該行為に関する記録の作成、保存、管理、廃棄 及び閲覧方法等   | ・議事録、決裁文書等に関する文書管理規程の作成   |
| ② 損失の危険の管理に関する規程その他の体制                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・想定されるリスクの内容及びその防止策（具体的な手続・機構）</li> <li>・発生したリスクへの対処方法</li> <li>・当該手続や対処方法を実施するための人的・物的体制に関する事項</li> </ul>                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・リスク管理規程の作成、リスク管理組織、責任者の設置（学校部門単位で整備済み）</li> <li>・緊急時の役員対応等</li> <li>・役職員に対するリスク管理研修の実施</li> <li>・リスク管理手法や体制の有効性検証、見直し</li> </ul>            |
| ③ 理事の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・理事が職務執行を行うにあたって必要な決裁体制等</li> <li>・外部の専門家の助言を受けるための体制等</li> <li>・理事の職務執行のために効率的な人員配置がなされているか検証する体制等</li> </ul>                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・理事職務権限規程の作成</li> <li>・職員の職務分掌に関する規程の作成（事務分掌規程制定済）</li> </ul>  |
| ④ 職員の職務の執行が法令及び寄附行為に適合することを確保するための体制       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・法令遵守体制の整備方針</li> <li>・職員相互間の適切な監督体制の創設等</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンプライアンス規程、法遵守マニュアルの作成（研究倫理規程等制定済み・必要に応じて各種マニュアル・誓約書等の様式を整備）</li> <li>・職員に対するリスク管理に関する教育・研修の継続的な実施</li> <li>・内部監査部門の設置（内部監査室設置済）</li> </ul> |
| ⑤ 監事はその職務を補助すべき職員を置くことを求めた場合における当該職員に関する事項 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・監事が補助職員を求めた場合における対応方針</li> <li>・補助職員を監事専属とするのか他の部署と兼務させるのか</li> <li>・補助職員の人数や地位等</li> </ul>                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・監事監査規程の作成</li> <li>・監査室（内部監査室設置済）、コンプライアンス室の設置</li> </ul>   |
| ⑥ 前号の職員の理事からの独立性に関する事項                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助職員の採用、異動についての監事の同意の要否</li> <li>・理事の補助職員に対する指揮命令権の有無</li> <li>・補助職員の報酬及び懲戒についての監事の関与</li> <li>・補助職員の人事評価についての監事の意見陳述</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・監事監査規程の作成（制定済）</li> </ul>   |
| ⑦ 監事の第五号の職員に対する指示の実効性の確保に関する事項             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助職員の重要会議への同行の要否</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・監事監査規程の作成（制定済）</li> </ul>   |

|  |  |  |
|--|--|--|
| <p>⑧ 理事及び職員が監事に報告をするための体制その他の監事への報告に関する体制</p>                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 監事に報告すべき事項の範囲</li> <li>・ 報告すべき事項に応じた報告方法</li> <li>・ 職員が監事に直接報告することができる制度（内部通報制度）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 監事監査規程の作成（制定済）</li> <li>・ 内部通報に関する規程の作成</li> </ul>                          |
| <p>⑨ 前号の報告をした者が当該報告をしたことを理由として不利な取扱いを受けないことを確保するための体制</p>                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 監事への報告を理由とする解雇等不利益処分の禁止</li> <li>・ 職員から法人への報告が直接又は間接に監事に対して行われる体制</li> </ul>                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 監事監査規程の作成</li> <li>・ 内部通報に関する規程の作成</li> </ul>                               |
| <p>⑩ 監事の職務の執行について生ずる費用の前払又は償還の手續その他の当該職務の執行について生ずる費用又は債務の処理に係る方針に関する事項</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 監事の職務の執行について生ずる費用の前払い又は償還手續</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 監事監査規程の作成（制定済）</li> </ul>   |
| <p>⑪ その他監事の監査が実効的に行われることを確保するための体制</p>                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ その他学校法人の実情に応じて、監事の監査が実効的に行われることを確保するための体制</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理事長と監事の定期的な会合の実施</li> <li>・ 監事が必要と認めた場合における、弁護士、公認会計士等の外部専門家との連携</li> </ul> |

---

---

令和6年度

京都成安学園事業報告書



令和7年5月28日

学校法人京都成安学園



〒520-0248

滋賀県大津市仰木の里東四丁目3番1号

TEL 077-574-2111

FAX 077-574-2120

---

---